

ORIGAMI TANTEIDAN

折紙探偵団

M A G A Z I N E

定価 600円

イベント情報

第8回 折紙探偵団コンベンション日程発表

Information About the 8th Origami Tanteidan Convention



クローズアップ Close-up : Making and Developing of the Ryu Zin : Eastern Dragon

龍神を作る 神谷哲史

Kamiya Satoshi

折り図

シロナガスクジラ Blue Whale

神谷哲史

Model and Diagrams
by Kamiya Satoshi

Skull

Model designed by Herman van Goubergen

髑髏 ヘルマン・ヴァン・グーベルジャン

好評連載

Tomoko in the Box : Fuse Tomoko / Tomoko's Shikishi-Hyakka : Tanaka Tomoko / Let's Enjoy Math through Origamics : Haga Kazuo /
Tomokoのびっくり箱: 布施知子 / ともさんの色紙百花: 田中具子 / 数理を楽しむオリガミクス
Takagi Satoshi's the Origami Reference Room : Takagi Satoshi / Origami Sampo Still Goes On : Maekawa Jun
: 芳賀和夫 / 高木 智の折り紙資料館: 高木 智 / も少し折紙散歩: 前川 淳

通巻 72 号

日本折紙学会 (JOAS) の理念

The Purpose of Japan Origami Academic Society

第一章 名称と目的

第一条 会の名称

1. 本会の名称は日本折紙学会とする。
2. 本会の英語での名称は、Japan Origami Academic Societyとする。
3. 本会の略称は、JOASとする。

第二条 会の目的

1. 本会は、折り紙の専門研究と折り紙の普及の促進、ならびに、それらを通しての広く国内、外の折り紙愛好家との交流の促進を目的とする。
2. 第一項の折り紙の専門研究とは、折り紙の創作、折り紙の創作技術の研究、折り紙に関する批評・評論、数学研究、教育研究、歴史・書誌研究、先取権の研究、工学・商業デザインの研究等を意味する。
3. 第一項の折り紙の普及とは、折り紙の社会的認知度の向上活動、折り紙愛好者層の拡大活動、折り紙に関する人材の育成と発掘等を意味する。

規約第1章より抜粋

Chapter 1: Name and Purpose

Article 1: Name

1. This society is to be called Nihon Origami Gakkai in Japanese.
2. This society is to be called Japan Origami Academic Society in English.
3. The abbreviated name of this society is JOAS.

Article 2: Purpose

1. The purpose of JOAS is to promote studies of origami, diffusion of origami, and both domestic and international association of all origami-lovers.
2. The studies of origami mentioned above includes designing, designing techniques, criticism, mathematical studies, educational studies, history, bibliography, studies on the preferential right, studies of industrial and commercial design, and so on.
3. The diffusion of origami mentioned above includes widening appreciation of origami, expansion of the community of origami-lovers, scouting and rearing the origami talent, and so on.

●折り方の約束記号 SYMBOL FOR FOLDING

谷折り線
Line indicating
valley fold.

山折り線
Line indicating
mountain fold.

手前に折る
Fold forward.

後ろへ折る
Fold backward.

折り筋を
つける
Fold and unfold.

段折り
Pleat.

裏返す
Turn over.

引き出す
Pull out flap.

図の見る
位置が変わる
Rotate.

図が
大きくなる
Diagram enlarged.

見えない
ところ
X-ray.

押す。
押しつぶす
Push here.

切る
Cut.

表紙作品解説

髑髏(どくろ) (P.28)

作:ヘルマン・ヴァン・グーベルジャン

Skull (P.28)

Herman van Goubergen

■作品を鏡の上に置くことによって初めてその全貌がはっきりになるという、これまでにない意外なコンセプト。なんとも不思議で神秘的なこの作品には、隠し絵やパズルが好きなひとは特に強く惹きつけられるでしょう。一度折っただけではうまくできないかもしれませんが、あきらめずに納得のいくまで挑戦し続けることが大切。小松氏による作例の、繊細な折り技術にも要注目です。(解説:北條高史) Comments: Hojyo Takashi

No. **72**

C O N T E N T S

■ 好評連載陣

Series

Tomokoのびっくり箱

Tomoko in the Box

てまり桜 Cherry Blossom Ball

布施知子 Fuse Tomoko

4

ともこさんの色紙百花

Tomoko's Shikishi-hyakka

カタクリの花 Dogtooth Violets

田中具子 Tanaka Tomoko

8

数理を楽しむオリガミクス

Let's Enjoy Math through Origamics

「1回折ると何角形？」の数学的展開

Mathematical expansion of a theme of the last issue,
 "How many corners can I make when I fold a square
 sheet of paper only once?"

芳賀和夫 Haga Kazuo

14

高木 智の折り紙資料館

Takagi Satoshi's the Origami Reference Room

高木 智 Takagi Satoshi

16

も少し折紙散歩

Origami Sampo (Origami Walk) Still Goes On

折紙散歩者の回想

Recollections of an Origami Walker

前川 淳 Maekawa Jun

18

世界の折り紙団体

World's Origami Organizations

Origami Sociëteit Nederland (オランダ)

A.M. van de Beek

34

■ カラーページ

ORIGAMI PHOTO GALLERY

解説・北條高史 Comments : Hojyo Takashi

「カタクリの花」田中具子／「八重咲きのてまり桜」

布施知子／「私の好きな怪獣たち」小笹 一／

「絵本十寸鏡」巻下 髪置きの祝い宮参り」高木 智・蔵

Dogtooth Violets : Tanaka Tomoko／Cherry Blossom

Ball : Fuse Tomoko／My Favorite Monster Superstars

: Kozasa Keiichi／The Rite of Kamioki from E-hon

Masukagami III : Owned by Takagi Satoshi

20

■ クローズアップ

Close-up

龍神を作る

11

Making and Developing of
 the Ryu Zin : Eastern Dragon

神谷哲史 Kamiya Satoshi

■ 折り図

Diagrams

シロナガスクジラ

22

Blue Whale

作・折り図・神谷哲史

Model and Diagrams by Kamiya Satoshi

髑髏

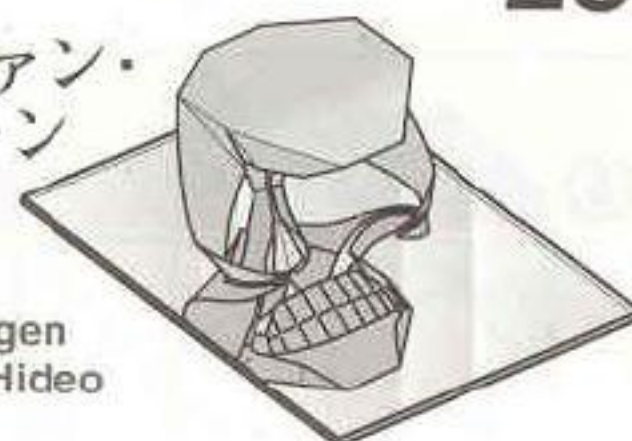
Skull

28

作：ヘルマン・ヴァン・
 グーベルジャン

折り図：小松英夫

Model designed
 by Herman van Goubergen
 Diagrams by Komatsu Hideo



展開図折りに挑戦！

Crease Pattern Challenge

33

オリヅル日記

My Observations of Orizuru

田中将司 Tanaka Masashi

JOASからのお知らせ

A Note and a Reminder from JOAS

35

■ インフォメーション

つまみおり Rabbit Ear (Information)

36

・第8回折紙探偵団コンベンション日程

Information About the 8th Tanteidan Convention

・OrigamiUSAコンベンション情報

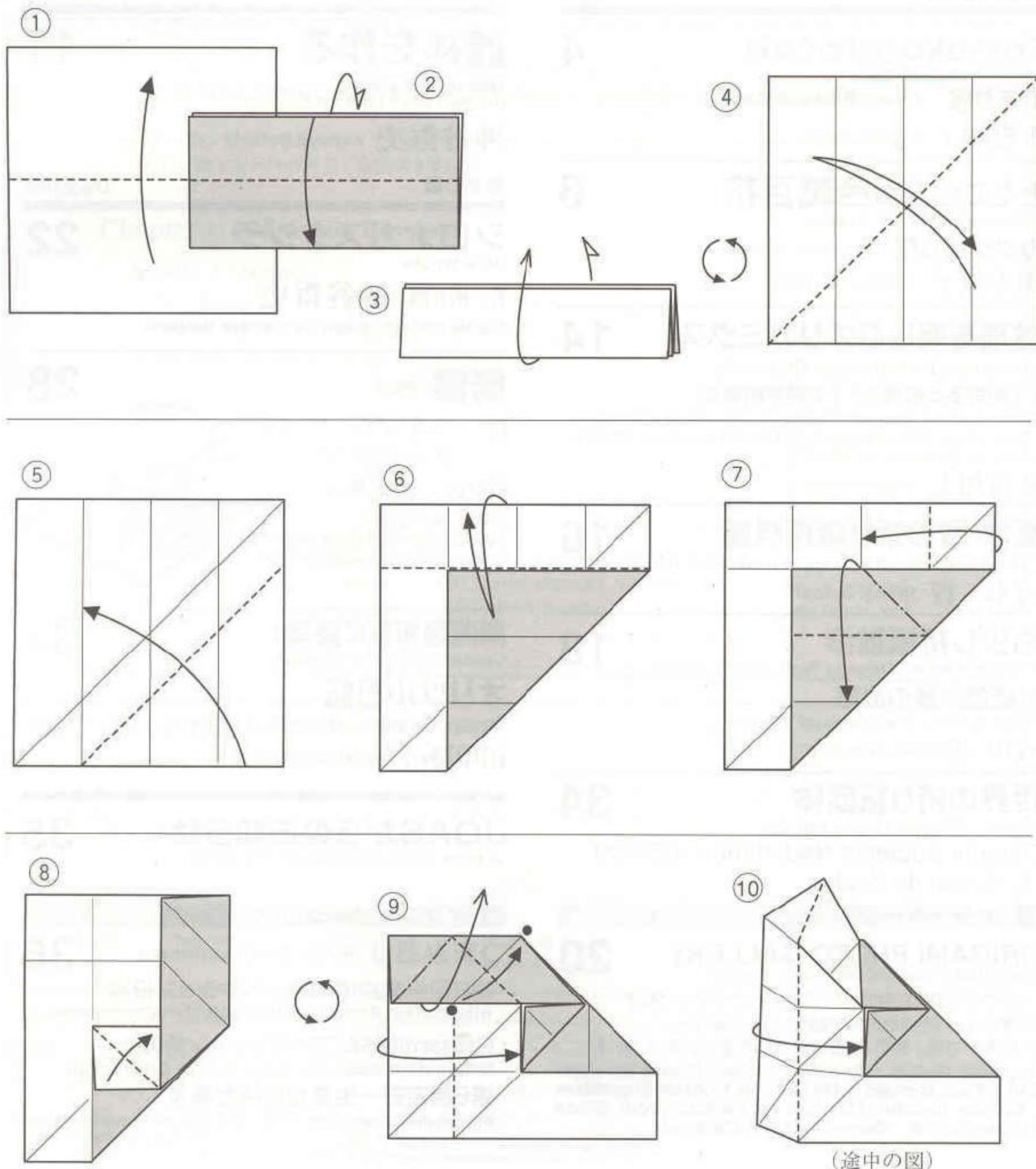
Information about the Origami USA Convention

・第6回吉野一生基金招待者募集

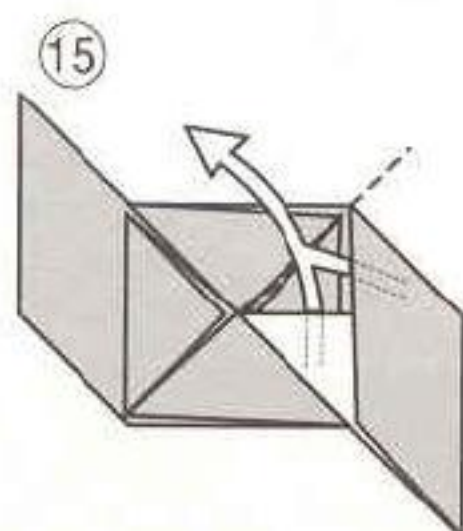
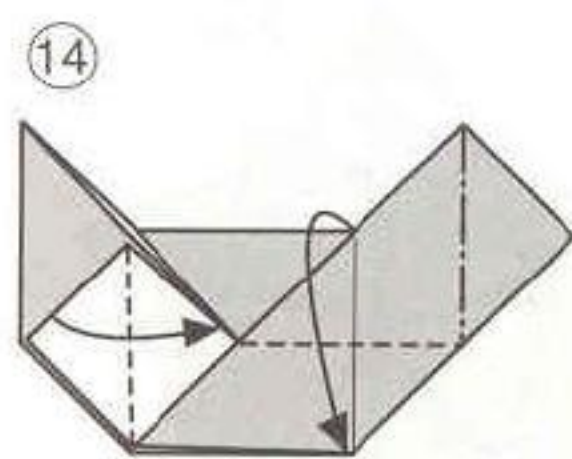
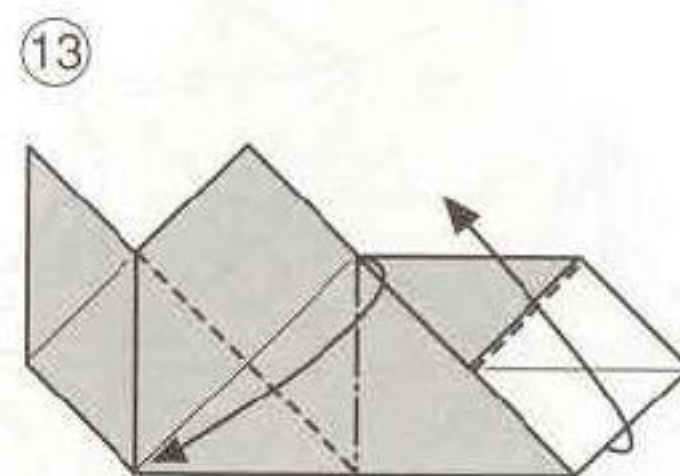
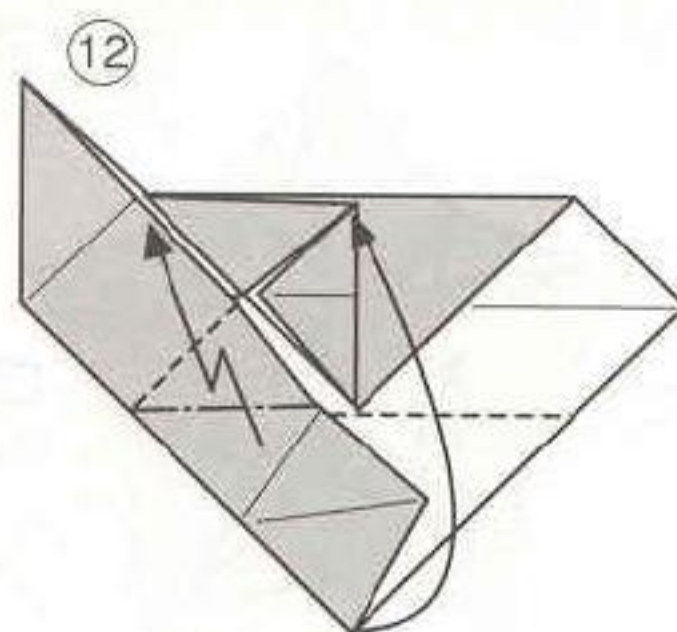
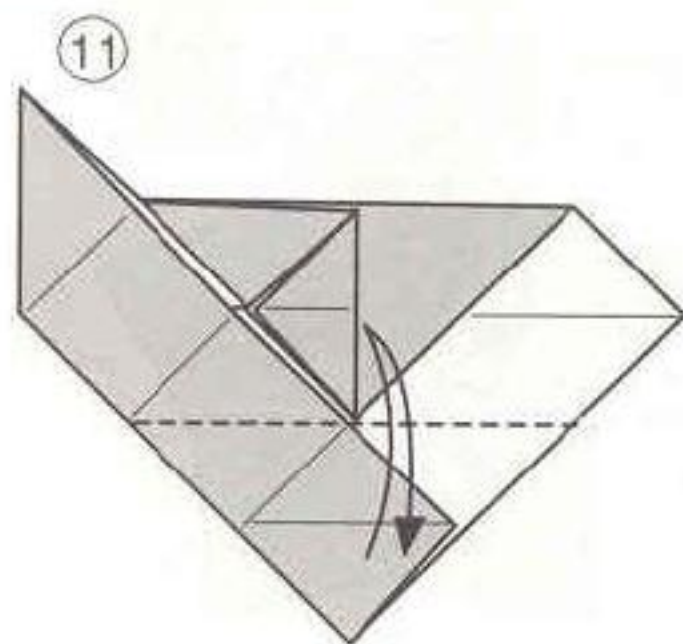
Information about the 6th Yoshino Issei Fund Invitation

てまり桜

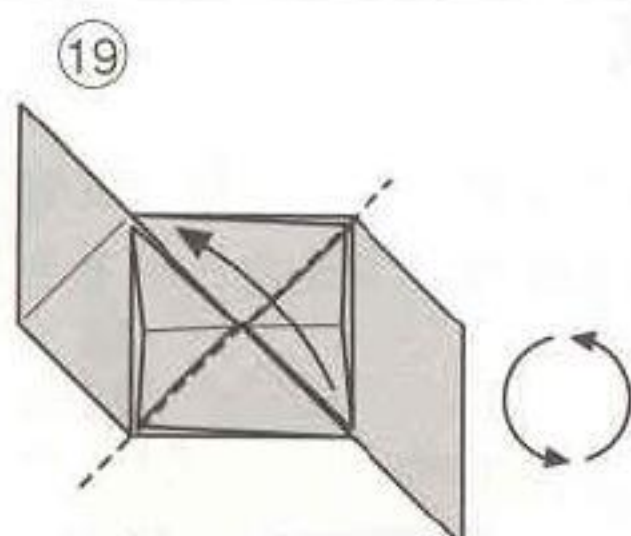
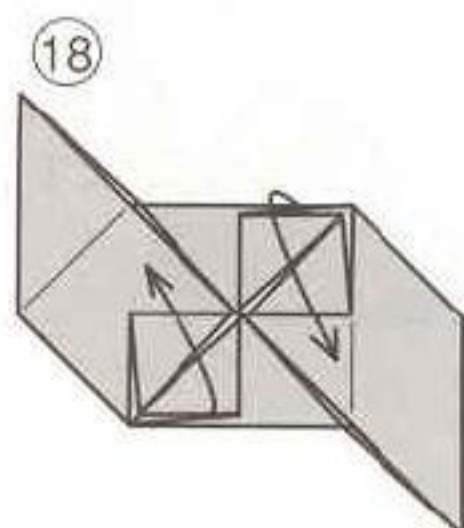
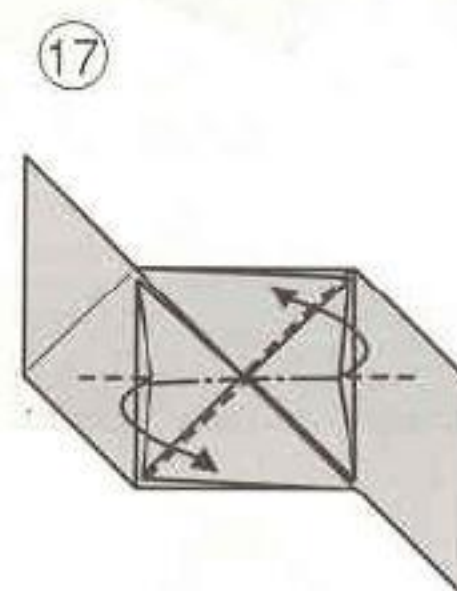
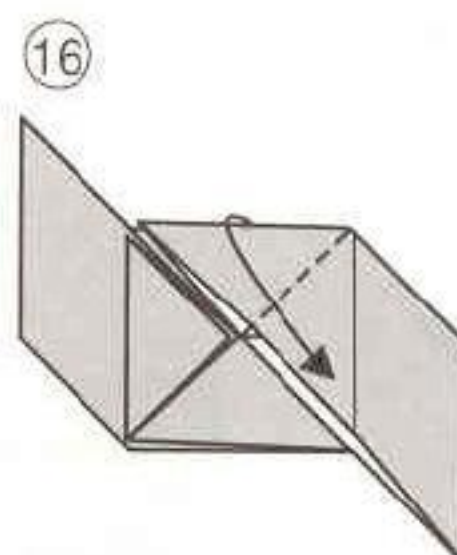
桜をモチーフにしたユニット立体には、川村みゆきさんの「桜」、川崎敏和さんの「桜玉」があります。そこに私も加わって「てまり桜」です。しっかりと組み上がります。用紙は12cm角以下がいいようです。紙面に余裕ができたので、「鶴の頭の箸袋」も紹介します。



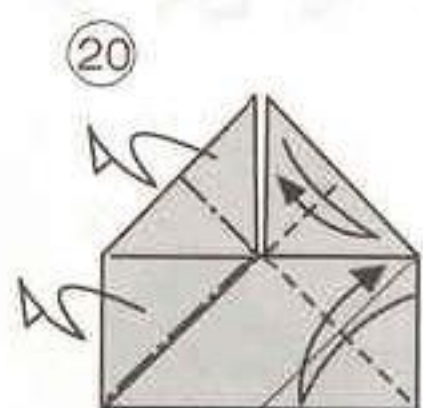
(途中の図)



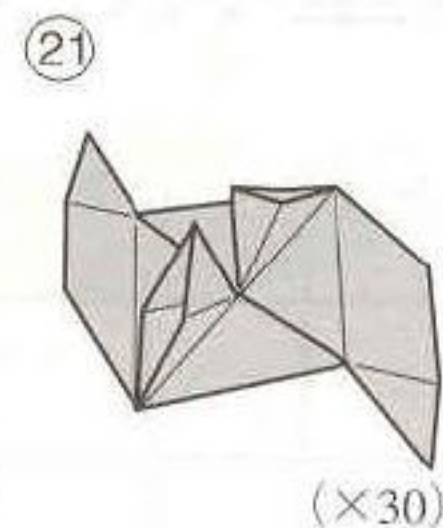
中を引き出して、もう一方と同じ状態にする



半分に折る

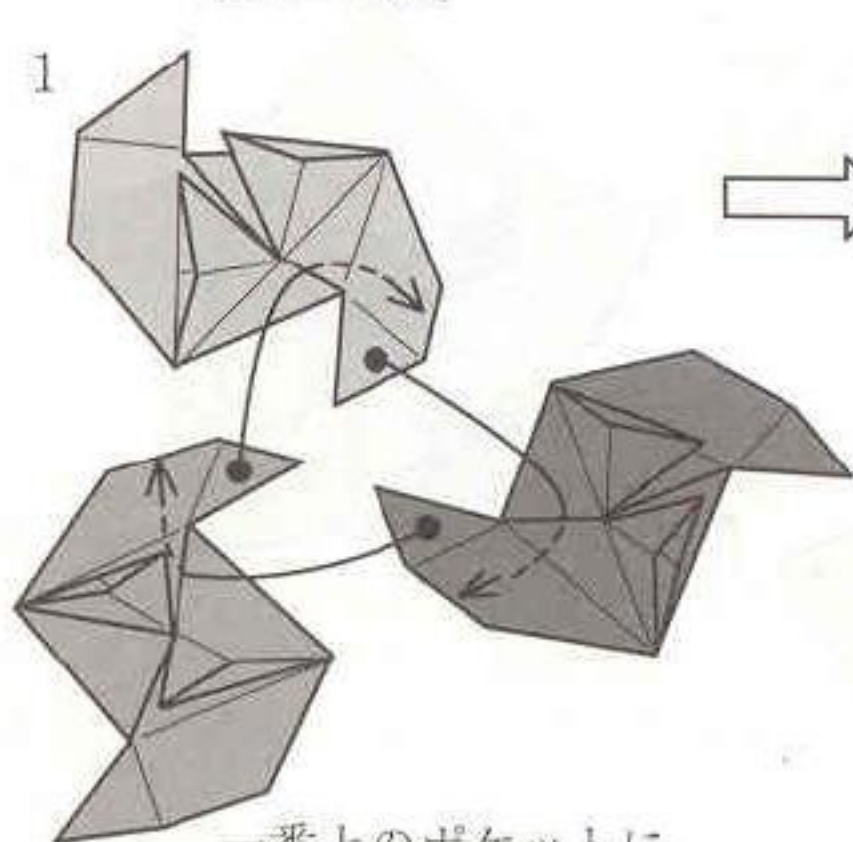


図のような折り線をつけたら開く

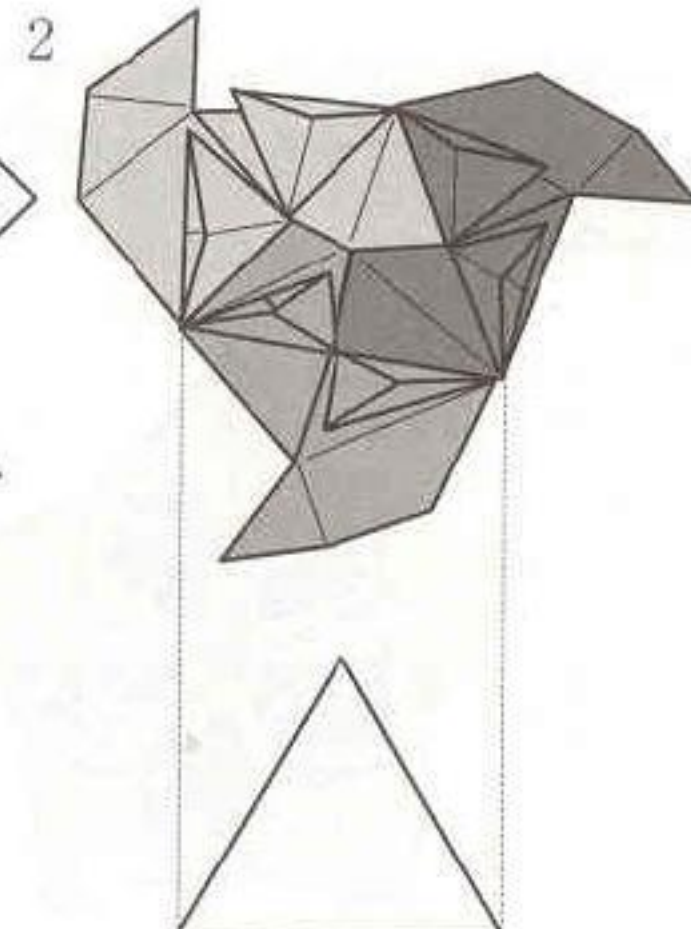


(×30)

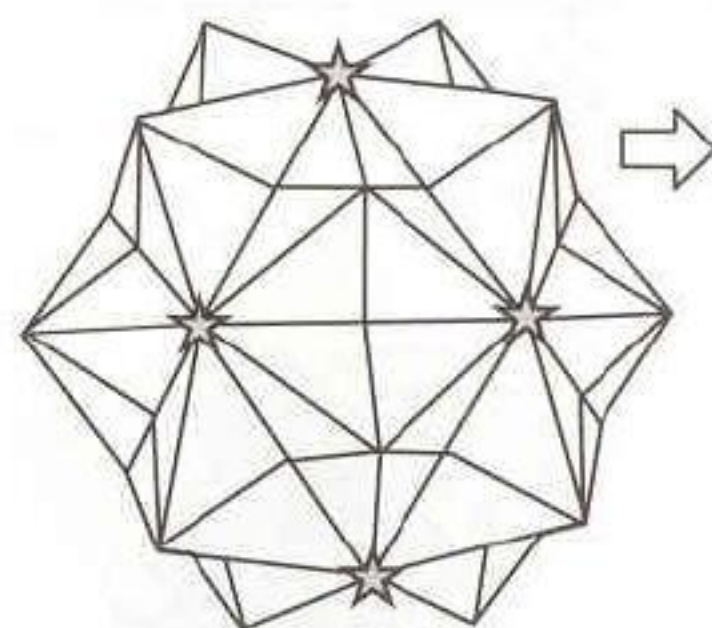
[組み方]



一番上のポケットに、ひとつ稜線を越えて差し込む



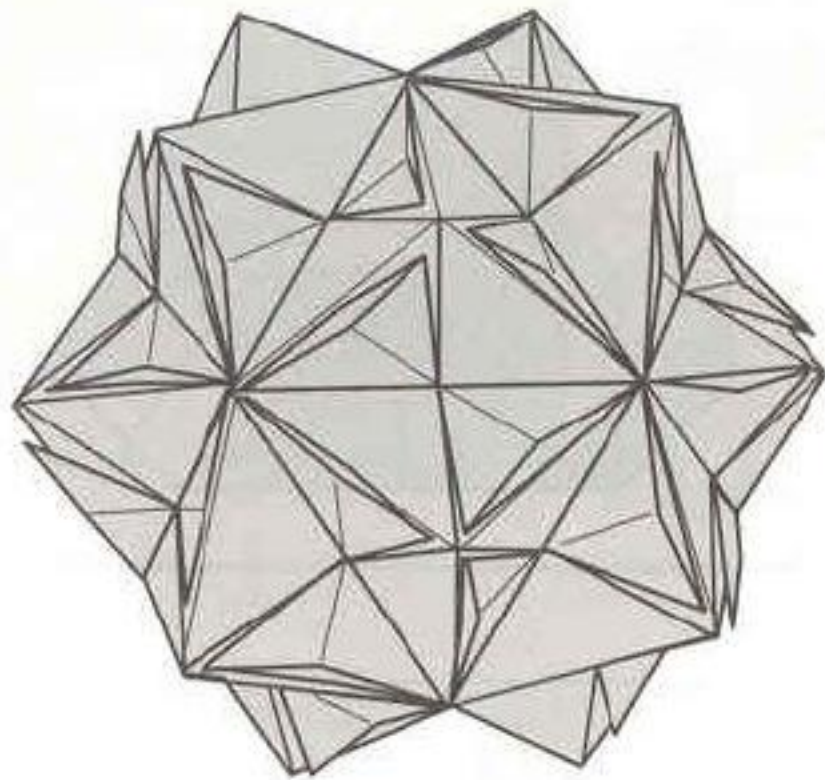
底面の形



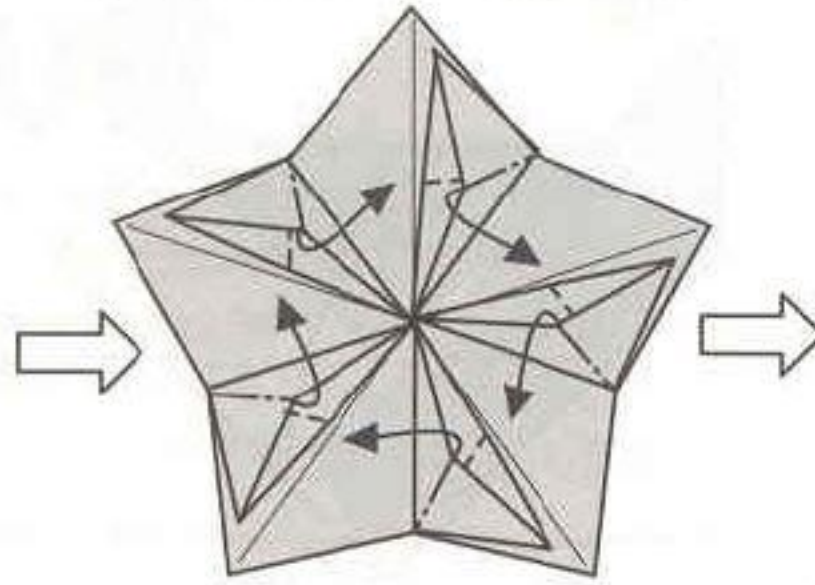
次のページへつづく

☆印に三角が5つ集まるように組む

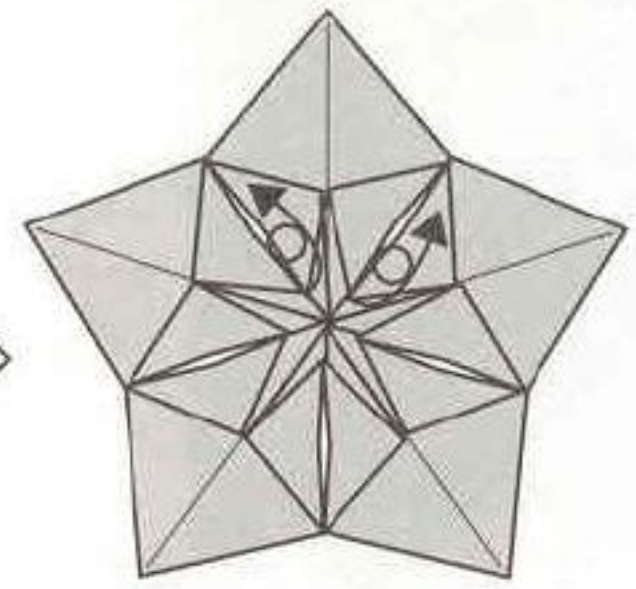
[一面を真上から見た図]



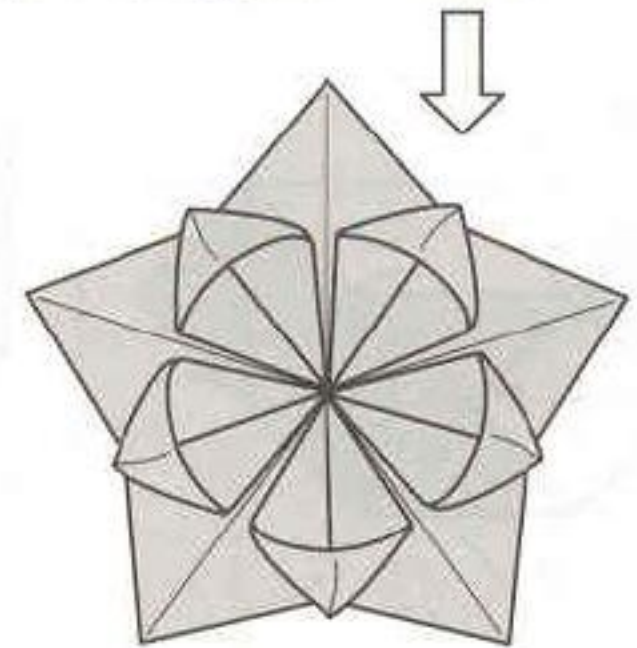
30枚を組んだところ



花びらを開く

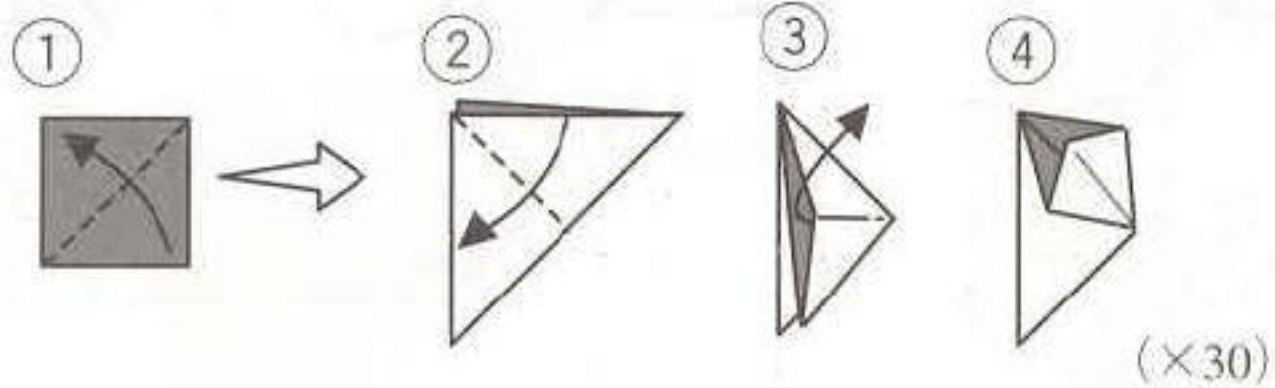
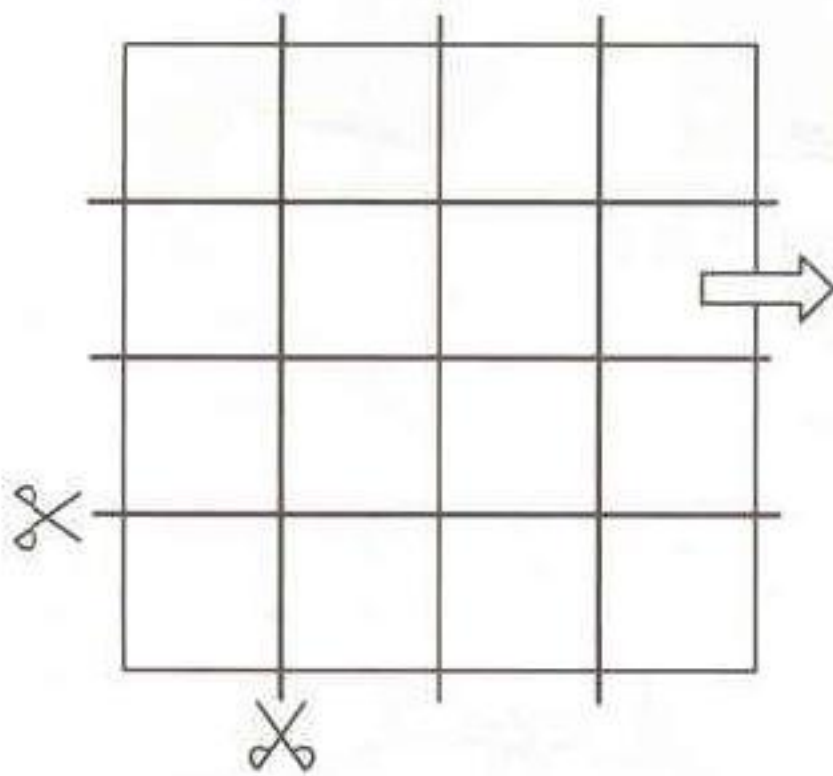


花びらの先をカールする

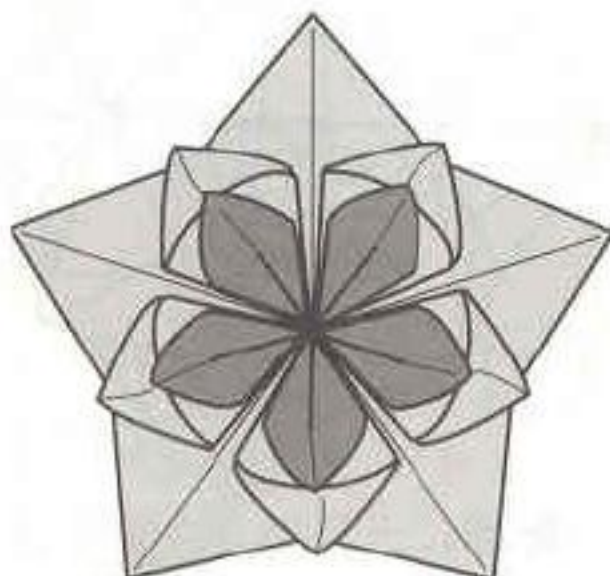


八重咲きのてまり桜

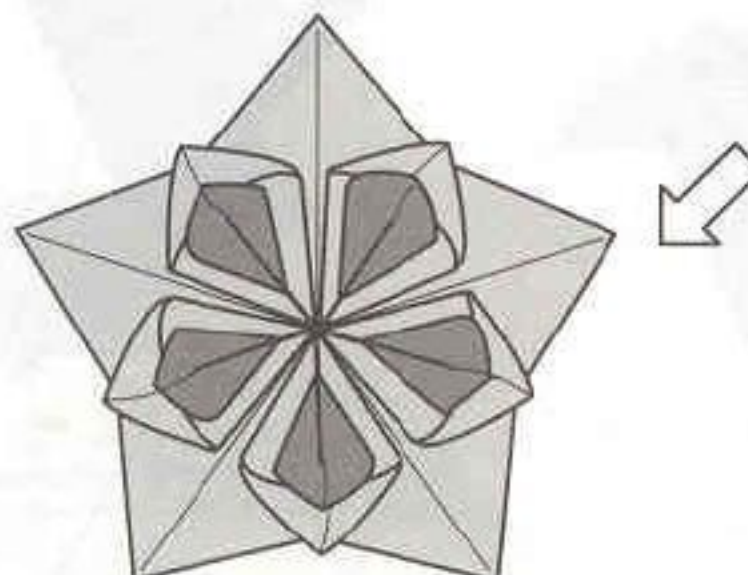
▶ 中に入れる花びら ◀



出来上がりがわりあい丈夫なので、30枚を組んでから、中の花びらを差し込みます。



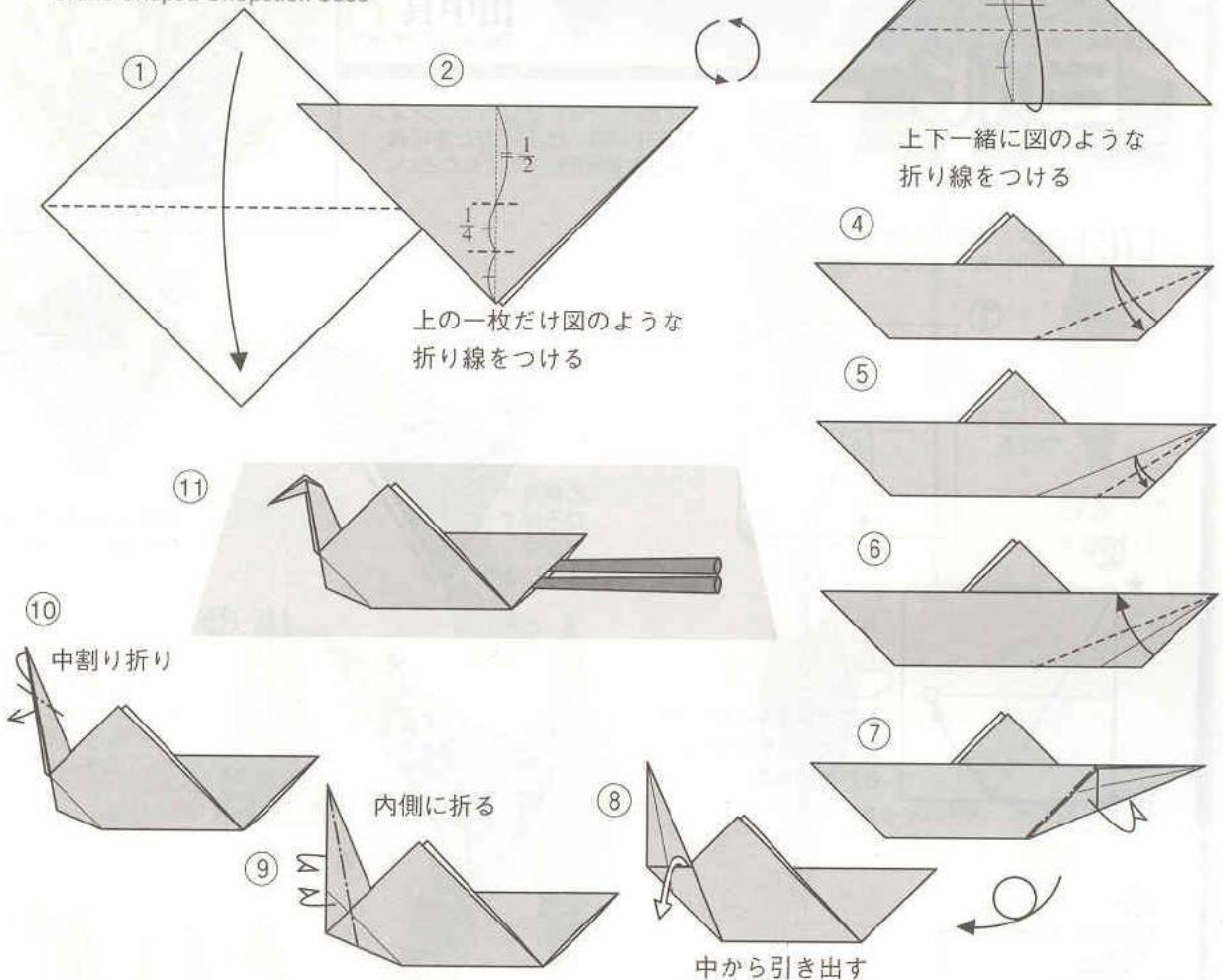
図より大きめの花びらを、中心に寄せて差し込んだ場合



花びらを奥に差し込んだ場合

かしら
鶴の頭の箸袋
Crane-Shaped Chopstick Case

15cm 角の折り紙用紙
が適当



ショートエッセイ「鳥寄せ」

ここに住んでからずっと、冬場、小鳥に餌をやっている。年によって集まる種類は少しずつ違うが、ヤマガラ、シジュウカラが主体で、そこにコガラ、ゴジュウカラ、ベニマシコ、メジロなどが混じる。餌は30分くらいでなくなる量。

朝食をとりながら集まる小鳥たちを見る。いろいろな性格のがいて見飽きない。

昨冬から、餌台に運ぶ間が待ちきれなくてヤマガラの一羽が玄関先でまとわりつき、ついには手に乗るようになった。

野生動物とはある程度距離を置くのがルールと思い、積極的に手に乗せようとはしなかったが、今年は、いつしかかなりの数のヤマガラが手

に乗るようになった。

で、私も手を差し上げて、おいでおいでをしてみちゃっている。この程度ならまあいいか、と思いつつ。羽ばたきの音、手に小鳥の爪が当たる感触。わくわくする。うれしい。

ひとしきり騒ぎがおさまったところで、餌台の雪をのけて餌を入れる。ビリビリする寒さの中で、テンのフンが凍ってこびりついていることもある。餌台は雪で相当埋もれているから、テンが飛び乗るのはわけないだろう。2年続きで大雪だ。

生ゴミ捨て場にも、いろいろな動物が来る。タヌキ、テン、ネコ、ヤマドリ、キツネ。雪上に足跡が印されている。

白昼「ウギャー」とすさまじい声が上がると、駆けつけると、ネコとヤマドリが睨み合っていたりする。

ヤマドリの気迫漲る胸と、足を抜くような歩き方で去る姿に見とれる。とっさに、宮本武蔵ならヤマドリをどう描くだろう、と思う。

動植物、そのたたずまいに、私はどれほど癒され、活力をもらうことだろう。つくづく山暮らしが性に合っていると思う。

折り紙もまた、性に合っている。作品が「決まる」心地よさ。

どんなときでも、折り紙が喜びの泉でありますように。私にとっても、みなさんにとっても。

ももこさんの 色紙 しきし ひゃっか 百花

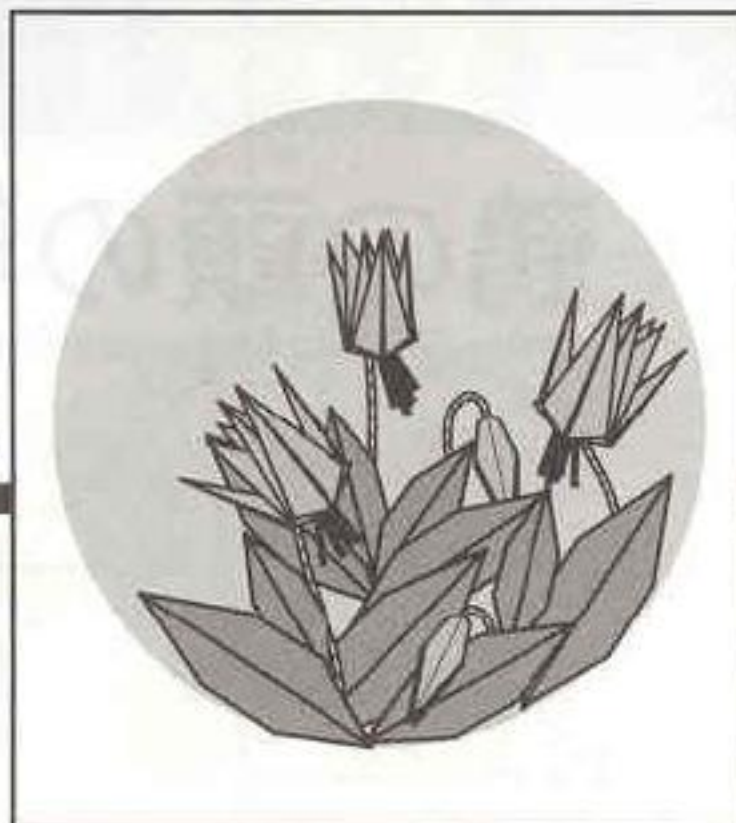
カタクリの花

Dogtooth Violets

田中具子

Tanaka Tomoko

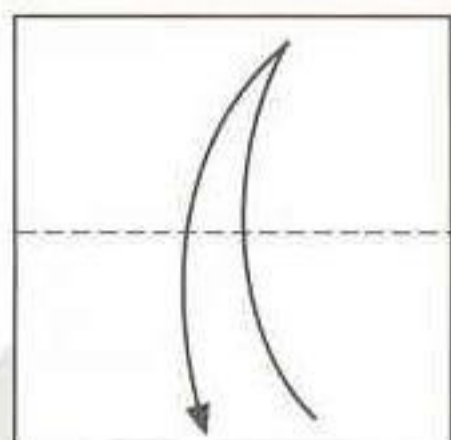
今回はパーツの数も少なく折り方もシンプルです。花びらの重なりは、仕上げのときに適度にずらして、らしさを研究してみてください。



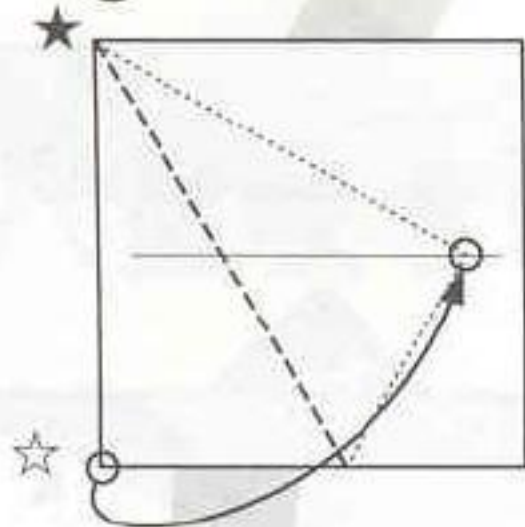
【花】 (大) 9cm×9cm 4枚
(小) 7cm×7cm 2枚

①

半分に
折り筋を
つける



②



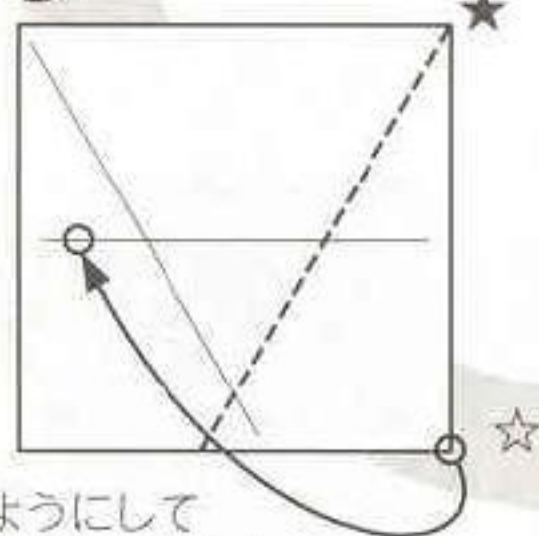
★のカドを中心にして
☆のカドを折り筋に
合わせて折る

③



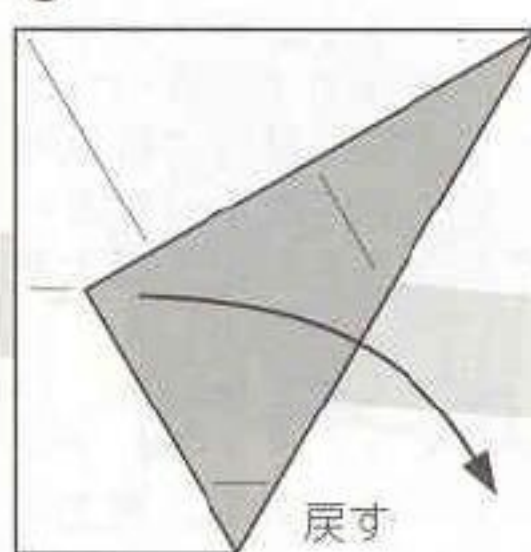
戻す

④



同じようにして
★のカドを中心にして
☆のカドを折り筋に
合わせて折る

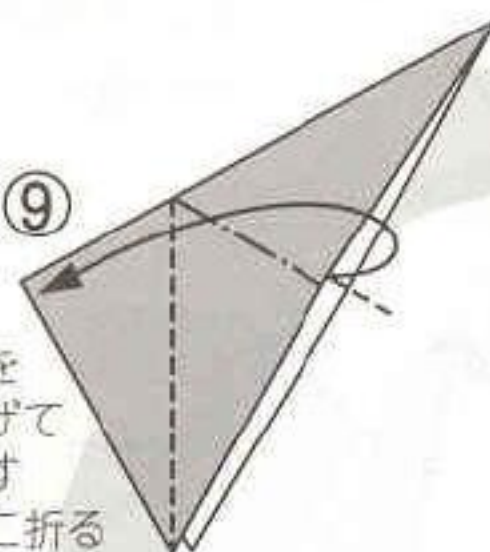
⑤



戻す

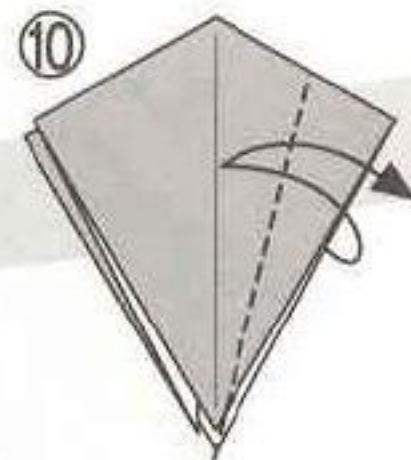
⑨

内側を
ひろげて
つぶす
ように折る



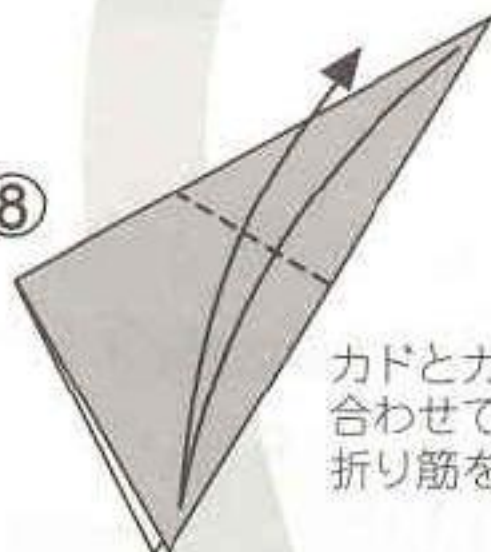
⑩

線を中心に合わせて
折り筋をつける



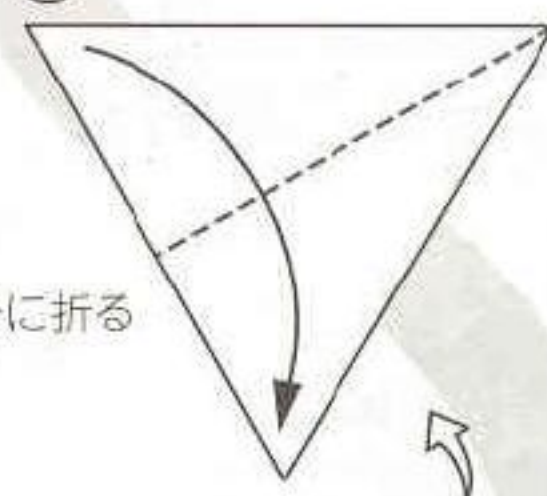
⑧

カドとカドを
合わせて
折り筋をつける

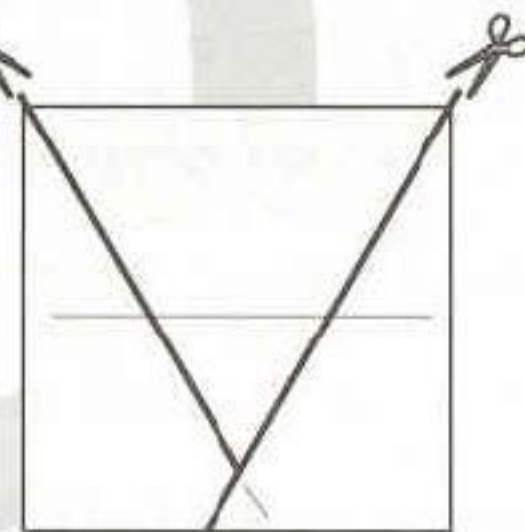


⑦

半分に折る



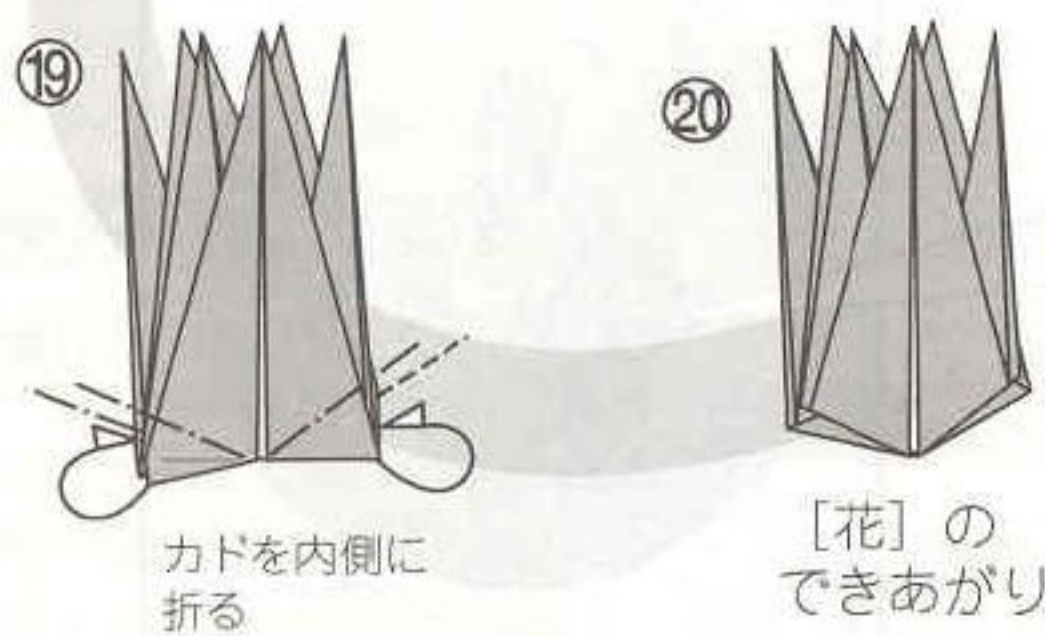
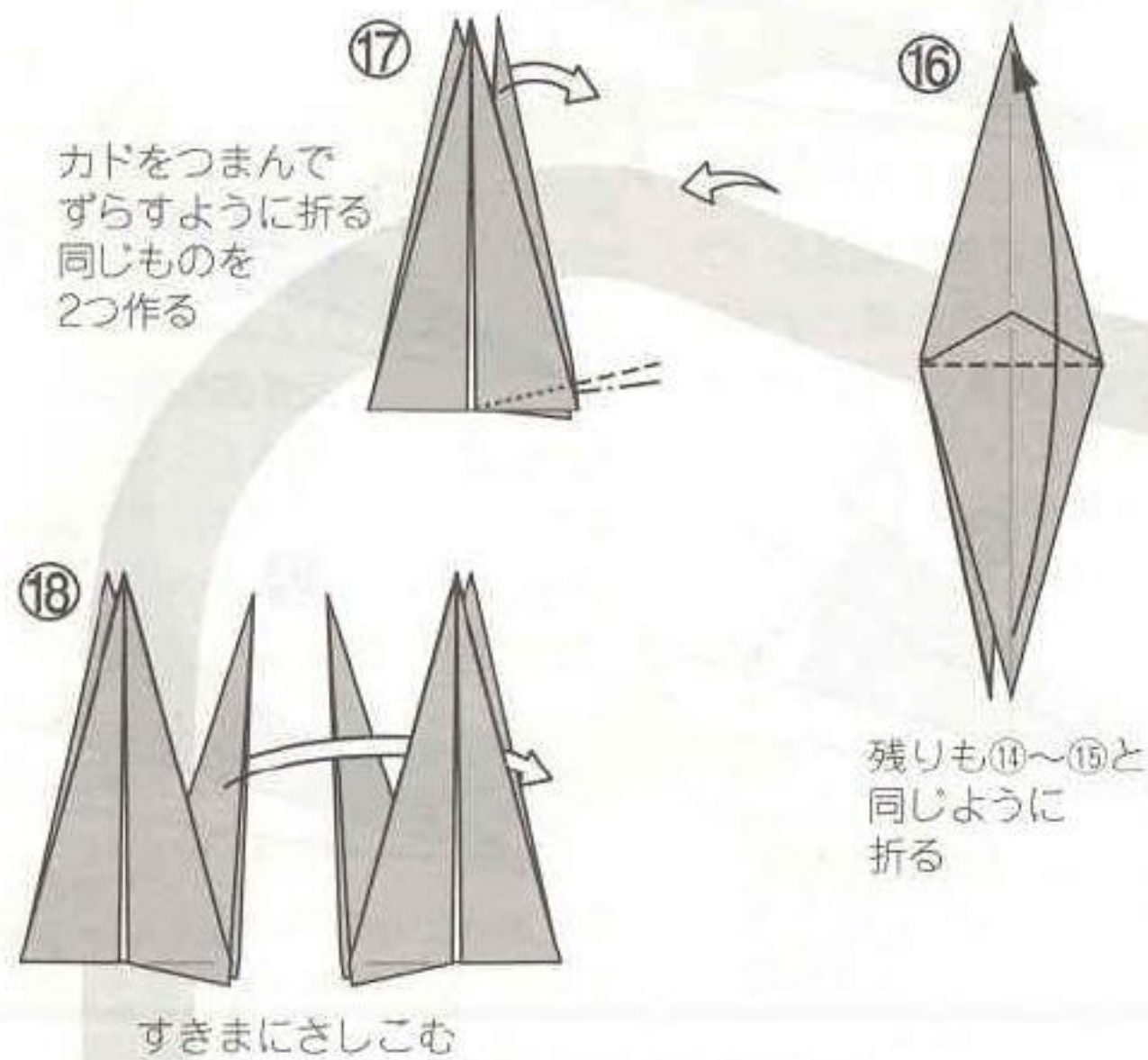
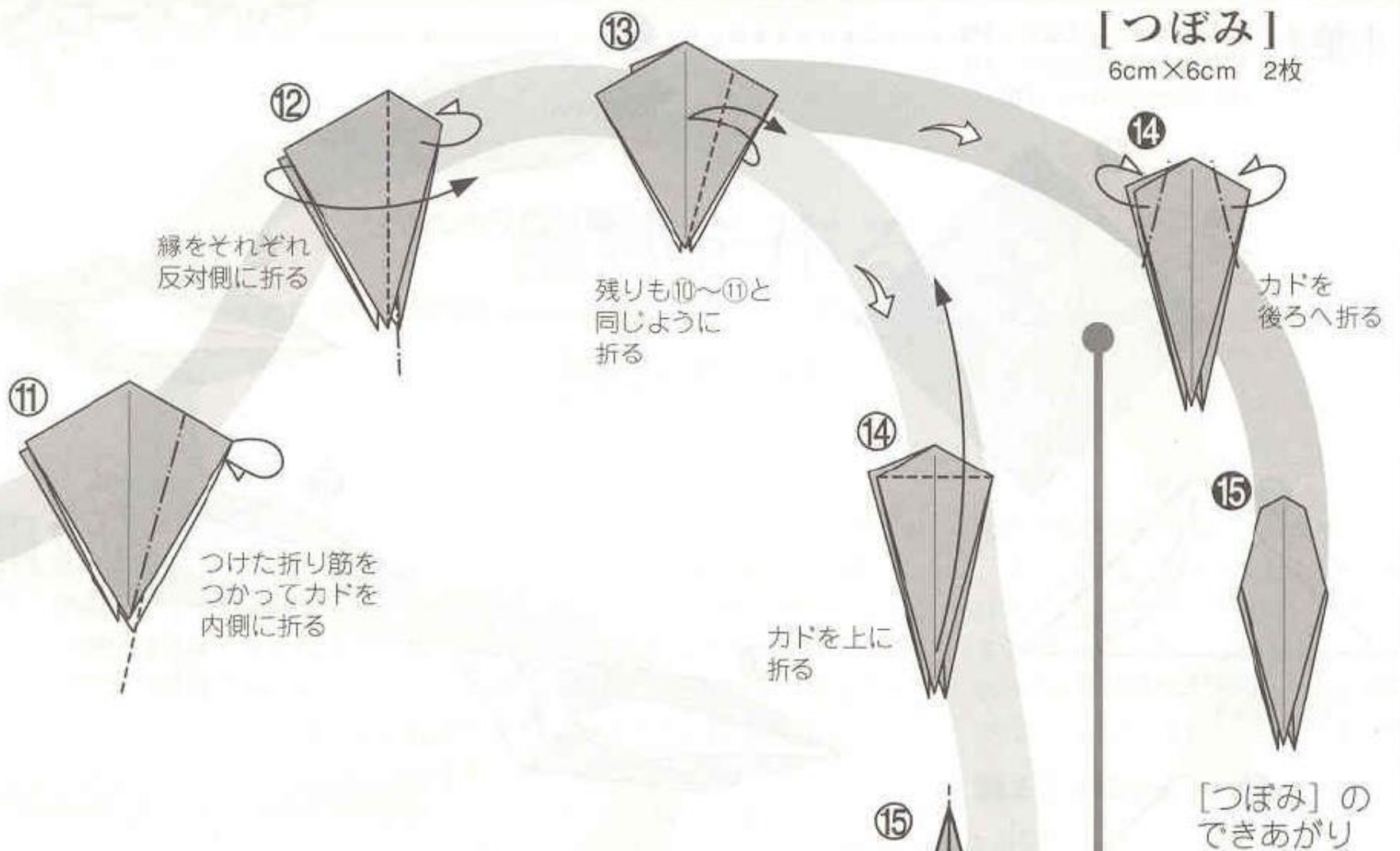
⑥



つけた折り筋で切り落とし
正三角形の用紙を作る

[つぼみ]

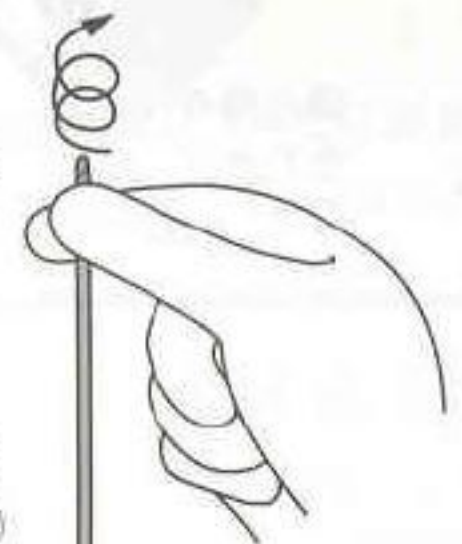
6cm×6cm 2枚



[花心]

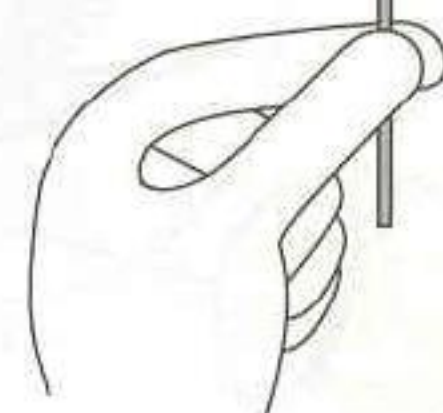
0.5cm×15cm 3枚
黒い紙 適量

こよりをよってそれぞれ5本に切り分ける。
先端に黒い紙を貼る
(P.10 [組み方]参照)

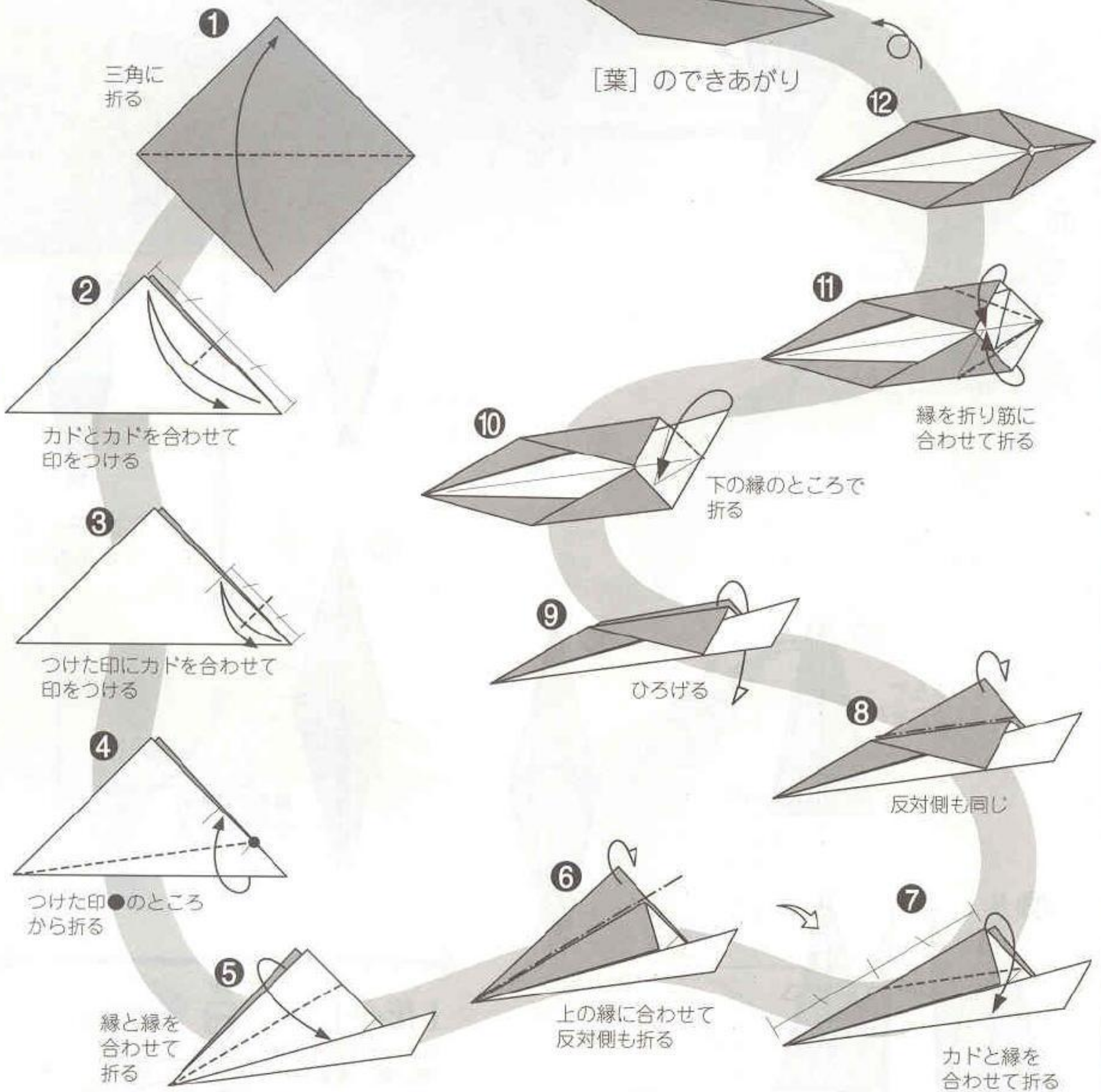


[茎]

1cm×15cm 3枚
こよりをよって適当な長さに切って使う



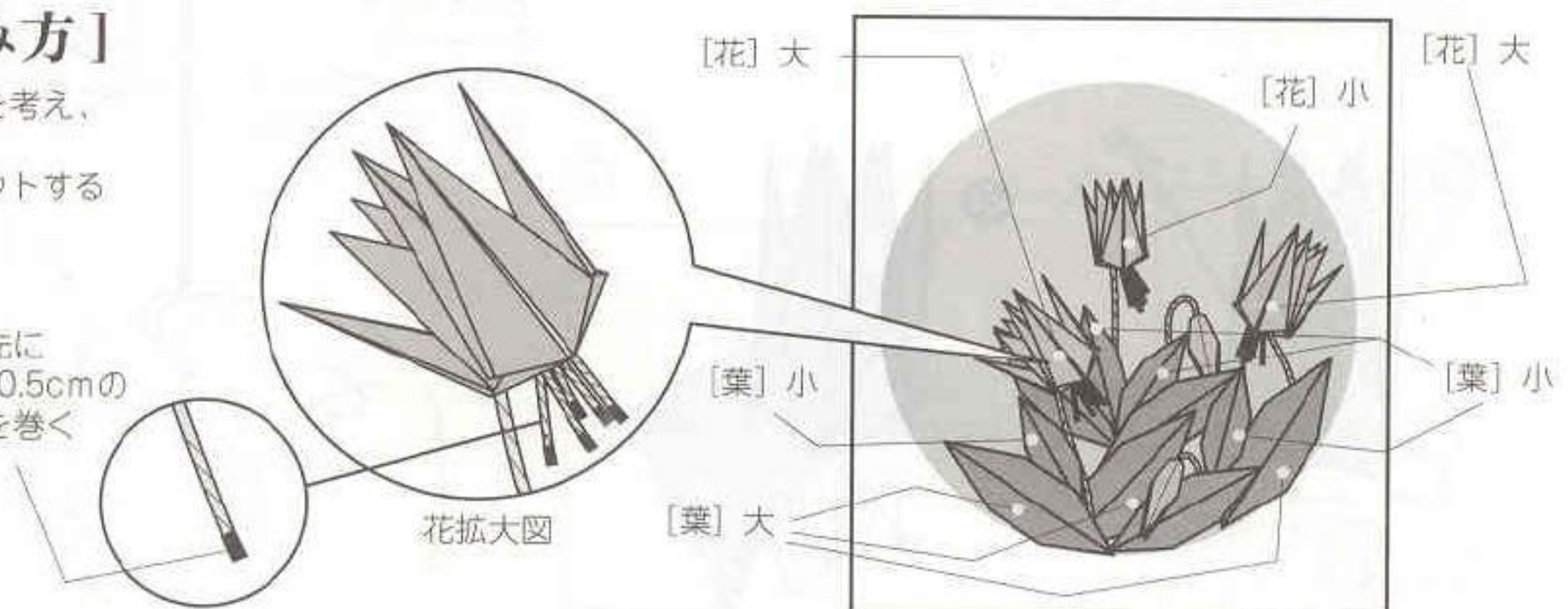
【葉】 (大) 7.5cm×7.5cm 3枚
(中) 6.5cm×6.5cm 3枚
(小) 5cm×5cm 4枚



【組み方】

重なりを考え、
奥から
レイアウトする

花心の先に
幅0.4~0.5cmの
黒い紙を巻く





龍神を作る

Making and Developing of the Ryu Zin : Eastern Dragon

神谷哲史

Kamiya Satoshi

龍 神、恐らくは私の代表作であり、私の作品中、いや世界でもっとも複雑な折紙の一つでしょう。

今回、クローズアップを担当するにあたりその創作の過程を振り返ってみたいと思います。

はじめ

そもそものきっかけというのは1999年秋の第1回静岡コンベンションにさかのぼります。

1. 当時私は「長方形で折られた作品を正方形で折れないか」という良く分からない事に挑戦しており、デヴィッド・デルダス氏のコブラ正方形バージョンの試作品を持っていました。
2. コンベンションの会場には川畑文昭氏の竜頭が展示されていました。この竜頭は長方形の紙から折られています。
3. エンシェントドラゴン以来、1年ほど龍、竜を作っていない。
4. 来年は辰年。

……という事で、「鱗がついたバハムート系造形の頭の龍が『正方形』から出来ないか?」などと考えはじめてしまったのです。それも制限時間付きで。……え、コブラ? 結局試作のままダンボール箱の隅に転がっています。結果的に「龍神への過程の一つ」と考えればこれだけして無駄な事ではなかったのでしょう。

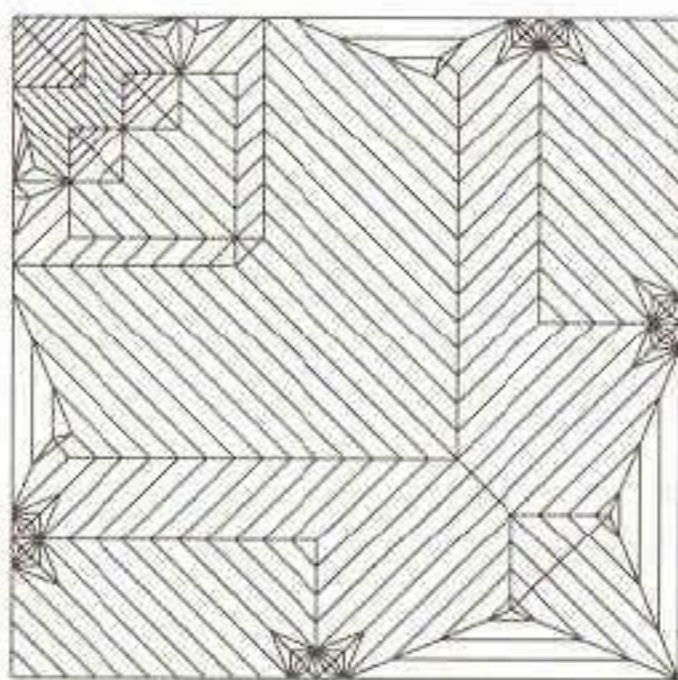
1.0 昇龍

龍を作るにあたってまず考えたのは鱗のパターンです。基本的には斜めに入れていくのですが、よくあるパターンなので腹の部分で鱗の向きを変えて変化をつけることにします。ちなみにこの段階ではまだ鱗は後から追加する、もしくは鱗を

作っておいて周りのあまった部分で手足を折り出す、等と安易に考えていました。

次に頭を作ります。鱗に負けないように、ある程度重量感のある造型にする必要があります。また、体の方の構造をあまり気にしなくても良い様に襞を追加する方法で折ることが可能のように作ります。とりあえずカドに配置し、斜めにいれた襞をいじっているうちにそれらしき物が出来ました。ただ、鱗と構造が違うのでつなげるのがめんどくさそうです。

頭が出来たので、とりあえず鱗無しの龍を作ってみる事にします。頭からのびている蛇腹の構造をそのまま使いまとめいくと、素直な形の3本指の龍が出来ました。紙への負担が少ない、重心が後ろの方にあるため上半身を上に向けても安定している、などそれなりにおさめたのでこれを1.0「昇龍」とします。(この時点ではまだ「龍神」という名前はついていない事に注意。鱗がついてはじめて「龍神」になります。)



▲1.0「昇龍」展開図

2.0 龍神

襞により鱗を作る時、今回の方法だと3倍の幅の紙を使います。面積にすると9倍。普通はあまり気になりませんが、当

然厚さも同様に増えていきます……。

さて、「昇龍」が出来たところで、今度はこれに鱗を付けなければいけません。まずは当初の予定どおり素直に仕込み折りでやってみたのですが、9倍の厚みではどうにもなりません。……作戦失敗。

■まずは鱗から

仕方がないので視点を变えて、「無駄が少ない鱗付きの体に頭などを取り付ける」という方向から攻めてみることにします。

まず「何にしろ体を長く折り出さなければならぬのは同じであろう」と考えて引っ張り出してきたのが岡村氏の「へび」、これに鱗を付けてベースにすれば。とりあえず試作をしてみますが……相変わらずまとまりません。そもそも根本的な問題「鱗を作る時に出る厚みをどうするか」が解決していません。さて、どうしようか。

■皮

作品の非常に大きな位置を占めるアイデアがある、そういう時があります。きっかけというのか、折り返し点というのか、……うまく言えませんが、これを見つけた時「この作品を完成させる事が出来る」と感じる事があるのです。

まだ折ってもいない、展開図も未定、構造すら見えていないのに、出来るという事を確信している。それほど重要な事。こういう時は作品を完成させた時よりも嬉しいくらいです。

そしてそれを折るのは本当に楽しく、そして早く完成を見たいため、自分の折る速度がもどかしく感じたりもします。すべての作品でこれがある訳ではなく、むしろ無い場合のほうが多いのですが



龍神を作る

Making and Developing of
the Ryu Zin : Eastern Dragon

神谷哲史 Kamiya Satoshi

……これが創作をされていて一番楽しい部分の一つです。

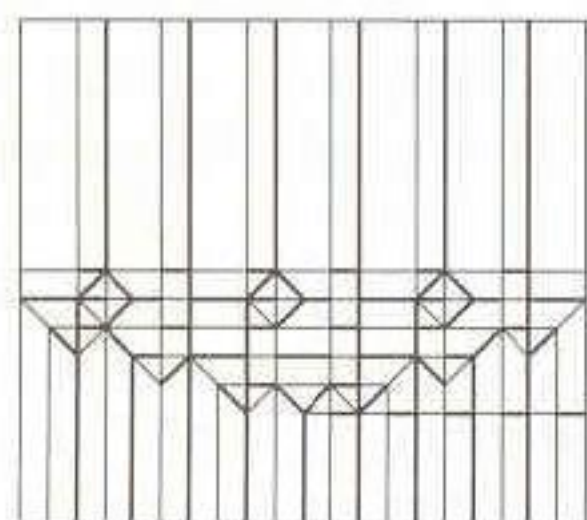
と、話がそれてきた。龍神の場合、「鱗部分を“皮”として作っておいて後から巻き付ける」というアイデアがこれにあたります。外見上はあまり目立ちませんが、龍神において非常に大きな役割をはたして、これにより構造、厚みほか大量の問題を一気に解決できます。

これを実行するには、鱗などを出すための襞と蛇腹構造を上手くつなげることが必要になります。そこで数年前に作った「皇帝の龍」で使ったテクニックを引っ張り出していきます。これで、性質の違う襞をスムーズにつなげる事が出来ます。

まずは64等分で試作してみます。すると面白いようにきれいにまとまりました。鱗もスムーズに繋がっているうえにH型になってくれたので交差している部分も目立たない。これはうまく行きそうです。

さっそく128等分で鱗つきのへび(というよりただの筒なのですが)を折ってみると、予想以上にHの接続部が長い事が判明。そこでこの部分の長さを調整して、皮の中を通してまっすぐにのばせるようにします。また、紙の内部にはけっこう大きな余裕があるので、ここから手足を折り出す事が出来そうです。これで後は頭だけか。

▶ 襞の形を変える部分の展開図



MMMMMM

■頭部をつなぐ

頭と体の構造を並べてみて、とりあえず目につくのが襞の方向が45度ずれている事ですが、これは22.5度を混ぜる事で簡単に向きを変える事が出来ます。

次に襞の高さがずいぶん違うのが気になるので、胴体の襞の高さを倍にして64等分で折ってみます。これは内部構造の簡略化とともに厚み対策にもなります。ただ鱗部だけは細かさを保つために、元の襞の大きさで仕上げる事にします。

この段階で大きな問題に気がつきます。頭部を素直につなげると上下逆になってしまいます。これはどうにかしないと。

いくつかの方法を試して結局、ねじる様にして上下をひっくり返すという多少強引な方法で向きを合わせる事にします。

頭部を追加するのに必要な襞は20、とりあえず襞を最低限必要と思われる16追加して足りない分はまわりから引っ張ってくる事にします。頭と鱗の接続部がどう干渉するか読み切れませんが、これで作ってみる事にします。

この段階ではほとんどの問題は部分ごとに解決しているので、実際にやる事は、確認しながら折り進めていき問題がでてきたら調整してまとめる、という感じになります。

残る問題の頭と鱗の接続部は試行錯誤でいろいろ試しているうちに多少強引ながら「鱗の襞をまとめて大きい襞にして、それを角の付け根でどうにか吸収する」という方法にたどり着きました。

これで一応龍神が形になりました。ここまで約1ヶ月半、どうにか1999年中に仕上げる事が出来ました。

■2.1

2個目を折っている時に、首の接続部と色々と細かい部分を整理することが出来ました。

現時点で唯一展開図が存在するのがこのバージョンです。

JOAS会員に送られた展開図カレンダーがこれなのです。が、実は写真の方は2.0だったりします。



▲2.0「龍神」

3.0 真・龍神

2000年中、コンベンションで展示したりしていて、いろいろな方から感想、意見などをいただきました。多かったのが、「細かい頭部、鱗付きの体にくらべて、普通のカドから作ってある手足が浮いている」「背中の紙の重なりが気になる」「鱗を細かく折らないの?」など……。

これらの課題をクリアした新しいバージョン、いうならば「真・龍神」を作る事は可能でしょうか?……というより嫌でもどうしたら出来るか考えだしてしまいます。作家の性と言いますか……。

という事で次の目的は「背中の紙の重

○神谷哲史(かみや・さとし)=昭和56年名古屋生まれ。空想動物・古生物などの題材を得意とする。折り紙以外の趣味はゲームとピアノ演奏。現在はOrigamido (USA, マサチューセッツ)にて紙漉きを勉強中。



なりを隠す」「手足にも鱗をつける」「鱗の細かい造形」。せっかくなので更に「背びれをつける」「舌をつける」「角から顎へのギザギザを出す」などを追加します。

さて、これらを「龍神」につっこんでみます。

まず、背中の紙の重なりですが、鱗のついた皮の幅を変えて背中までのばせば隠す事が出来ます。ついでなので背びれ用に少し余分にも作っておきます。ただ、これにより必然的に全体の蛇腹の数は増えてしまいますが……。そうすると構造や頭部との接続を作り直さなければいけなくなります。背びれを作るとなると、その延長上の尾びれもしっかり作るべきでしょう。舌、角は頭部をいじればどうにかなりそうです。カドはたくさんあるし。

鱗は皮のなめらかな流れを保ちつつ一枚ずつ細かく折り込んで行く事にします。余談ですが、この鱗のパターンというのが、まだ『折紙探偵団』が新聞だった頃に連載されたマンガに出てきた「蝶の鱗粉」を昔私が実際に折ったものだったりします。まさかこんな所で再会するとは。

問題は手足の鱗。部分的に鱗を折り出すのはけっこう面倒です。方法はいくつかありますが、今回は手足のカドを作る段階で鱗用の襷も折り出しておき、それを体の鱗と同様の方法で細かく仕上げていくことにします。これで大体揃った。さて、折るか。

とりあえず最低限必要と思われる襷を追加して88等分で作ってみます。皮の部分を広くとってそれに合わせて中の構造を決めていきます。そして手足の位置が分かったところで鱗を折り出すための

襷を仕込み、形にしていきます。

今回も頭部と鱗の接続に苦労しましたが、どうにかクリアして完成……していないのです。諸々の事情で。現在3.0は実家で完成させてもらっているのを待っている状態です。

■ 3.1

中途半端な状態で置いてあると何かすっきりしません。しょうがないのでもう一つ折る事にします。

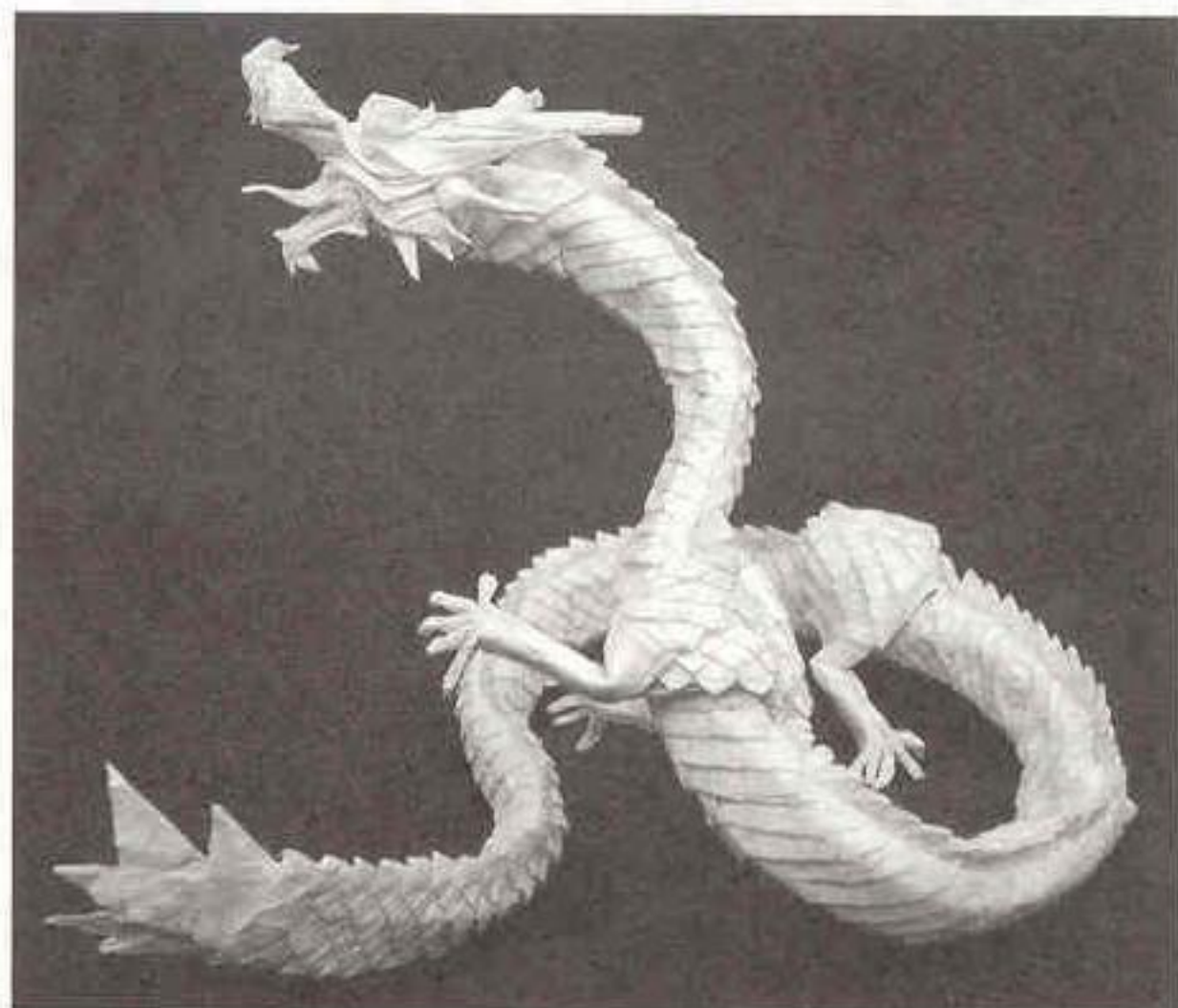
2.1の時と同様に2個目は細かい部分を調整・修正します。大きな変更点は皮の幅を大きくして余裕を持たせた事です。同時に頭部の外側に襷が出てきたので、そのまま利用して大角の形を鋭角から帯状に変更します。ちょっとした事ですが随分とイメージが変わります。

皮に紙を使ってしまったため実はかなり強引に手足のカドを引き出しているのですが、まあ中側ですので気にしない事にします。

ただ、残念ながら紙のサイズの的に鱗を細かくするのは無理と判断したため、3.1はこの処理を飛ばしてあります。

■ 次のバージョンへ

さて、3.1でデザイン的な部分はほぼ固まったので、これでやっと終わりかと思っていたのですが、恐い事にまだ改良点が出てきます。「内部構造の整理」



▲3.1「真・龍神」

「指の強化」「目とその周辺の造形の見直し」など。「龍神」はまだ進化中です。

最後に龍神を作るにあたって参考にした各作品の創作者、そして意見をいただいた方々に、深く感謝いたします。

追記 龍神3.5

この原稿を書いている間にバージョンアップが可能という見通しがついたので現在製作を進めています。変更部分は指と内部の構造の洗練。基礎部96等分、鱗部192等分で内部構造に3:4:5直角三角形のユニークな構造を使用しています(というよりは使用せざるをえなかったのですが)。

今回はちゃんと鱗の処理が出来るように、さらに大きい紙を使用。ちなみに鱗は約1200枚……。

また、今回は展開図も同時に製作中です(いや、むしろ展開図の方が先に進んでいるのですが)。完成は……いつになるのか。

数理を 楽しむ

オリガミクス ⑥

芳賀和夫

Let's Enjoy Math through Origamics
Haga Kazuo

○芳賀和夫(はが・かずお) 男, 1934—
長野電鉄の木島線が3月末日をもって
廃線になるというので、物好きにもわざ
わざ乗りに行きました。どうしてこんな所
に鉄道が敷かれたのか不思議なくらい
素朴な田園を走る電車でした。聞くところ
に依ると、廃線が決まっても、特に反
対運動はなかったとのこと。



「1回折ると何角形?」の数学的展開

Mathematical expansion of a theme of the last issue, "How many corners can I make when I fold a square sheet of paper only once?"

この連載では、素材としての正方形の紙をひらがなで「おりがみ」、それ以外の意味合いでは「折り紙」と書くことにします。

「1回折って何角形?」の復習

〔前号のテーマ1の設問〕1枚の正方形のおりがみを1回だけ折って何角形ができるだろうか?

〔その結果〕1枚の正方形のおりがみを1回だけ折ってできる多角形の種類は、三、四、五、六、九角形の5つだ。

このような結果に、「1回折るだけで、こんなに何角形にもなるんだ!」とびっくりする反面、何か物足りなさも感じ、さらに1回折ることを試みたりしましたが、やがて、もう少し数理的に展開する方向に気持ちがむきました。

もう少し数理的に

この設問によく似たオリガミクスの定番テーマに「1回折りによる折り返し片の多角形種類別の主頂点移動領域図の作成」があります。これは昨年の国際会議(モントレイでの3OSME)の開幕講演に取り上げたものですが、この手法を使って今回のテーマを“地図”にしてみましょう。

この定番テーマの要領は簡単です。おりがみの左下のかどに鉛筆でしるしをつけます(図1)。左下にしたのは、折り紙を座

標グラフに見立てたときの原点の位置からです(図2)。おりがみを折るときに、このしるしのかどを動かして折ることにして、これを主頂点と呼びます。そして、主頂点が座標グラフのどの位置に移動するかによって折り返された部分は何角形になるかを調べます。たとえば図3aの位置では三角形、図3b,cでは四角形、図3dでは五角形ができています。このように折り返して部分が何角形になるかは主頂点の移動位置によって決まります。その位置の範囲を図に描くと図4のようになります。

この図4では「折り返し片」の形の種類を問題にしましたが、今回の展開の目的は、紙を1回折ったときにできる紙全体の形、いわば輪郭の図形が何角形になるかということです。だから、上の図3aの場合は、全体で輪郭は五角形になっています、図3bは六角形、図3cは九角形、そして、図3dはそのまま五角形です(太線で囲んである)。

三角形は1点のみ

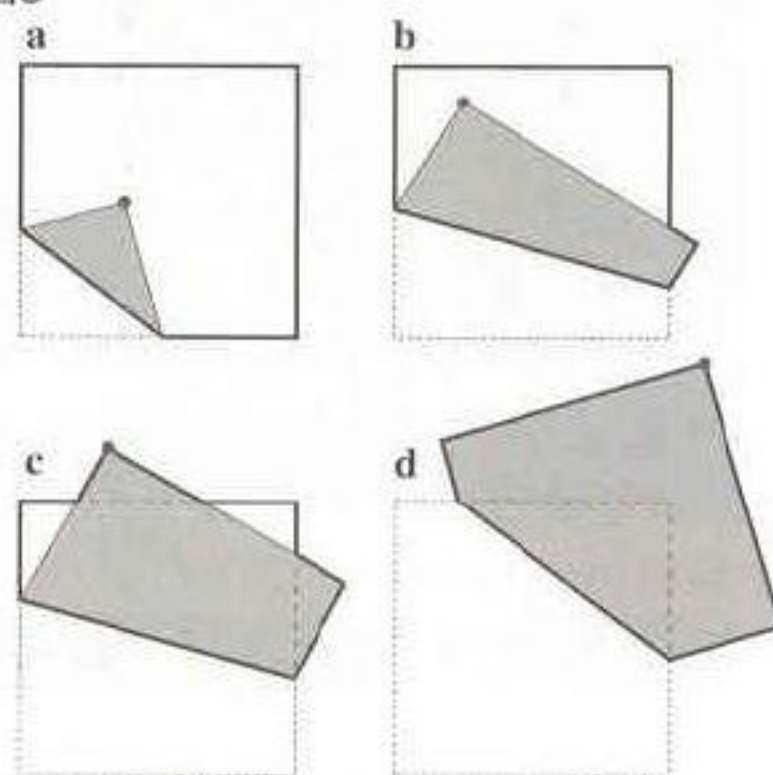
図4は、1回折った時の折り返した部分(白い面を上にして置いたおりがみでは、

現れてくる色の部分)が何角形かを調べた結果ですが、今回のテーマは、おりがみ全体の「輪郭図形」が何角形になっているか?を調べるものです。

では、始めましょう。最初に、同様に、おりがみの左下のかど(主頂点)の両面にしるしを付けます。xyグラフの原点に置くところです。グラフは、おりがみ1辺の長さを1としておきます。

まず、輪郭図形が三角形になるのは、紙を対角線で二つ折る場合であり、主頂点を移動させて折るという条件下では、主頂点の移動先は対角の頂点、座標では(1,1)の1点のみです(図8)。

図3



おりがみを1回折った場合の例

- a 折返し片は三角形、全体の輪郭は五角形
- b 折返し片は四角形、全体の輪郭は六角形
- c 折返し片は四角形、全体の輪郭は九角形
- d 折返し片も全体の輪郭図形も五角形(折返し片はパターン、輪郭図形は太線)



図1
おりがみの左下のかどにしるしをつける(主頂点、グラフの原点)

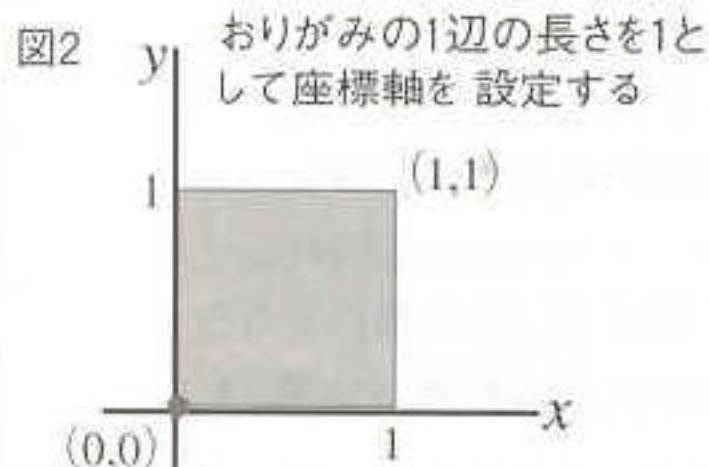
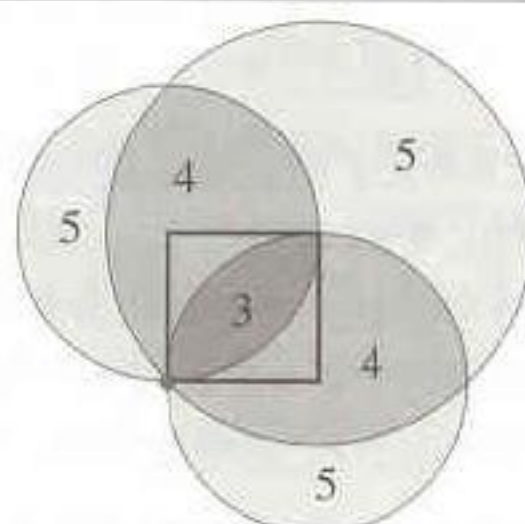


図2
おりがみの1辺の長さを1として座標軸を設定する

図4

おりがみの左下のかどをそれぞれの場所に移動させて紙を折ると、折返し片は数字の多角形になる。



四角形は線の上

輪郭図形が四角形になる場合はどうでしょうか？ 1回折ってできた形が長方形になれば四角形ですね。長方形にするには主頂点を x, y の座標軸上に移動させて紙を折ればよいということになります(図5a, b)。それだけではなく、他の頂点を支点にして、主頂点を移動させると輪郭図形は直角以外の角も持つ四角形になります(図5c)。その支点を中心とする円周が四角形を作る領域です。おりがみの他の頂点は3つありますから、3つの円の円周線ということになります。円周上の場所によってはおりがみが完全に裏返ってしまうので、それは「1回折った」とはいえないかもしれません。しかし、そのような場合も便宜上描いておくことにしましょう。

五角形は二つの場合

つぎは五角形です。1回折って輪郭が五角形になる場合は2通りあります、1つは、4つあるおりがみのかど(頂点)のうち主頂点だけが移動する折り方の時で、領域としては図4の三角形領域と同じです。これは、主頂点の両隣の頂点をそれぞれ中心とする半径1の2つの円が重なる部分です。ここに主頂点を移動させると、紙全体の輪郭は五角形になります(図3a)。ただし、この領域の端の対角の頂点は、すでに三角形を作る点であることが分かっていますから省かれます。もう1つの場合

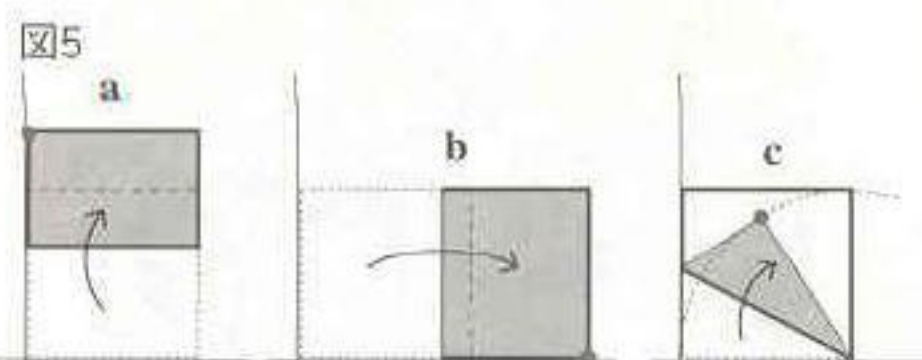


図5
1回折りで輪郭図形が四角形になる場合
a 主頂点を x 軸上に移動させた場合
b 主頂点を y 軸上に移動させた場合
c 主頂点を円周上に移動させた場合(太線で囲んだ図形)

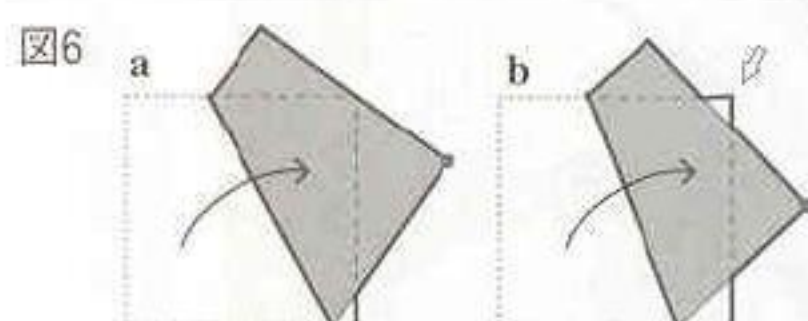


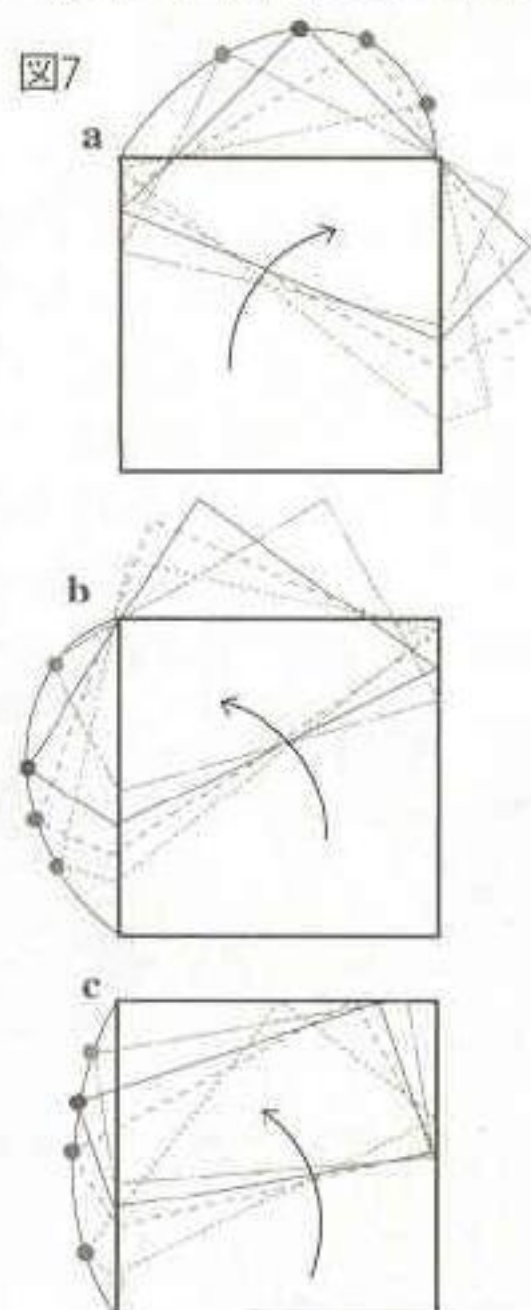
図6
輪郭図形が六角形になるか九角形になるかは矢印のかどがとびでるかどうかの違い
a 六角形 b 九角形 (太線の図形)

は、上記の2つの円と、対角の頂点を中心とする半径が対角線の長さの円の3円で、他の円と重ならない部分に主頂点を移動させると輪郭が五角形になります(図3d、図4)。

六角形と九角形は難物

さて、残る六角形と九角形の領域を調べて図に表すことには苦労します。図6aのように、紙を折ったときに下の紙の1つの頂点がかくれていると輪郭は六角形、同bのように(矢印)とびだしていれば九角形という関係があります。つまり、折り返した上の紙の、1端が主頂点になっている辺が他の頂点をなでて行くとき(図7a, b)、あるいは他端の頂点が辺をなでて行くとき(図7c)の主頂点の軌跡がその境界線になるわけです。この軌跡は円でも楕円でもなく、二次曲線でもないため普通の作図ソフトでは正確に描くことができず、数学用のソフトの力を借りることになります。

この六角形と九角形の境界線は図7のように3通りがあり、境界線上は六角形の領域です。これら3つの境界線はそれぞれおりがみの対角線をはさんだ対称位置にもあるので、これらを描き入ると、ようやく全体の“地図”が完成します(図8)。



かど(図6b矢印)がとびでない境界の主頂点の軌跡
a 対角の頂点をなでる場合
b 隣の頂点をなでる場合
c 他端の頂点が辺をなでる場合

気になる曲線

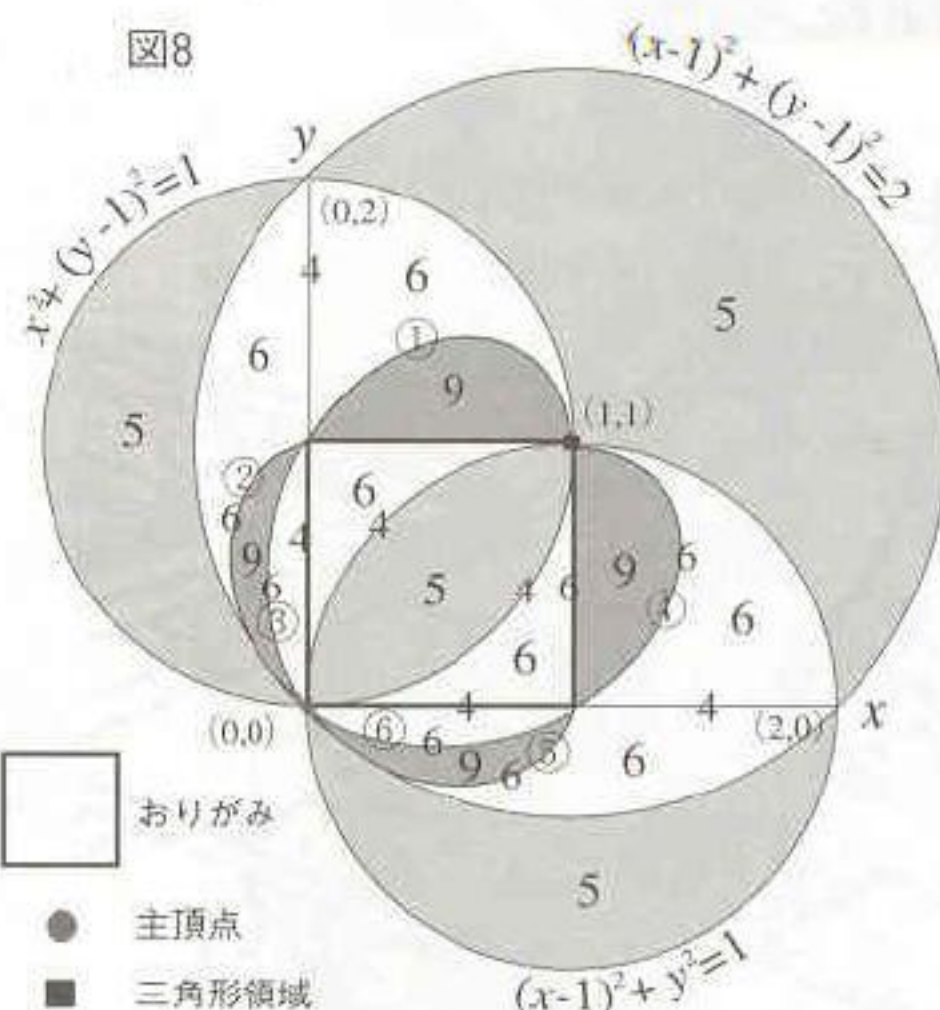
図7のa, b, c3本の曲線は円や楕円などの一部ではないといっても、やはりその素性が気になりますが、一定の条件下で動く線分の端点の軌跡で、平面座標に描かれたグラフ曲線ですから数式に表すことが可能です。しかし、私の能力を超えますので助けを借りました。

この課題は、かつて在職中に、つくばと東京で行った大学の公開講座で出題しましたが、以下の数式は、その際の受講者であった小田切恵子氏、茶園幸子氏、尾島義之氏から提出されたレポートを基にしています。数学の先生や理系研究者の方々です。なお、○で囲んだ番号は図のグラフの番号です。

- ① $y^4 - 2y^3 + (x-1)^2y^2 + 2xy - x^2 = 0$ ($0 < x < 1$)
- ② $y^4 - 2y^3 + (x^2+1)y^2 - x^2 = 0$ ($0 < y < 1$)
- ③ $y^4 - 2y^3 + (x-1)^2y^2 - 2x(x-1)y + x^2 = 0$ ($0 < y < 1$)
- ④ $x^4 - 2x^3 + (y-1)^2x^2 + 2xy - y^2 = 0$ ($0 < y < 1$)
- ⑤ $x^4 - 2x^3 + (y+1)x^2 - y^2 = 0$ ($0 < x < 1$)
- ⑥ $x^4 - 2x^3 + (y+1)^2x^2 - 2y(y-1)x + y^2 = 0$ ($0 < x < 1$)

1枚のおりがみをたった1回折るという単純な行為が、おりがみに座標軸を設定して原点の位置にあるかどを折り曲げ、その移動位置の座標をもとに図形の種類の領域を調べ、その境界線を描くという作業になり、それを通じて、きれいな図を描くおもしろさと、数学の楽しさを味わうことができました。

おりがみ1枚にも感謝しなくっちゃ!



1回折り輪郭図形が三角、四角、五角、六角、九角形になる場合の主頂点の移動領域図(①～⑥の曲線が難物)

折り紙資料館

3

Takagi Satoshi's the Origami Reference Room

高木 智

Takagi Satoshi

『けいせい手管三味線』他

—西川祐信の未発表資料から—

私は、日本折紙協会の機関誌『おりがみ』で「古典にみる折り紙」の執筆以来、絵本や浮世絵に「折り紙」の資料を描いた最初の画家として、西川祐信を紹介してきた。しかし、よく考えてみると、それらの資料のすべてをお目にかけたわけではなかった。たとえば享保2年(1717)刊とされる『けいせい折居鶴』(以下『折居鶴』と略記)の図でも、寺子屋の場面と、最後にお雪が折り鶴に乗って飛び行く場面は記したが、その直前の、夕霧太夫の遺書(実はお雪の計略)が床下から発見されたとき同時に掘り出されたという「薦僧」の図は、もっともリアリティが高い図であったにもかかわらず、出版時にも、文の続き具合から省略してしまった。ところが、『折るころ』の岡村氏も、同じくこれを外しておられる。

そこで今回は、それらの二三点を提示することにした。

まず、当の薦僧の図について述べると、巻一にある図は小さく、しかも

袖と胴が離れた形に描かれていて、「奴」を逆に折った形になっている。これに対して巻五の「薦僧」は、「奴」を普通に半分に折った形を表現しようとする姿勢が見える。惜しい事に、笠が肩から離れていて、先行する雛形本と同じ誤りを犯している。次に、袖の上下に分かれる線がなく、腰に胴と分かれる線が入っている。これらは正しい写生が行なわれたとは言えないにしても、一度は見た記憶にのっとなって描かれていると思われ、それなりの評価は可能であろう。

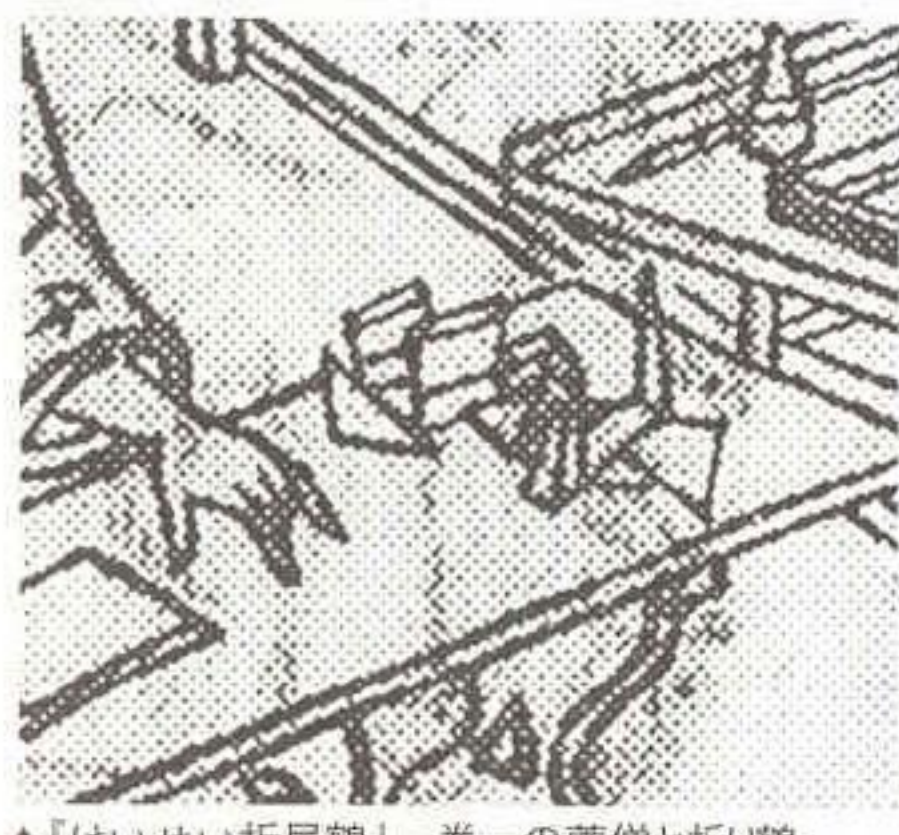
さて、手許にある『折居鶴』の改題再版本といわれる『けいせい手管三味線』(以下『手管三味線』と略記)の巻五をじっくり見ていた私は、ふと疑問を持った。『手管三味線』の巻末にある筈の「芝居狂言聞書作者 紀海音」の文字がない。急いで天理図書館本と、東京市立図書館の『手管三味線』のコピーを開いてみた。すると、家蔵本は巻末題が『手管三味線』であるのに、その

頁には東京市立図書館本にある版元名もなく、逆に、天理本と同じ後付け広告の頁がある。これは、まさにその中間の姿なのである。本文は岡村氏も指摘のとおり巻一の三丁ほど以外は全く変わっていないが、目次と小見出しは全て書き換えられており、家蔵本は、その点もやはり変わっている。

これはいったい何を意味するのだろうか。本来『折居鶴』にあるべき作者名がなく、改題本も最初は別本と思わせるための改題で、見出しは全て変更されたが、著者名や刊記の記載までは行われなかった。それが更に、作者名と発行年が書き加えられた—ということなのだろうか。その刊記に「改」とあるために、その発行順は『手管三味線』が後であることに間違いは無い。



薦僧図部分

『けいせい手管三味線』
巻五の薦僧図

▲『けいせい折居鶴』 巻一の薦僧と折り鶴



○ 高木 智(たかぎ・さとし)＝昭和10年6月10日
京都市生まれ。京都大学教育学部卒。昭和42年頃
荒木京子に師事、折り紙を始める。現在日本折紙協
会理事。著書に『古典にみる折り紙』他実用書多数。



実は、私は本書の形態に関して、当初から一つの疑問を持っていた。つまり、刊記や著者名を持つ『手管三味線』が、そのいずれもを持たない『折居鶴』の改題本とされるのは本来逆ではないのかということである。もちろん、書誌学的には、刊記の部分に改訂を加える場合の枠の損傷状態や、版の磨耗度も根拠となるわけだが、刊末題はともかく、本文中の小見出しの彫り替えは、ほとんど甲乙つけられない。あえていえば、よく似せてはあるが、字癖が多少違う程度である。しかも、刊末は二度にわたって改変が試みられていたのである。さらに、この作者名は当て馬として使われたというのが常識になっている。

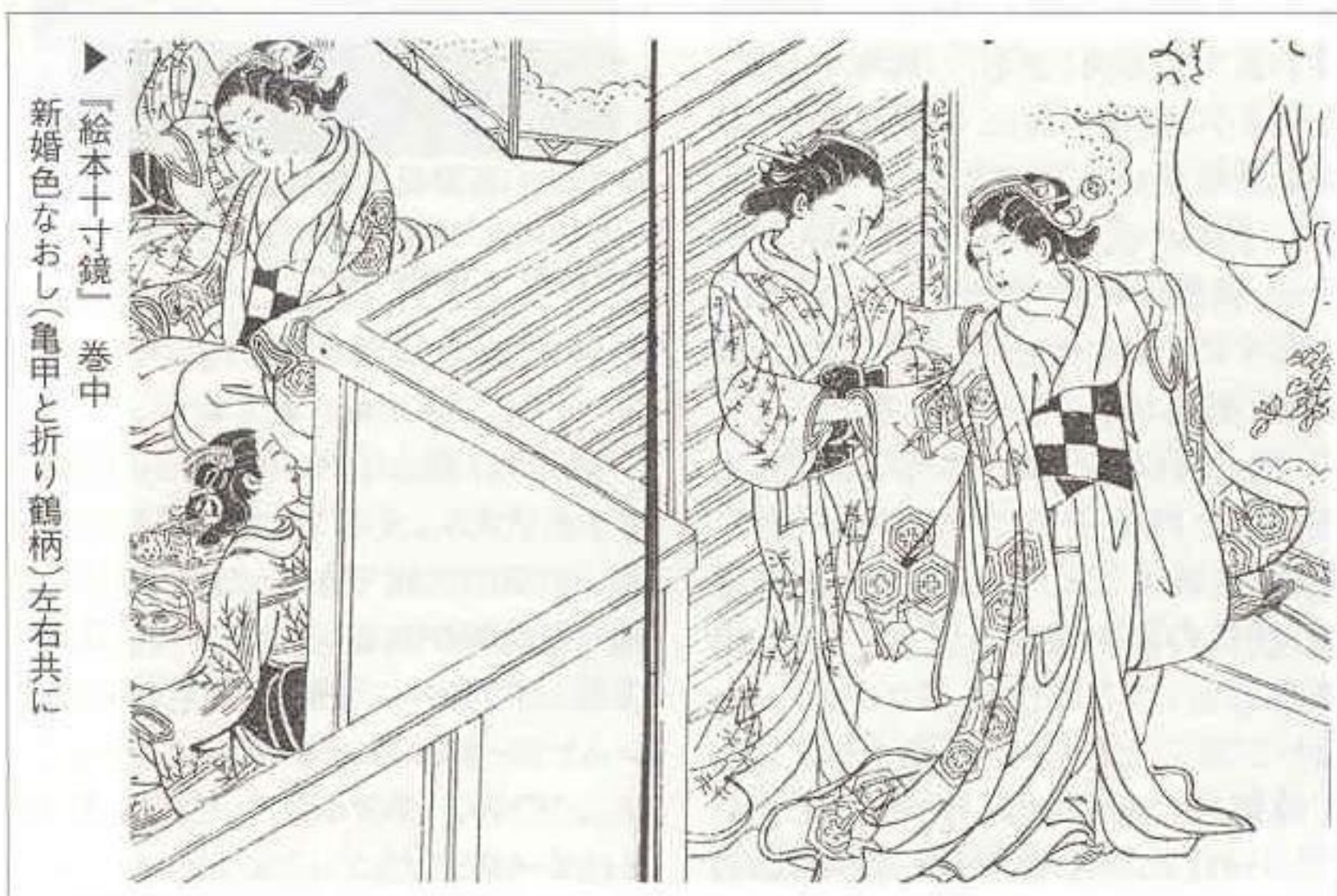
もう一つ、本書はいわゆる八文字屋本だが、版元は中嶋又兵衛で、江嶋其磧の原稿で人気をばくした八文字屋八左衛門ではない。にもかかわらず、作者は其磧に擬せられている。この点も、水谷不倒は研究者の立場から、たとえば私が画家を西川祐信と確信するほどの

確率で判定しているのであろう。祐信と判定するに関して岡村氏は、作者を「江嶋其磧とする説もあり」とした上で、「其磧の最初の浮世草子『けいせい色三味線』を始め数々の挿絵を描いた祐信と推定」して、私の直感に傍証を加えて下さった。と同時に、私の疑問にもヒントを与えて下さった。

というのは、戯作者の其磧と八文字屋との確執があった事を思い出させて下さったからである。山崎麓編の『改訂日本小説書目年表』によれば、其磧の『手管仕様帳』という小冊子が江島屋市郎右衛門から正徳年間に刊行されており、これが其磧が八文字屋から分離した際顧客に配ったものと推定している。さらに『契情手管三味線』に享保三年刊の説をあげている。つまり、その確執との関連で『折居鶴』を享保三年には改題する必要が生じたので、とりあえず改題し、やがてさらに別の作者名を記したのではなかろうか。さらに思い付くままに述べるなら、『折居鶴』の出版が実は『手管仕様帳』の発行より以前と

仮定すれば、他の版元から出版したという事が確執の一因だったとも考えられ、それなら作者名を偽装することもあり得るわけである。

話が思わぬ方向に進んでしまったが、もう一点提示しておきたい。それは『絵本十寸鏡』で、岡村氏も『折るころ』の解説に触れているように、中巻の婚礼の場の色直し後の嫁の着物に「亀甲に折り鶴」の柄があり、下巻の「髪置き」の祝にも三歳の女の子がこの服を着せられているところがある。本書は祐信が女の一生を描いた三巻もので、家蔵本(江戸時代に手彩色がされている)は中巻を欠くので、中巻は臨川書店の複製本で提示する。なお、上巻のひな遊びの女の子達のうち、折り鶴を持っている娘は亀甲文の着物を着ている事に気付いたので、これも申し添えておく。



▶『絵本十寸鏡』 巻中
新婚色なおし(亀甲と折り鶴柄)左右共に



▶『絵本十寸鏡』 巻下 髪置きの祝い宮参り
巻中色直しの着物を着せている(全体図は21ページに掲載)

も少し

折紙散歩

前川淳の

折紙散歩者の回想

第6回 (最終回)

Recollections of an Origami Walker

休みがほしい。



筆者紹介＝東京生まれ。折り紙創作・研究家。折鶴モノコレクター。「一足めのわらじ」は科学技術計算。阪神タイガースの熱狂的なファン。

The "Origami Walk" series now sees its 3rd anniversary. The series will still continue in the coming years. This issue will introduce some origami trivia to you readers.

三日三月三年

一年間続いた「も少し折紙散歩」も今回が最終回である。と、ほとんど同じ文章を、一年前にも二年前にも書いた。一年ごとに同じことを言うのは、「今年は違うでえー」と毎年叫びながら、秋には同じことになる阪神タイガースファンの特徴である。ともあれ、この「散歩シリーズ」も三年続いたことになり、「三日三月三年」なる言葉が思い浮かぶ。芸事の世界などで使われる「三日続いたことは三ヶ月はもつ、三ヶ月続いたことは三年持つ」という意味の言葉である。三年続いたあとはどうなるのか。たぶん、「いつやめていいかわからなくなる」のであろう。そう、これまた一年前にも二年前にも書いたように、最終回と言いながら、次号からも似たような連載が始まる。「も少し」で

もなんでもなかったわけだ。

続く理由は、ありがたくも読者がいるらしいことが前提だが、「広島のとろろの折鶴」、「スペインのパハリータ(注1)」、「膜構造建築(注2)」など、取り上げねばと思っている話題があるからだ。とは言っても、旅行好きで風船玉のごときわたしも、そうそう遊び歩いてばかりもいられない。また、いかに鶴の目鷹の目で「折り紙」を探しても、当然のことながら空振りも多い。

実は、今回も「これ!」といった話はない。これまで披露できなかったことや、既に訪問した場所でのその後の動きなど、今回は、三年間の締めくり(?)として、それらを思い出すままに紹介したい。

オリガミ、おりがの、そしておもしろ

空振りで思い出されるのは、二年前に初詣をした川崎の鶴見神社だ。神社仏閣の境内に、奉納された願掛けの千羽鶴があることは珍しいことではない。58号に書いた鎌倉の鶴ヶ岡八幡宮のように、「鶴」のゆかりでお守りに折鶴が使われている例もある。一昨年の元旦、そのような期待を胸に、「鶴見神社で折鶴を見た」というひとことを言いたいとの思いを秘めて、同神社に足を運んだのだが、神様はそういう酔狂な者のためにおわすのではなかった。そこには、折鶴のオの字もなかったのである。

「鶴」に目星をつけて、当たることもある。「散歩」で紹介していないものでは、信州・鹿教湯(かけゆ)温泉のつるや旅館、浅草の亀甲珊瑚工芸のツルヤ、山梨県都留(つる)市にあるツルタクシーなどが思い出される。折鶴だけを探して都留市の町中を歩いたのは、わたしぐらいのものだろうと思うと、誇らしいの



つるや(長野県鹿教湯温泉)
Tsuruya Inn (Kakeyu hot spring
Nagano, prefecture)

か恥ずかしいのかわからないが。

* * * *

以上は「鶴」だが、次は、さらに絞って、オリヅル、そして、オリガミの名を持った店の話題である。これに関しては様々な情報が集まってきていて、国内のみならず、海外にもそうした名の日本食レストランがあることもわかってきた。ミラノ、シアトル、ミネアポリス。どれも「オリガミ」という店名だ。



ツルタクシー (山梨県都留市)
Tsuru Taxi (Tsuru city, Yamanashi prefecture)

国内では、寿司店、居酒屋、薬局など、様々あるが、こちらは「オリガミ」より「オリヅル」のほうが圧倒的に多い。「オリガミ」は、東京赤坂のコーヒーハウスと、大阪心斎橋の割烹店ぐらいである。前者、赤坂キャピタル東京ホテルにある「オリガミ」は、コーヒーハウスを名乗っているが、お洒落なカジュアルレストランといった店で、ロゴも紙テープを折ったような「折り紙風」、折り紙関係レストラン愛好家(なんだそれ?)ならば、一度は行っておきたい。一方、大阪の「旬菜オリガミ」は、未訪問だが、調べた限りでは、大きな折鶴の絵のある落ち着いた感じの和食処である。

なお、たいへん残念なのだが、57号で紹介した吉祥寺のうどん処「おりづる」は、その後店名が変わってしまった。

その他、変わったところでは、木村良寿氏が品川で発見した「おりがの」というレストランが「いい味」を出している。店名は、イタリア料理などで使うハーブの名で、つまりは、折り紙とはまったく関係がないのだが、Origanum(シソハッカ属)の語源を調べてみたら、案外と面白いことがわかった。ギリシア語のorus(山)とganus(魅惑の)からなる言葉、「楽しい山」という意味なのである。断言するが、「山」は、「われわれ」にとって「そこにあるから登るもの」ではなく、「紙があるから折ってしまい、できたもの」、

つまり、折り目を表す。「楽しい山折り」である。それを前提にして(するなよ!)図鑑を見ると、オリガノ(オレガノ)の、葉のつきかた(十字対生葉序:二対の葉が交互に90度に生える)が、きわめて折り紙的なものに見えてくるから不思議ではないか。「今日の料理はオリガノ付きだ」といった、オヤジギャグが使えるところもたいへん素晴らしい。

「名前から」ではなくても、折り紙のありそうなところは多い。小さな美術館、博物館などが狙い目だ。最近では、伊豆高原「おもしろ博物館」(城ヶ崎文化資料館)の「サネモリサン」(虫除けに使う、薬と紙でできた武将・斎藤実盛の人形)と、東京青梅市の「櫛かんざし美術館」の凝った畳紙(明治大正期のもの)が収穫だった。わがニッポンには、全国津々浦々、どんな町や村にも民俗資料館があり、観光地には、「なんなんだそれは」といった美術館・博物館がある。目的(折り紙の探索ですね)を持ってそれらを訪れると、また違った楽しみがある。「博物館」と言えば、63号で紹介した「喫茶折鶴」を有する「お菓子城・加賀藩」に、日本折紙協会の協力で「日本折紙博物館」ができたという情報もある。

ということで、四年目の次号からもよろしく。「四日目、四月目、四年目の天狗」という言い回しもあるらしいけれど。

折紙辞典

パハリータ【Pajarita】(スペイン語)名詞

小鳥の意味。スペイン伝承の折り紙。パハリータそのものは、日本に伝承作品としては伝わっていないが、同様の構造からなる、帆かけ舟・二そう舟系列の作品は、ヨーロッパ渡来であると考えられる。スペインでは、レストランのマークやアクセサリなど、様々なデザインに使われ、折り紙作品として、折鶴の次に広く浸透している造形であろう。少年の心象を描いた映画「蜜蜂のささやき」(ヴィクトル・エリセ監督)においても効果的に用いられていた。

膜構造建築【まくこうぞうけんちく】名詞

「折り紙」を広くとらえた場合に、折り紙の一種として視野にはいるもの。水道橋の野球場など。ひさしなど、建築物の一部に使われることも多い。関連シンボジウムの論文のタイトルを見たことがあるが、「矩形張力膜の座屈解析としわ解析」「振れパターンによる円筒形膜の畳み込みと開閉式膜構造への応用」など、かなり「折り紙っぽい」ものがあつた。



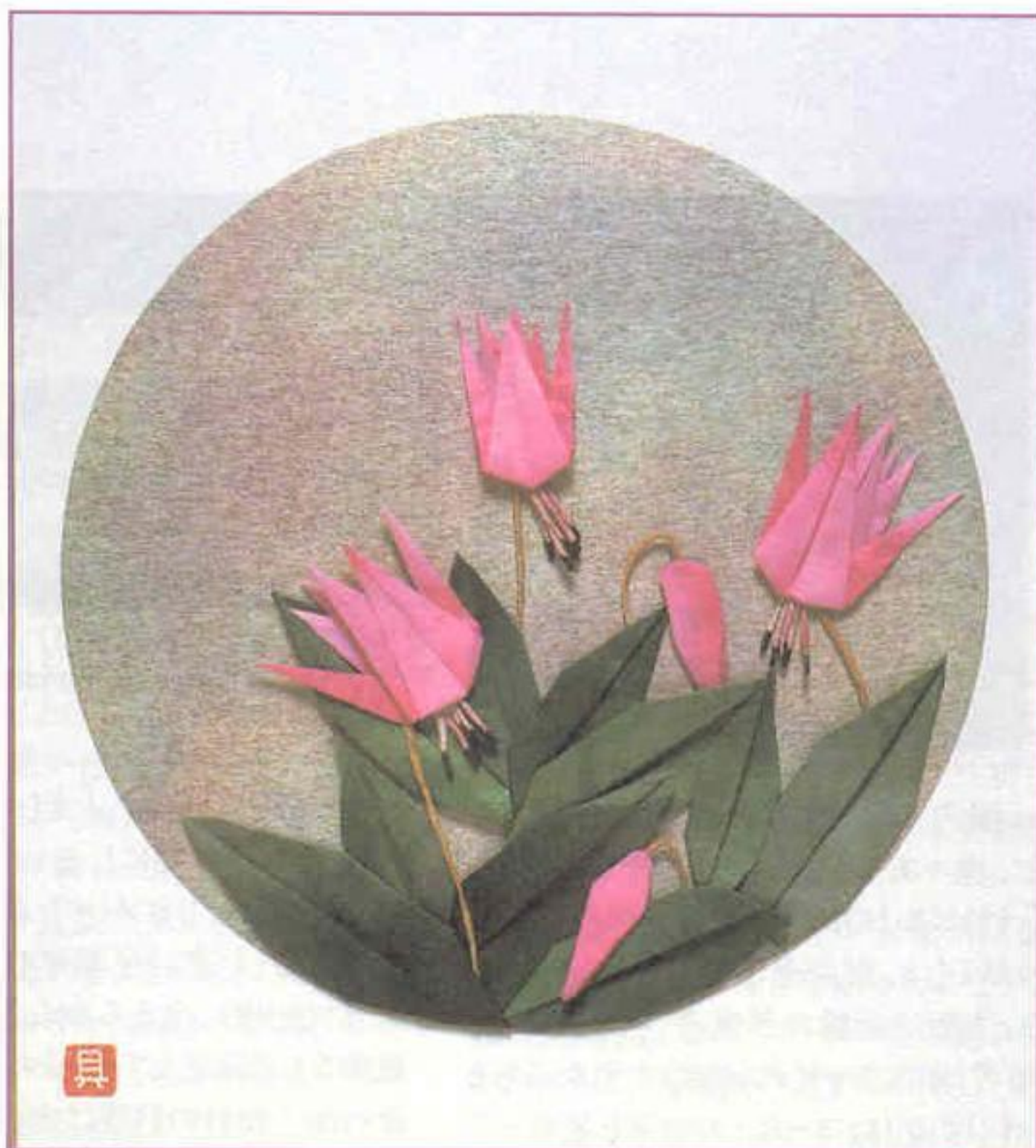
サネモリさん(虫除けのおまじない人形)
(伊東市 おもしろ博物館)
Sanemori-san (Anti-insect Mascot)
(Omoshiro Museum, Ito city, Kanagawa prefecture)

●春の芽吹きの際は、山歩きがとても楽しい季節ですね。柔らかい中間色でまとめられた森の中で、足もとに丈の低いピンクの花を見つけたら、それはきっとカタクリの花。微妙な季節の変化を映し出す小さいきものたちを、探しにでかけてみませんか？

●前号に引き続き、布施氏による花のユニット第二弾が登場。内側からはじけるようなエネルギーを発している桜の球体は、うかれるような熱気を感じさせますね。

●キャラクターの特徴を的確にとらえ、さらに折り紙としてのデザイン的な処理にも妥協のない小笹氏の作品群。今回は、数十年にわたって少年たちの熱い支持を受け続けている、人気の高い映画のヒーロー怪獣たちにスポットをあててみました。

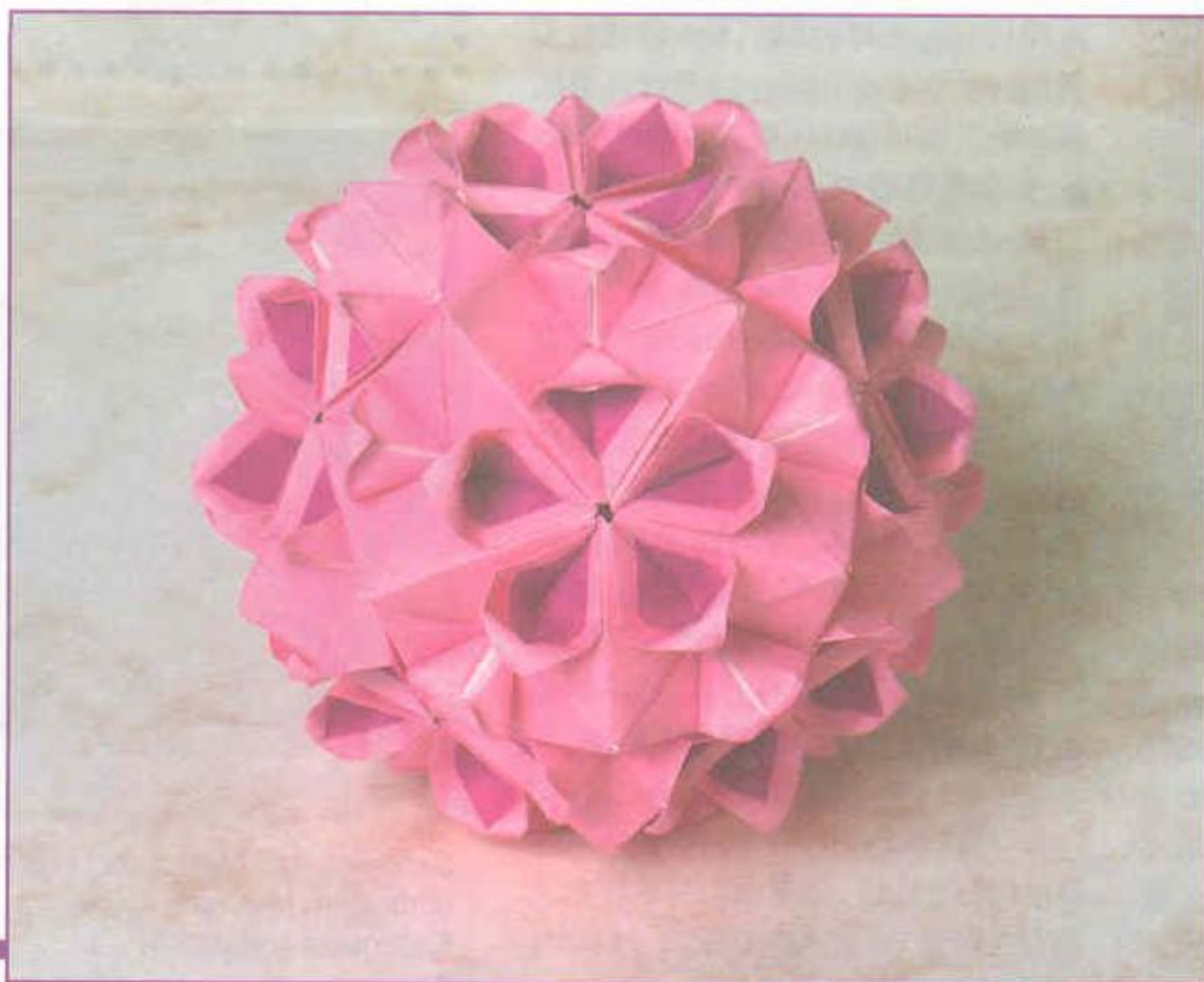
●今回の古典記事では、江戸時代の出版物にあらわれている折り紙の意匠を高木氏が鋭く分析します。当時の空気をいきいきと伝える挿絵の筆致とあわせてお楽しみください。



「カタクリの花」作：田中具子(P.8)

Dogtooth Violets : Tanaka Tomoko (P.8)

■背景、花、そして葉や茎に至るまで、画面上のすべてが春のあたたかみをもつ色調でバランスよく構成されています。微妙な色味をもつ各々の部品が適切な面積で配置された作例を、ぜひ参考にしたいものです。



「八重咲きのてまり桜」

作：布施知子(P.4)

Cherry Blossom Ball
(Double-Flowered)
: Fuse Tomoko (P.4)

■基本的なユニットで球体を構成し、さらにパーツを追加することによって、八重咲きの重厚なイメージが自由自在に演出できます。密集した花弁をこのような解釈で作品化するという、作者独自の洗練されたセンスをすみずみまで味わい尽くしてください。



「私の好きな怪獣たち」 作:小笹径一
My Favorite Monster Superstars : Kozasa Keiichi

■折り紙による表現の追究は、つい到这里まで来てしまいました。背中の突起物に象徴されるカドの折り出し技術に加え、翼の形や手足のボリュームがバランスよくまとめられ、作者のしっかりとしたデザイン力を感じさせます。しかも作り込み過ぎることなく、ある意味であっさりとして落ち着いたデザインにまとめられているところも魅力です。

「絵本十寸鏡」巻下 西川祐信画
髪置きの祝い(三歳)宮参りの図
高木 智・蔵(P.16)

From *E-hon Masukagami III (a.k.a. II)*
(Illustrated by Nishikawa Sukenobu),
"The Rite of Kamioki (Letting the Hair
Grow on a 3 Year Old Kid)"
: Owned by Takagi Satoshi

■以下、高木氏によるコメントです。

印刷技術が未発達だった頃の浮世絵や絵本は墨刷りで、しばしば手彩色が施された。丹絵、紅絵、丹緑本や読者が着色したものもあり、時代色をよく出している。この絵は母が新婚色直しに着た着物を、娘の三歳の宮参りに着せたところ。亀甲に折り鶴柄が浮き出ている。



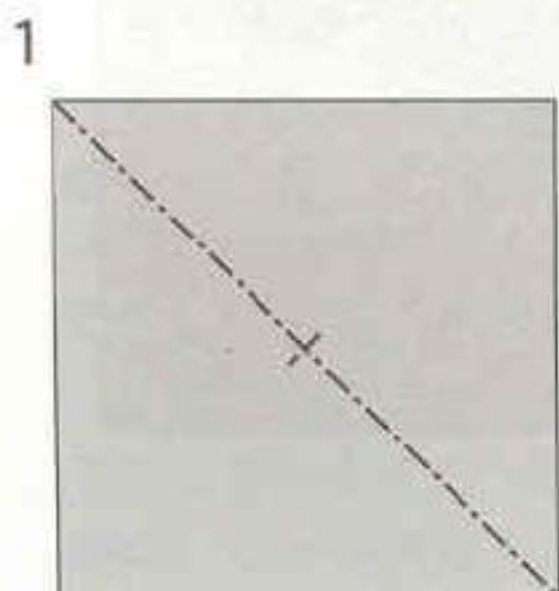
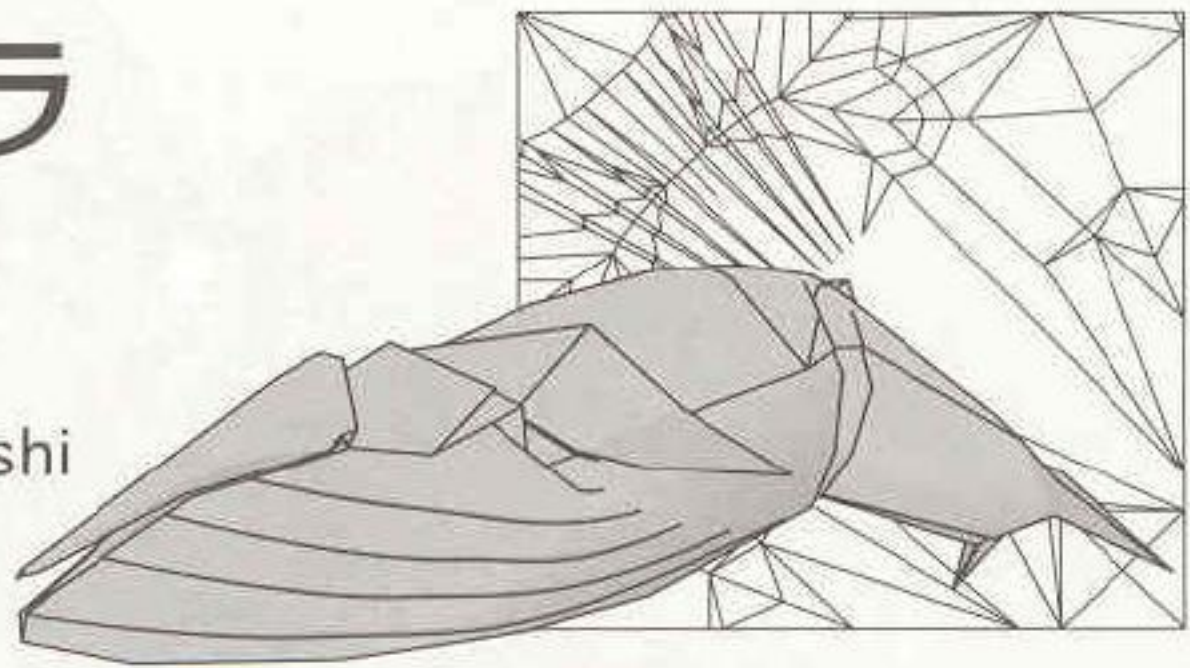
シロナガスクジラ Blue Whale

神谷哲史

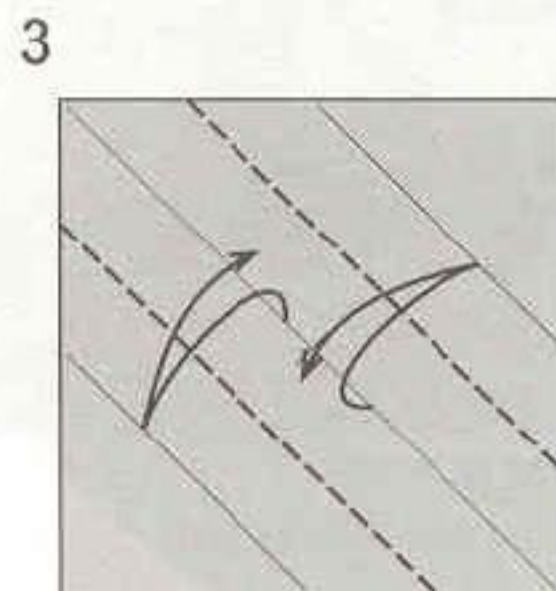
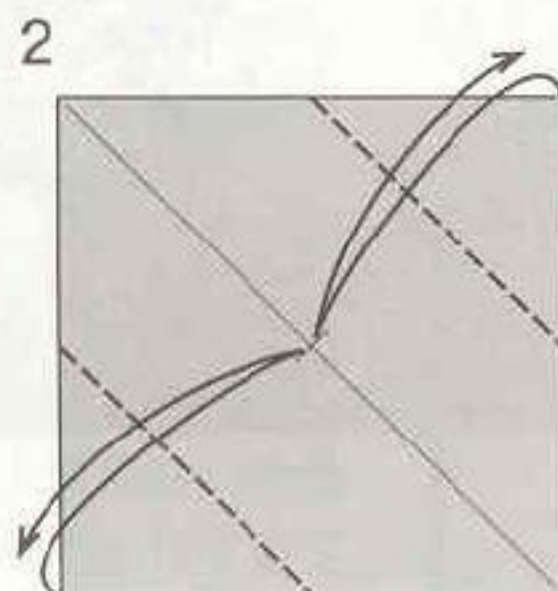
Model & Diagrams by Kamiya Satoshi

作 2001/02/08

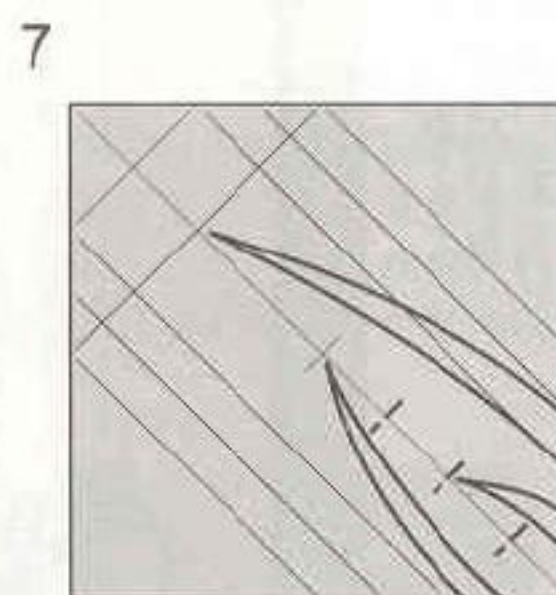
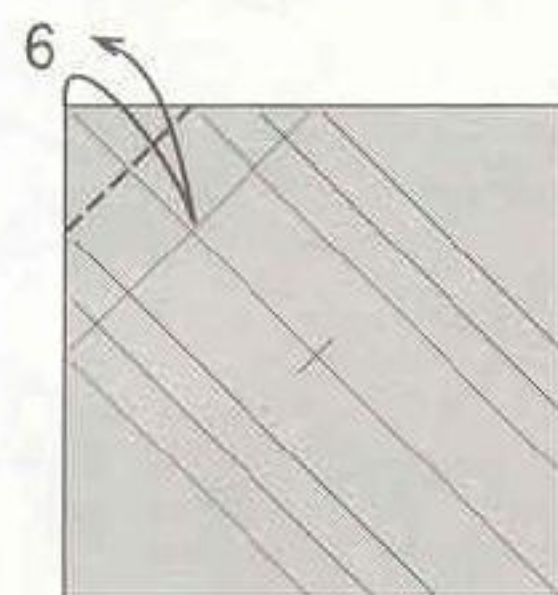
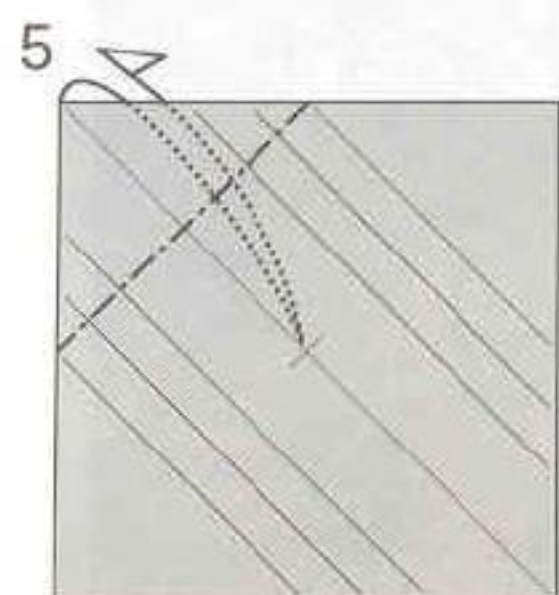
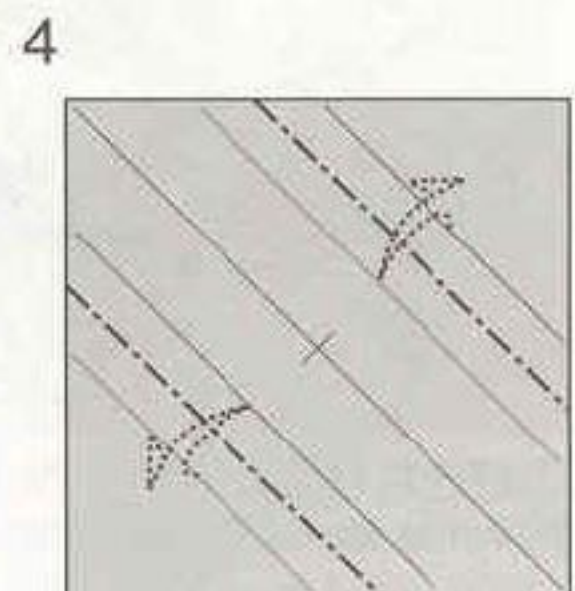
図 2001/12/05



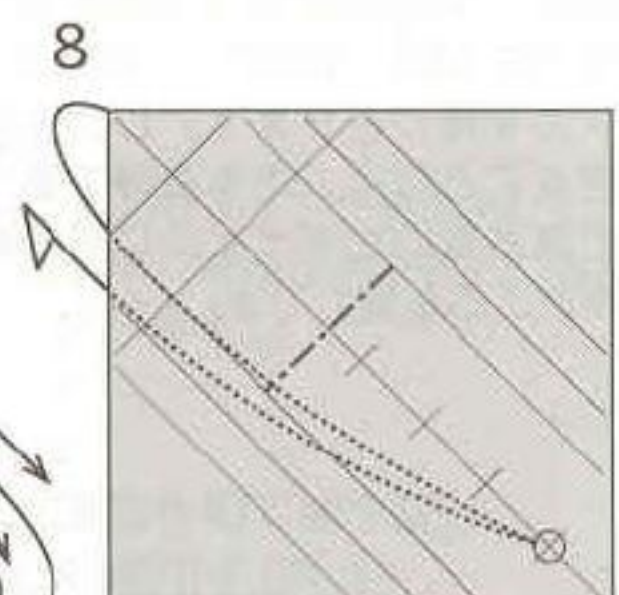
対角線に折り筋をつける



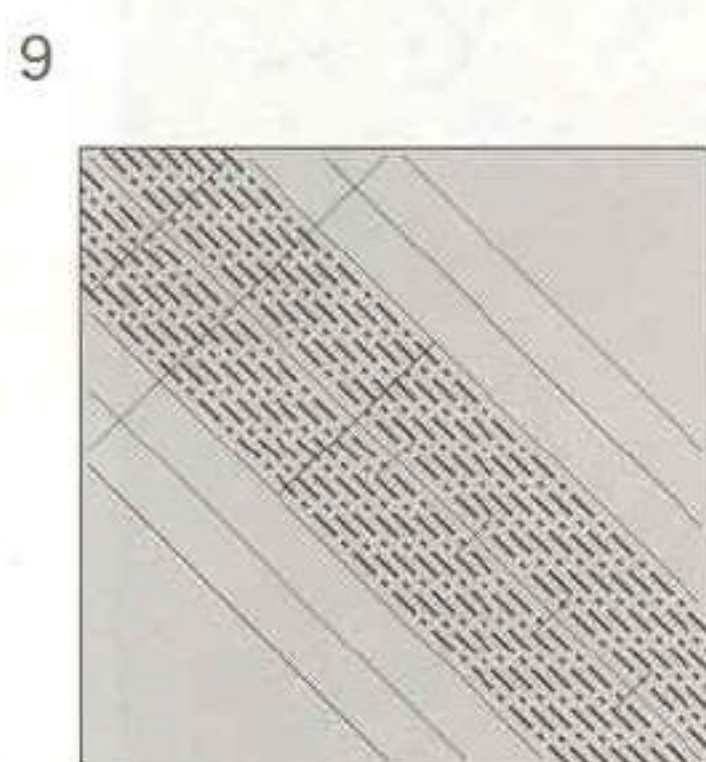
中央の線をつまんで
外側の線に合わせるようにして
折り筋をつける



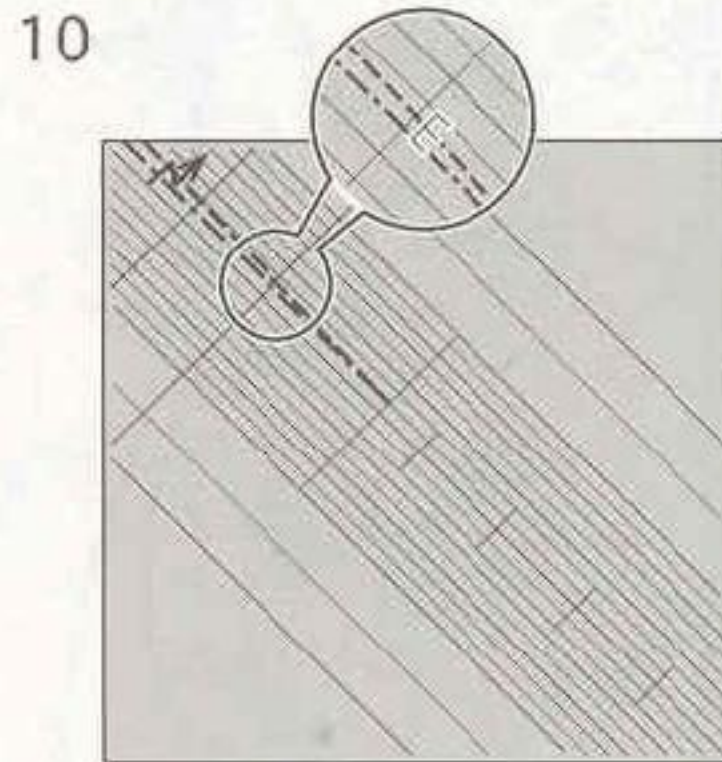
目印をつける



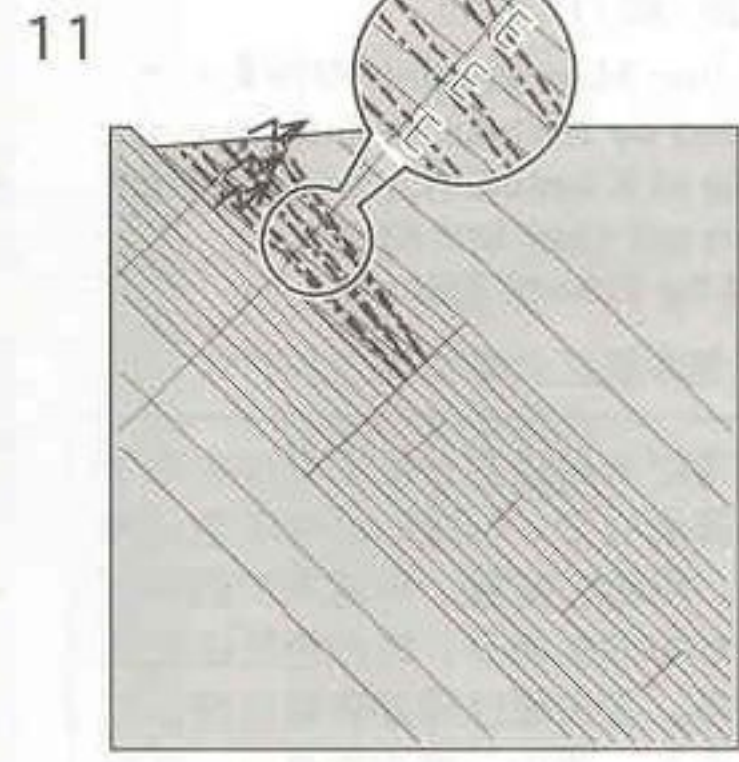
○に合わせて折り筋をつける



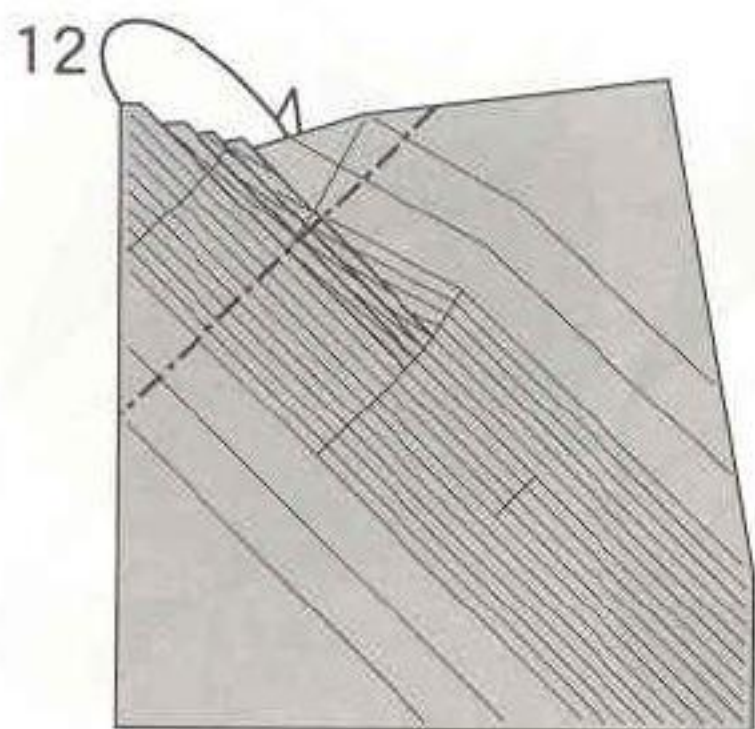
両側8等分する



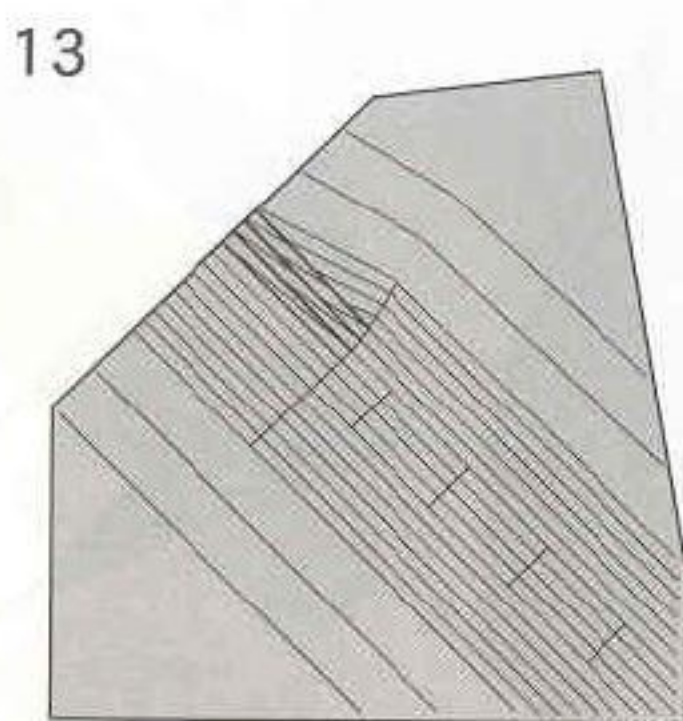
ごく浅い段折り
基準点に注意



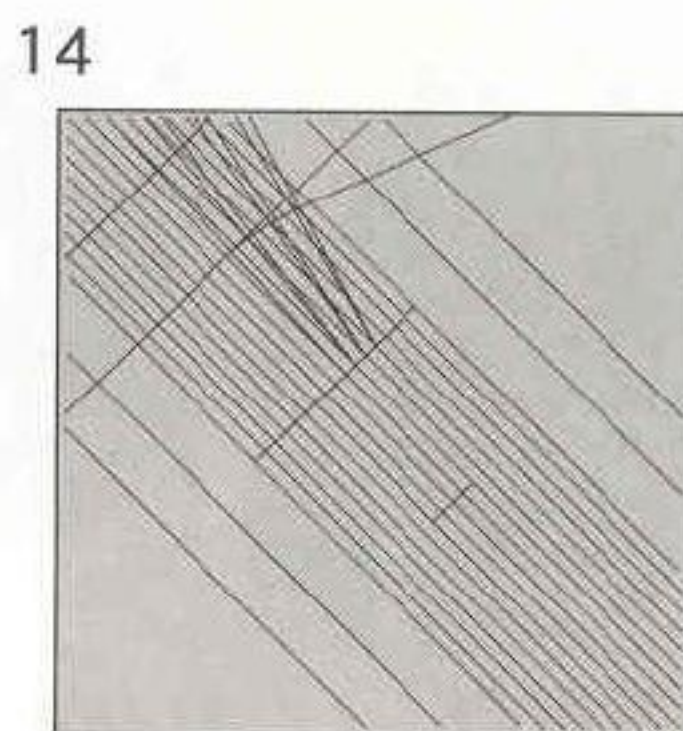
同様に3ヶ所段折り



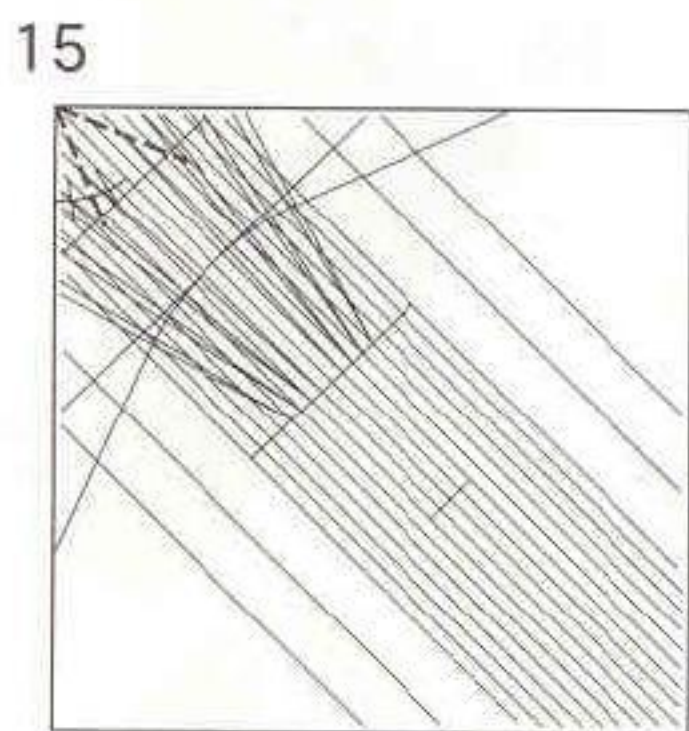
ついている折り筋を
延長して裏側へ折る



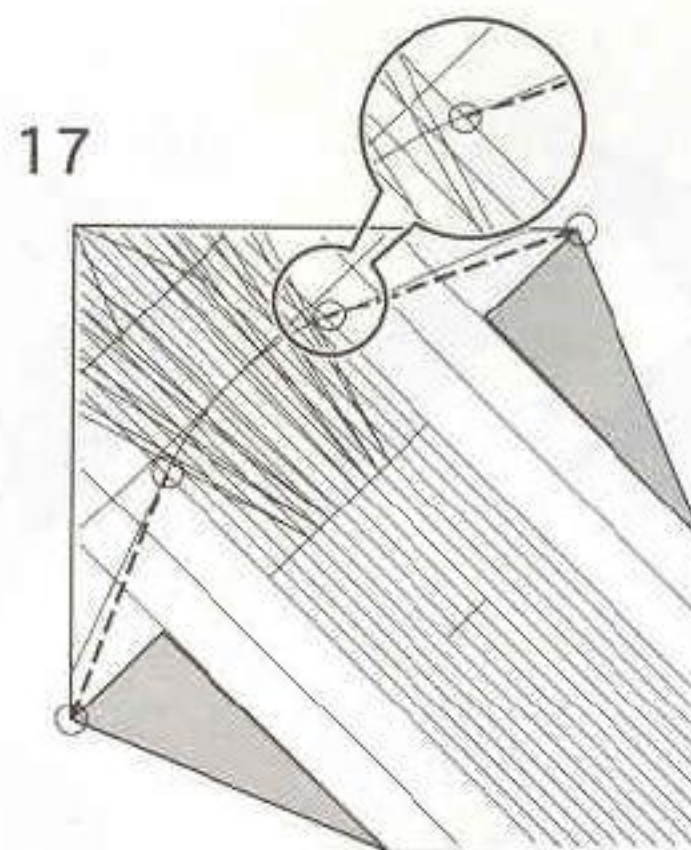
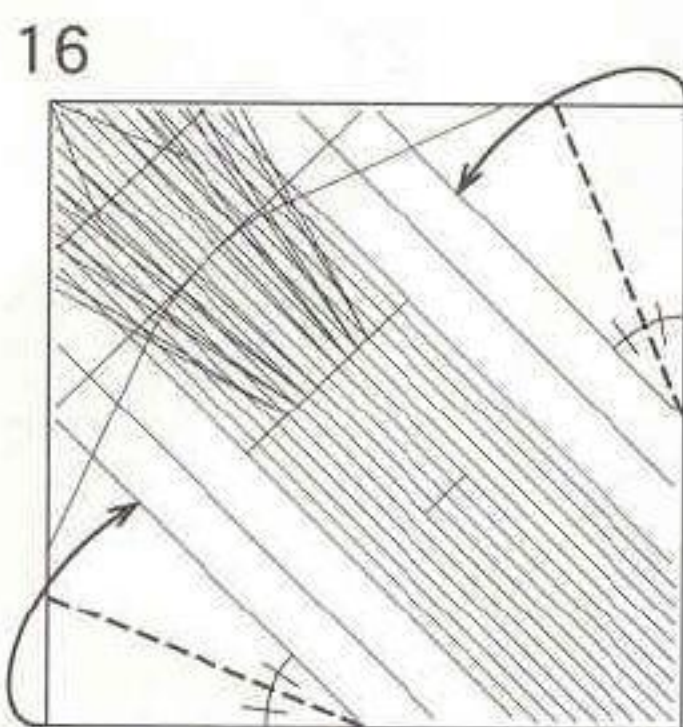
開く



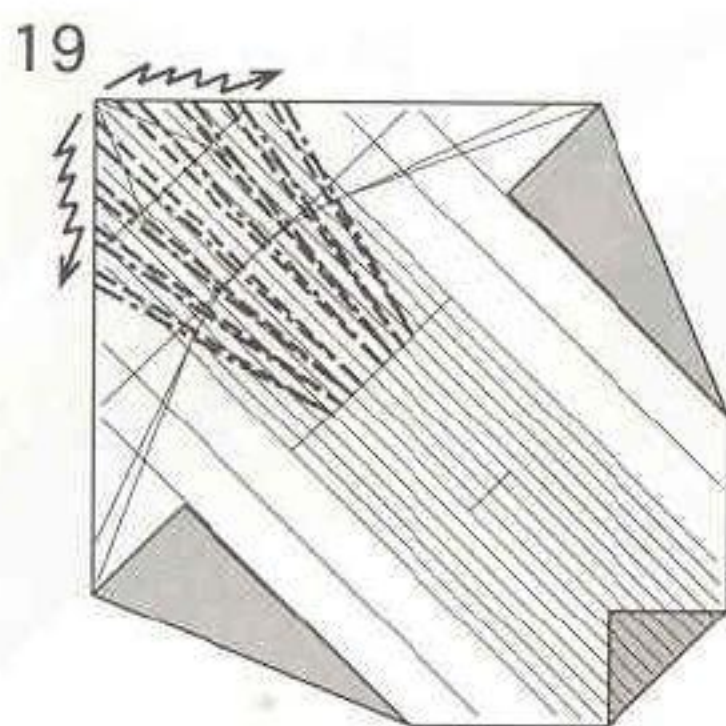
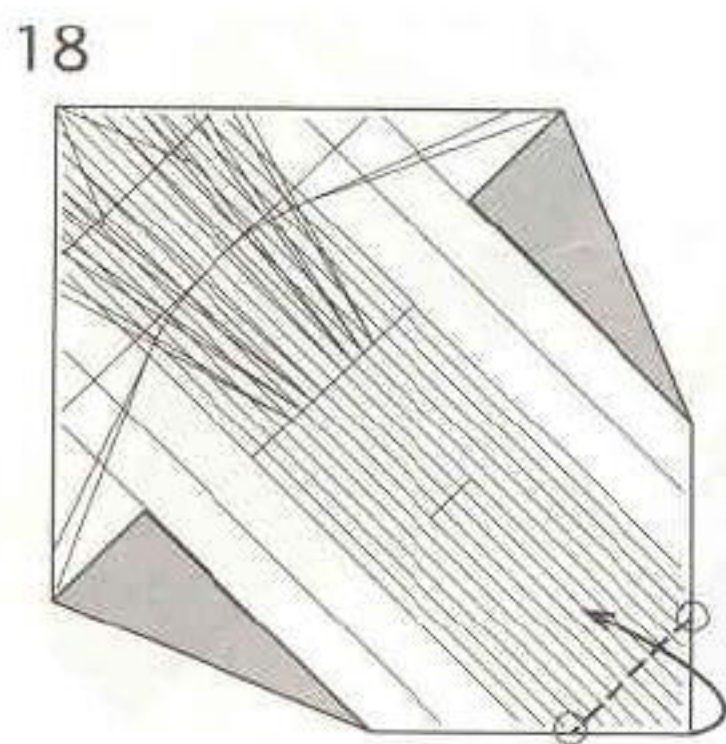
反対側も 10-13 と同様に折る



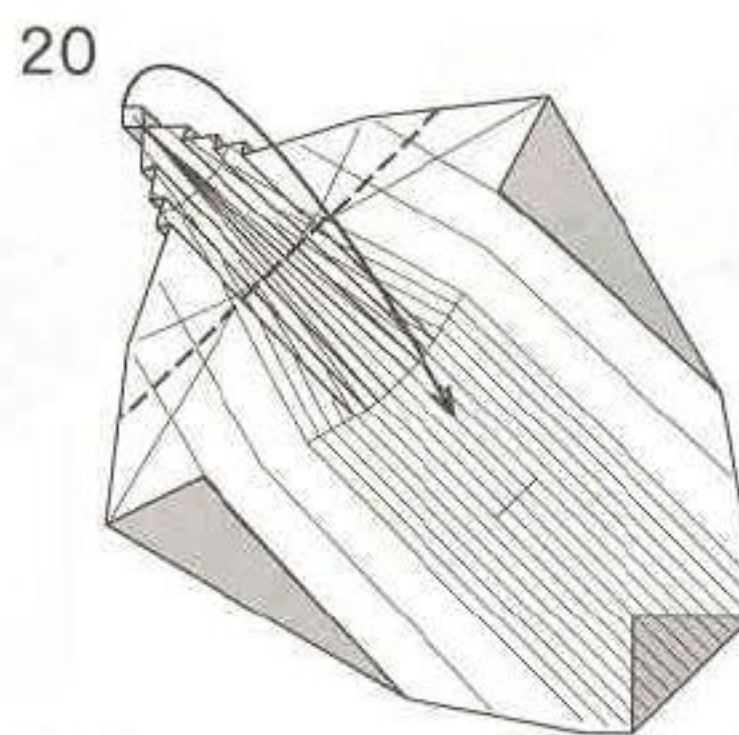
折り筋をつける



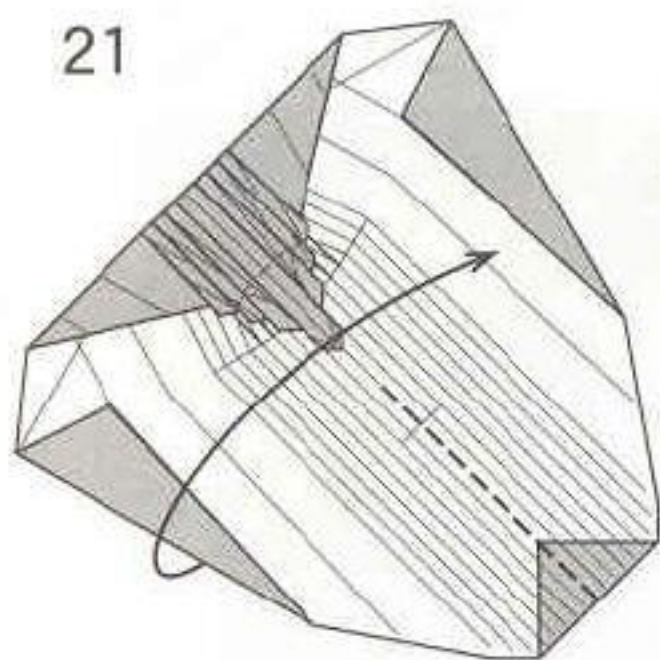
○を基準に折り筋をつける



ついている線で段折り

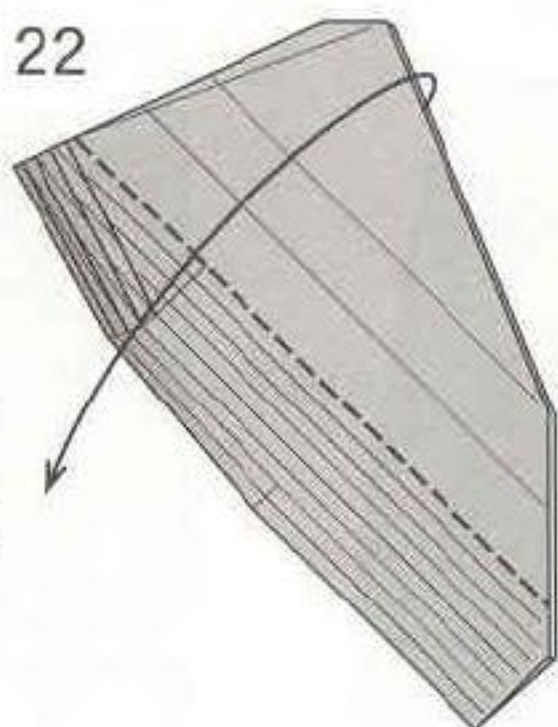


21

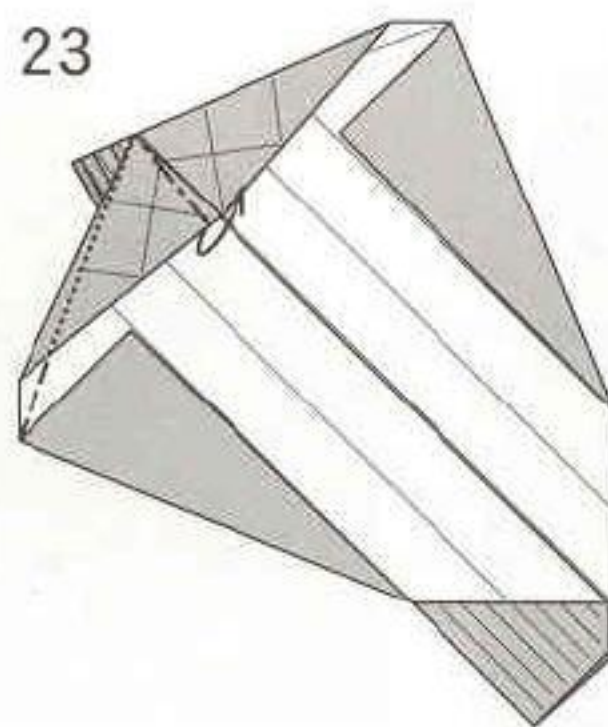


半分にたたむ

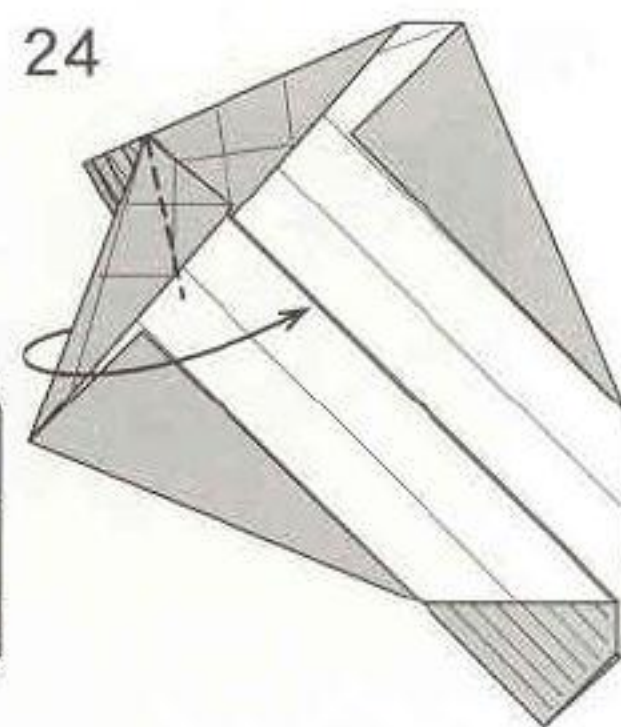
22



23

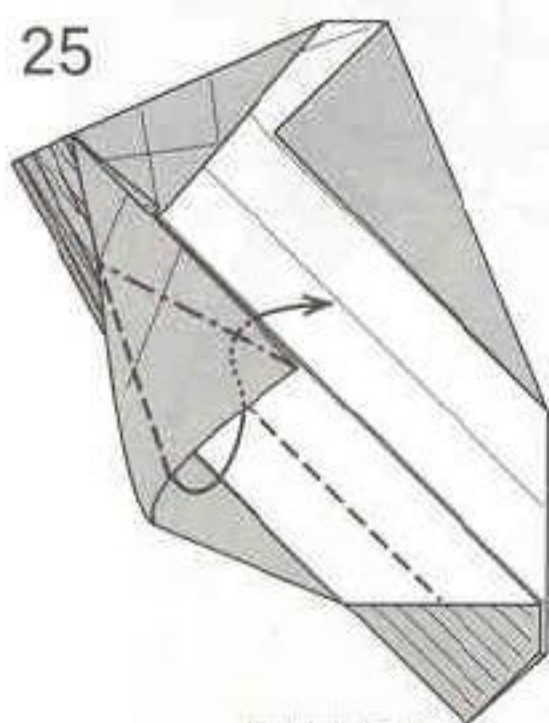


24



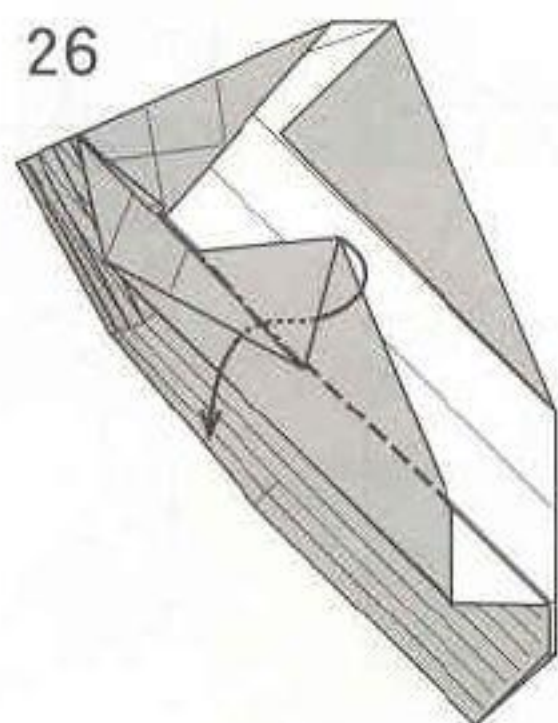
ずらすようにしてカドに合わせる

25

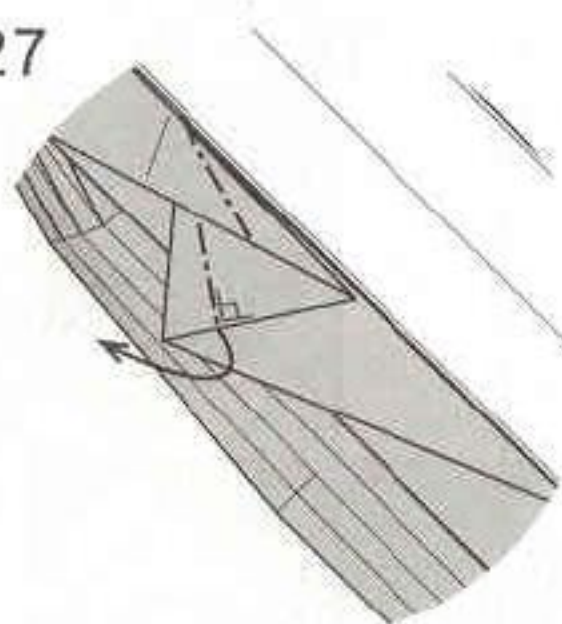


中割り折り

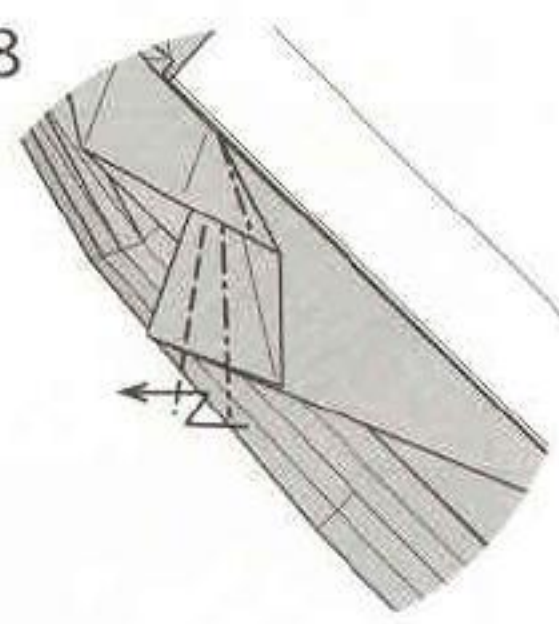
26



27

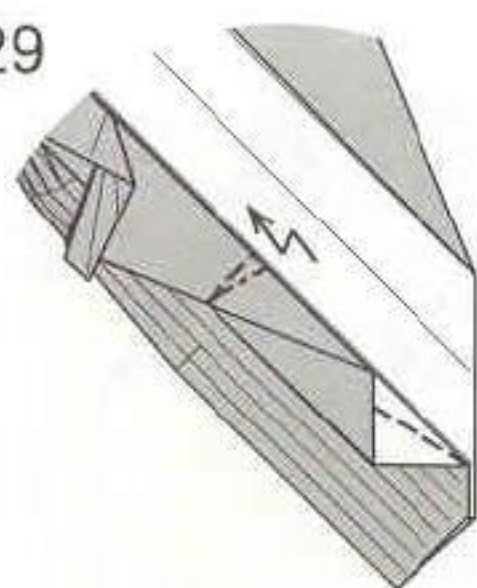
ずらすようにして
辺を合わせる

28



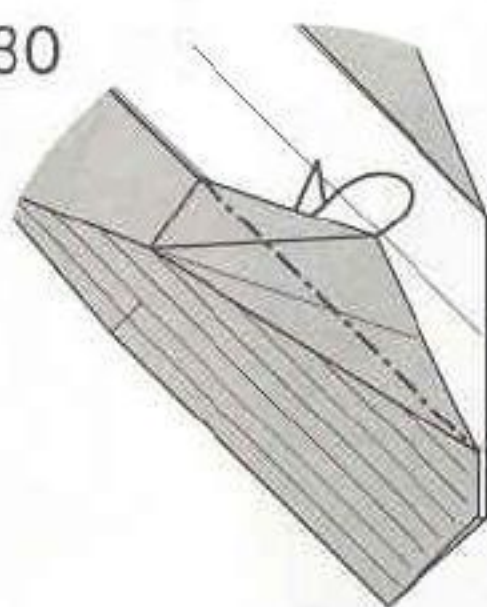
ずらすようにしながら段折り

29



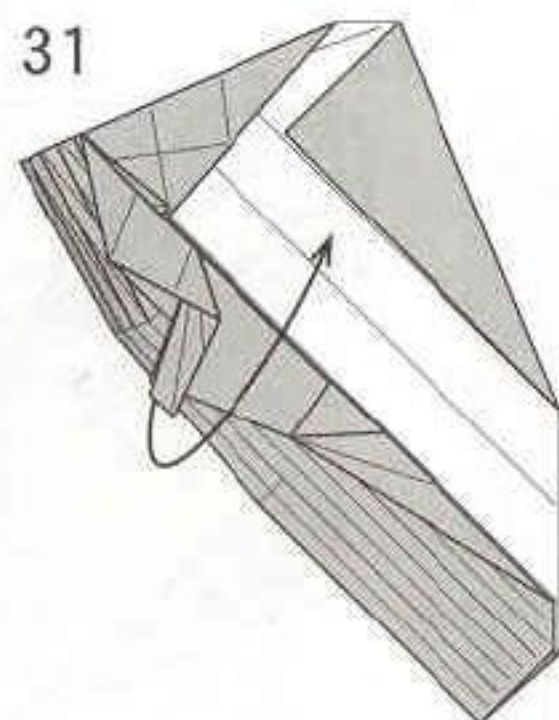
ずらす(以下略)

30

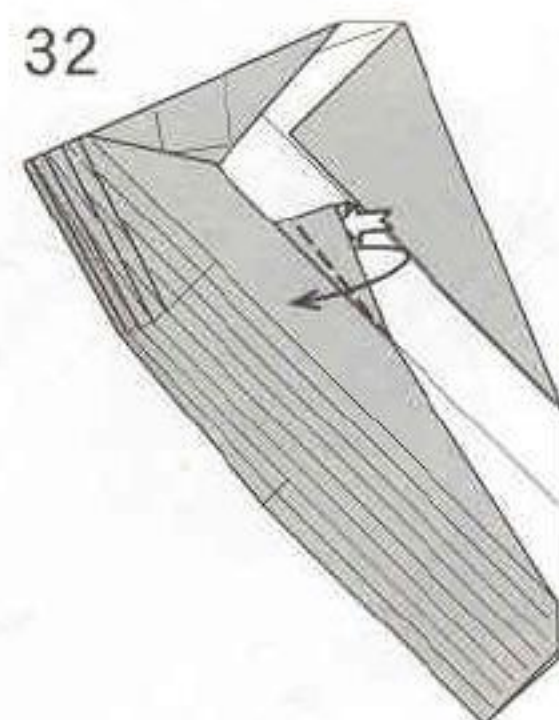


縁に合わせて折る

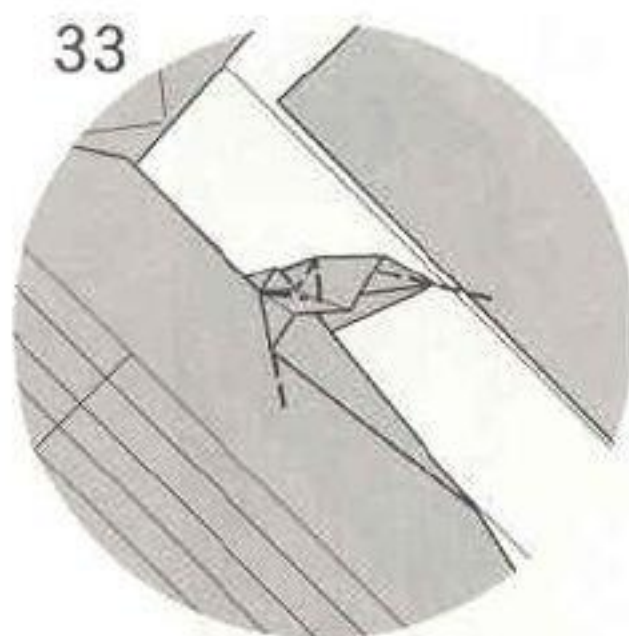
31



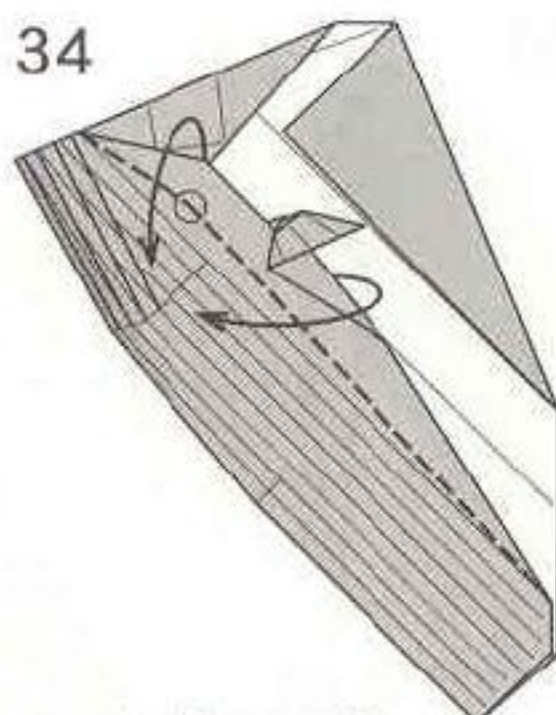
32



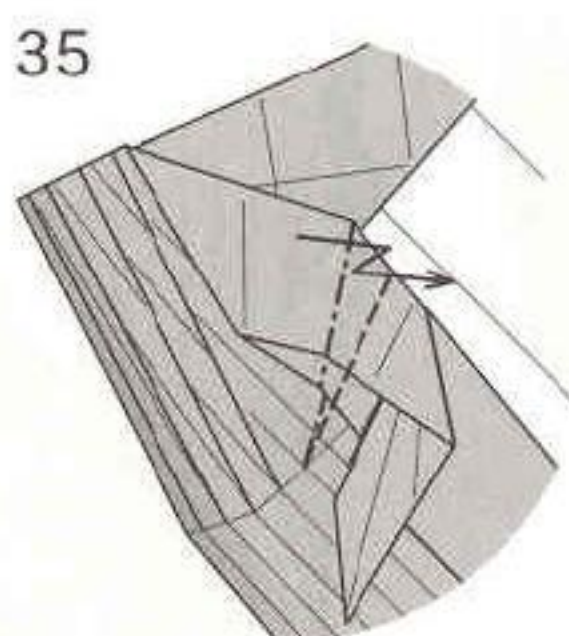
ヒダを広げて……



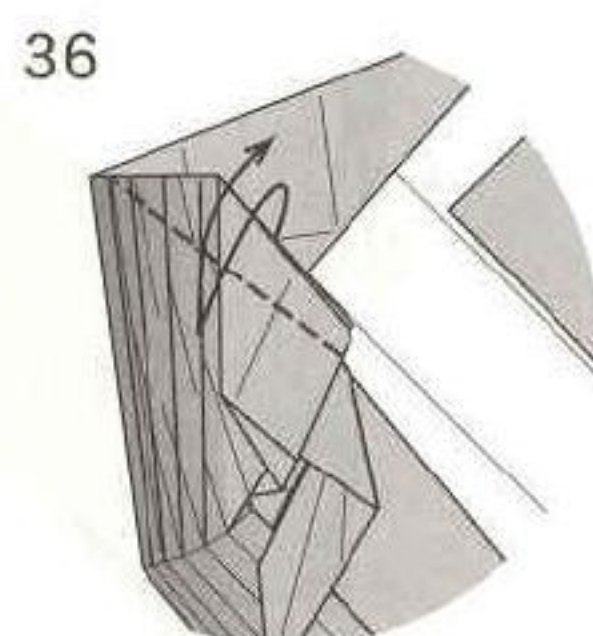
折り畳む



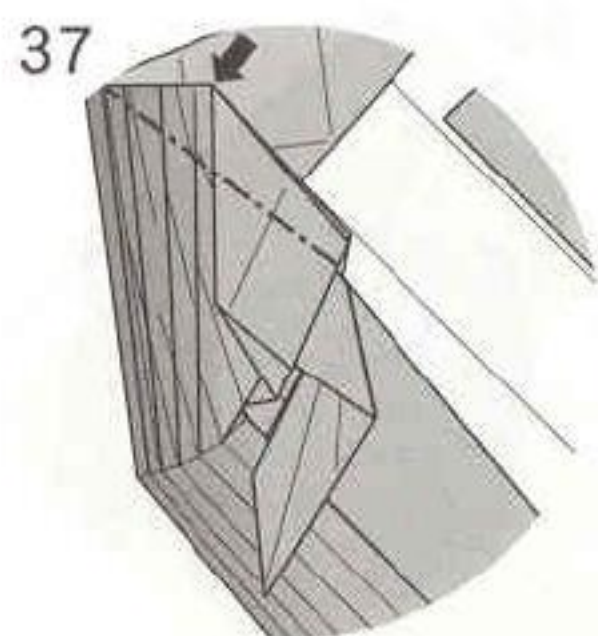
つまみ折りの要領で
○付近で折り筋の向きを
変えて斜めにつまんで……



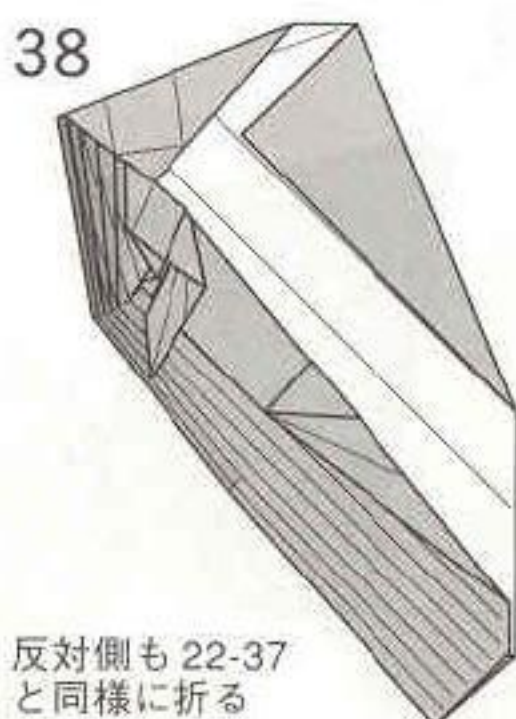
段折りで吸収します



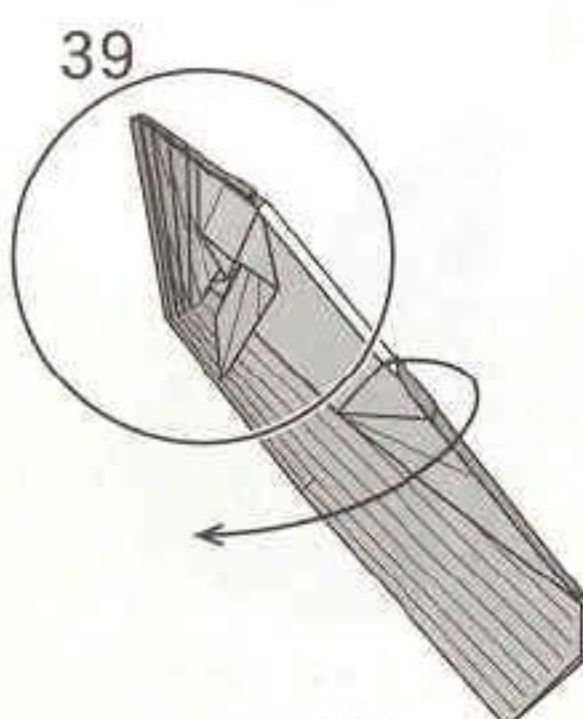
折り筋をつけて……



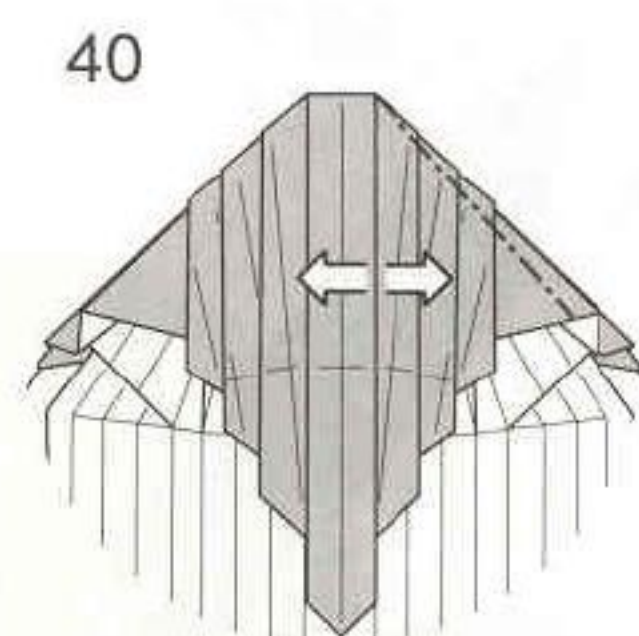
しずめ折り



反対側も 22-37
と同様に折る



広げて拡大



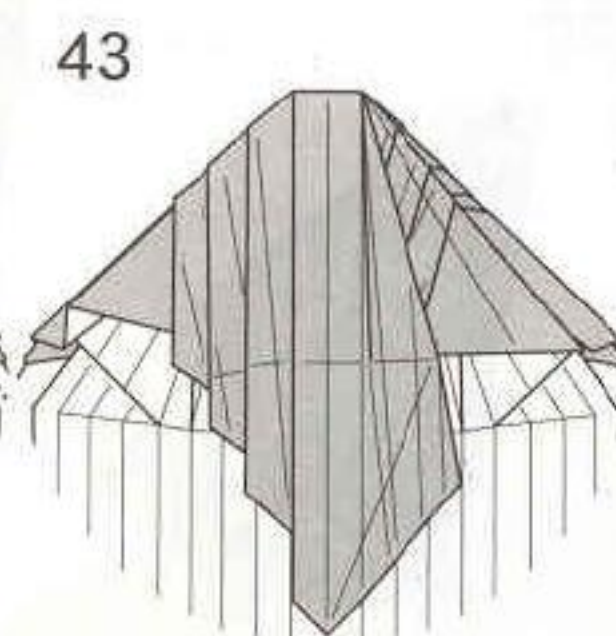
ヒダをずらすようにして開く



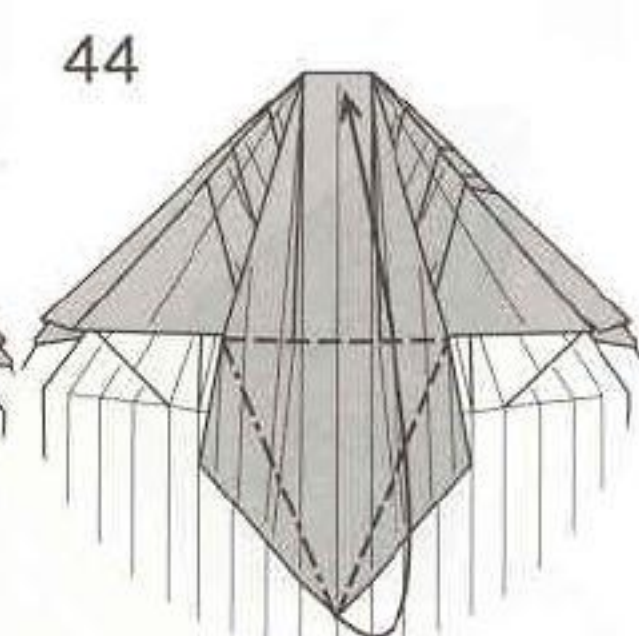
同様にしてもう一つ開く



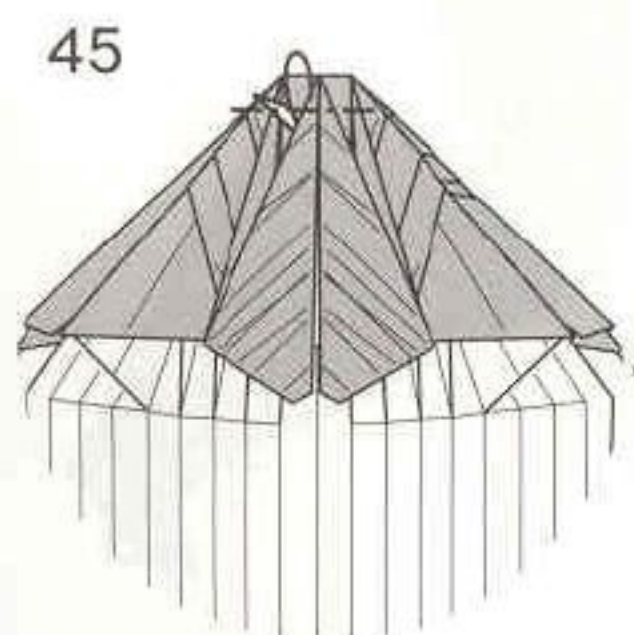
強引に中割り折り
山折り線の場所に注意



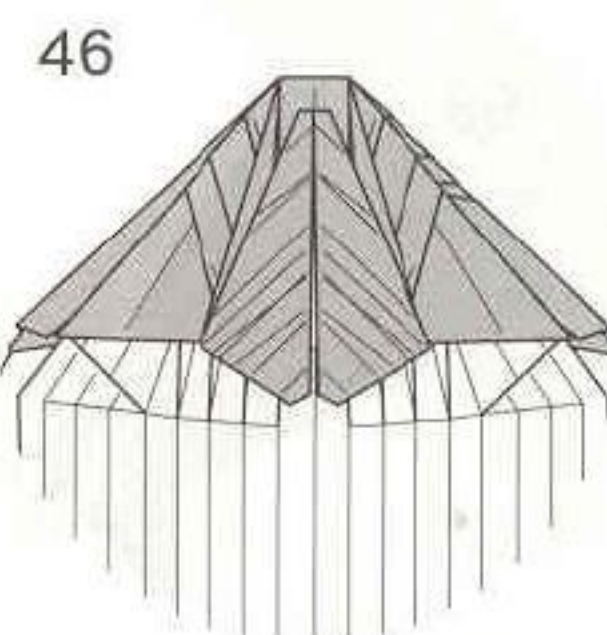
反対側も 40-42 と同様に折る



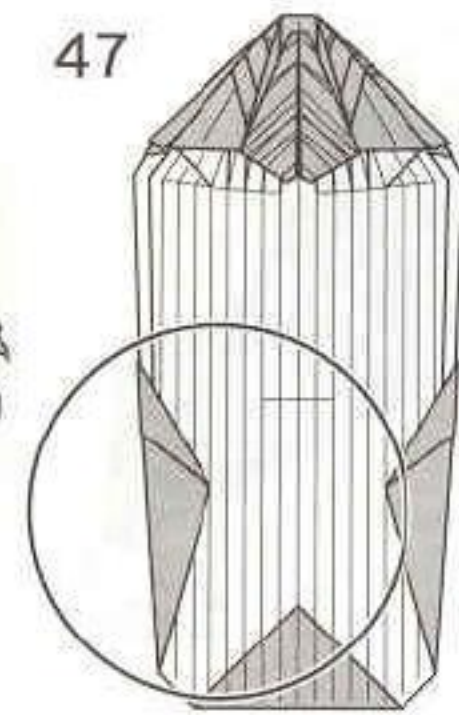
花弁折り



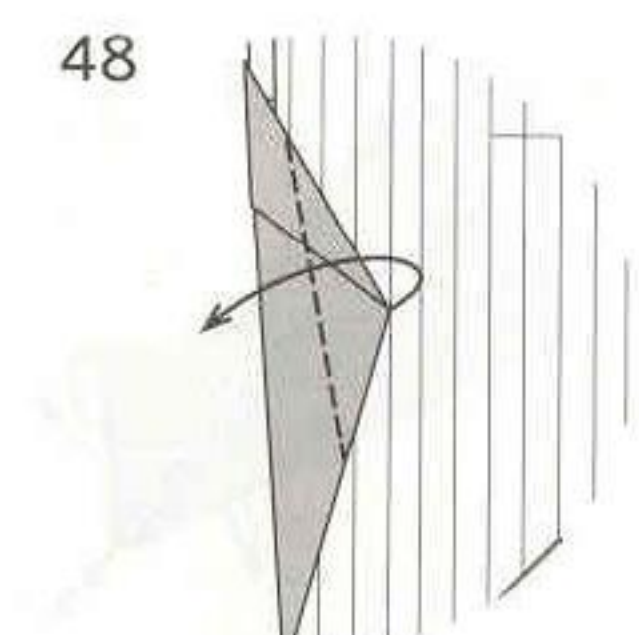
先をすこし裏側へ折る



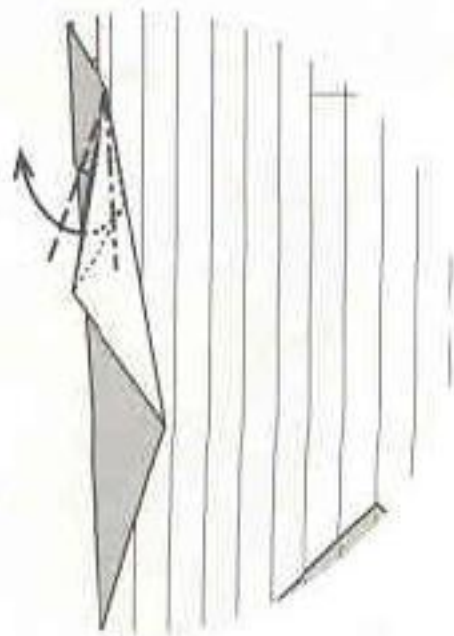
拡大終了



今度は左下へ

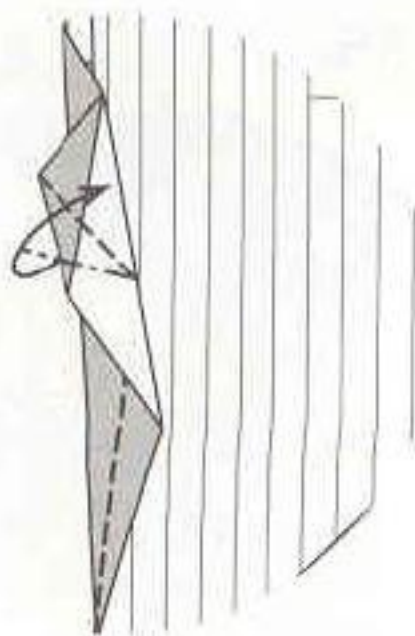


49



裏側のヒダをずらす
ようにして引き出す

50

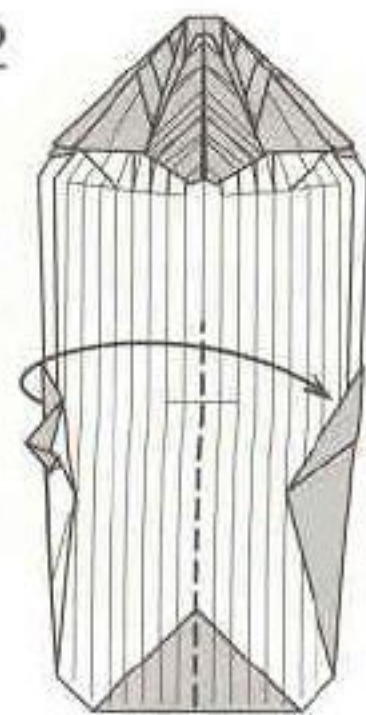


51



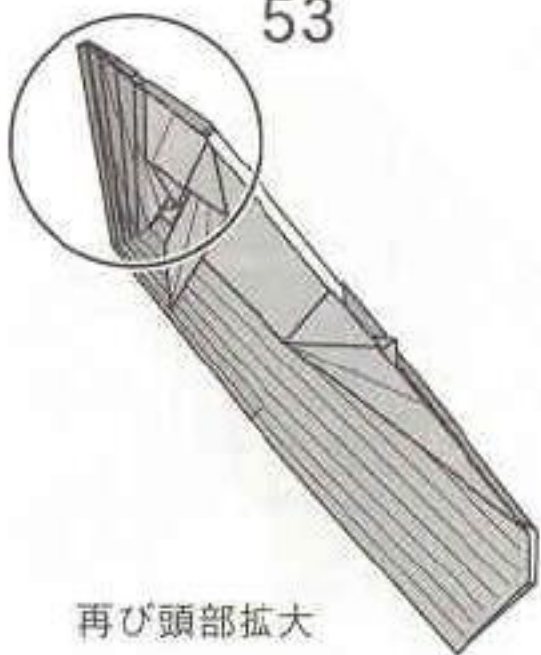
拡大終了

52



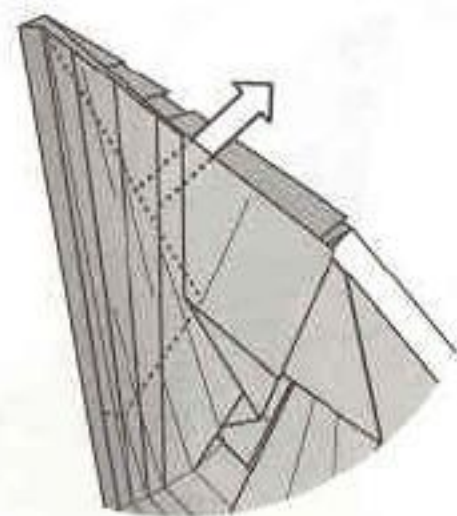
半分に畳む

53



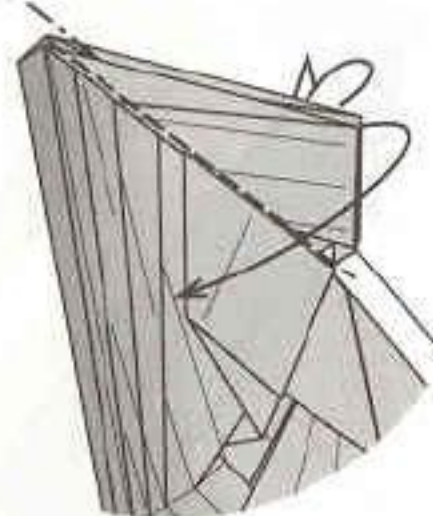
再び頭部拡大

54

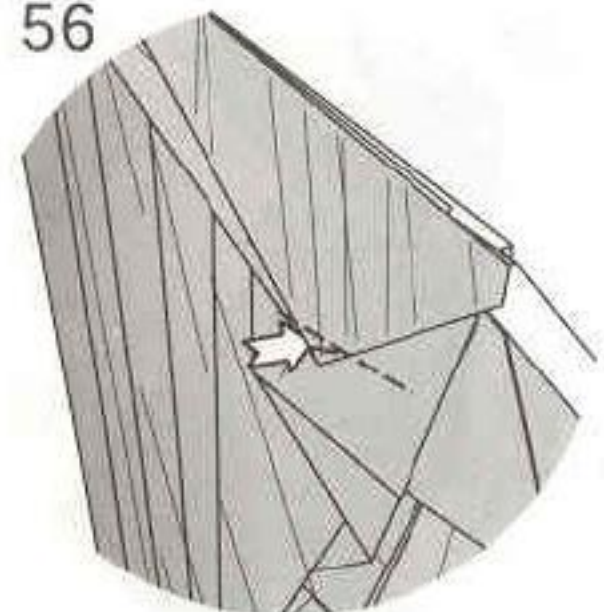


中のヒダを引き出す

55



56



先をつぶして目を作る

57



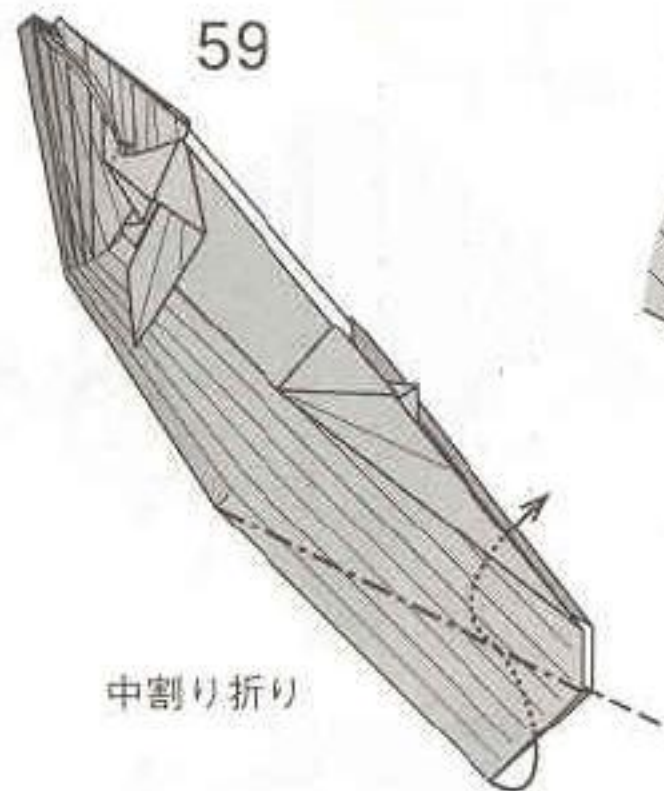
上顎の形を作る

58



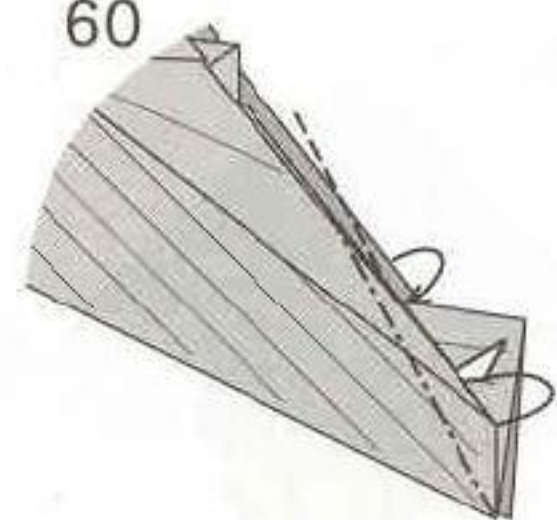
頭部完成

59



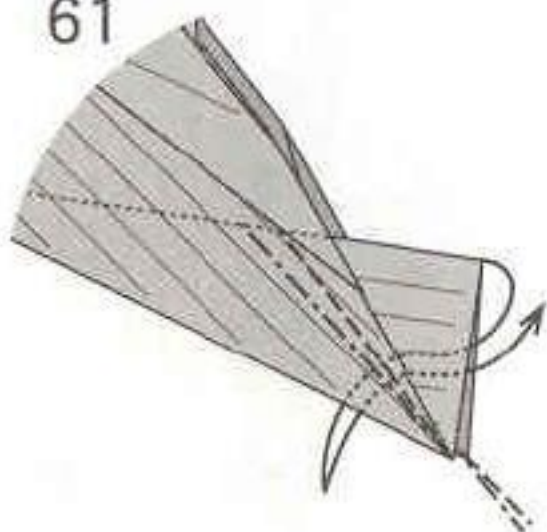
中割り折り

60



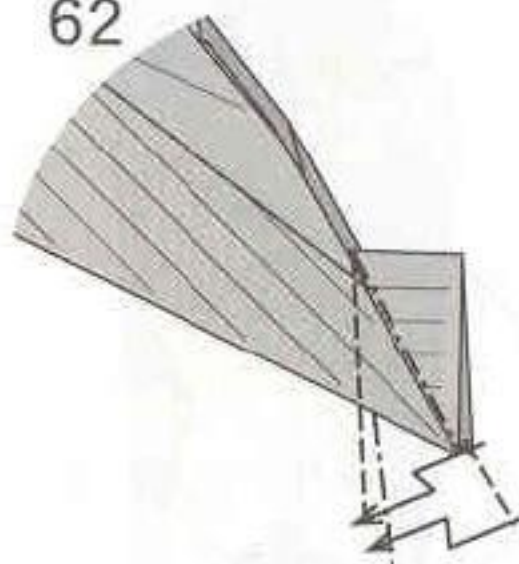
中側に折りこむ

61

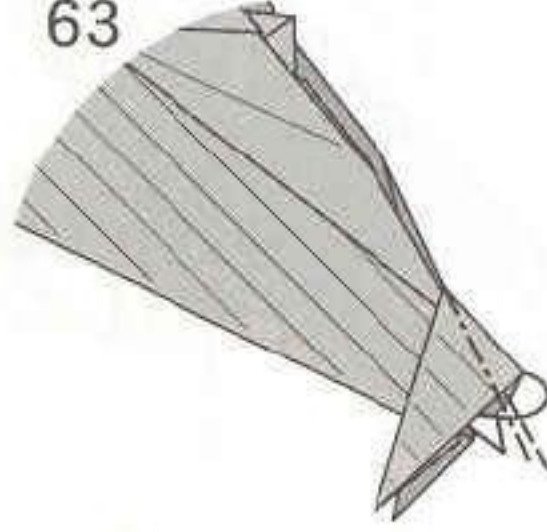


中割り折り 2回で角度を調整

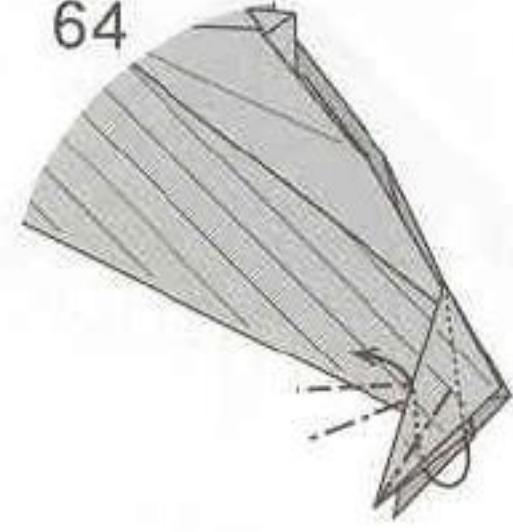
62

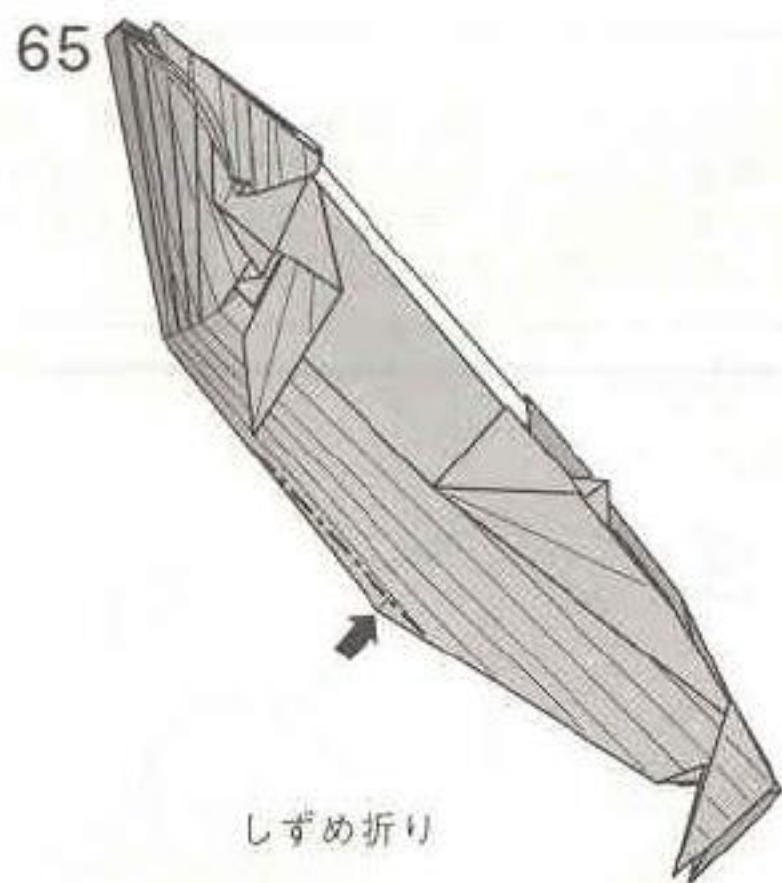


63

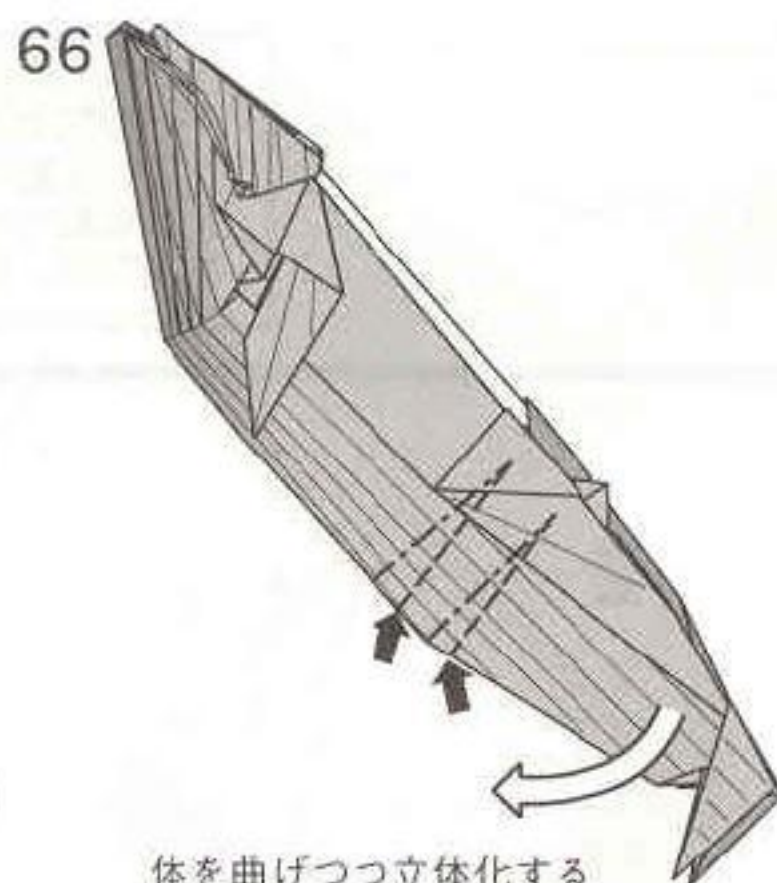


64

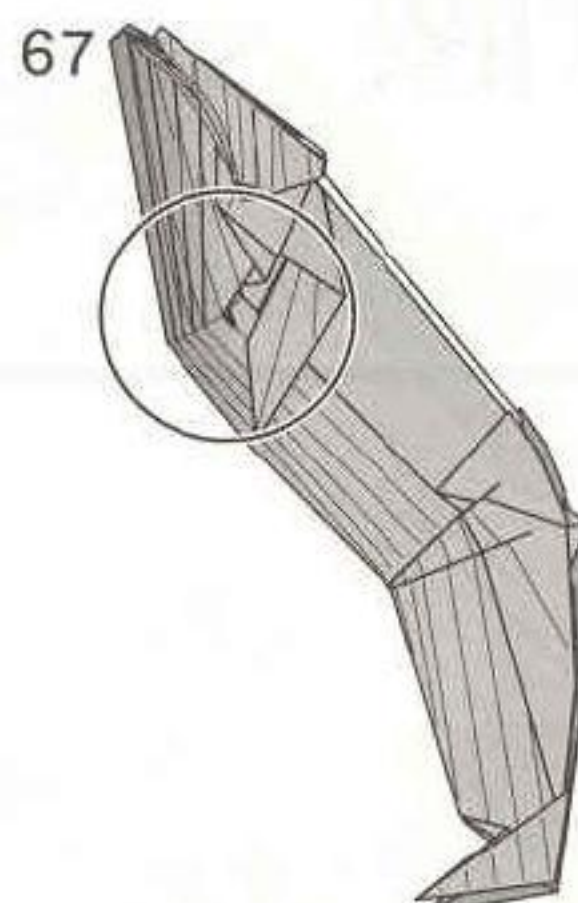




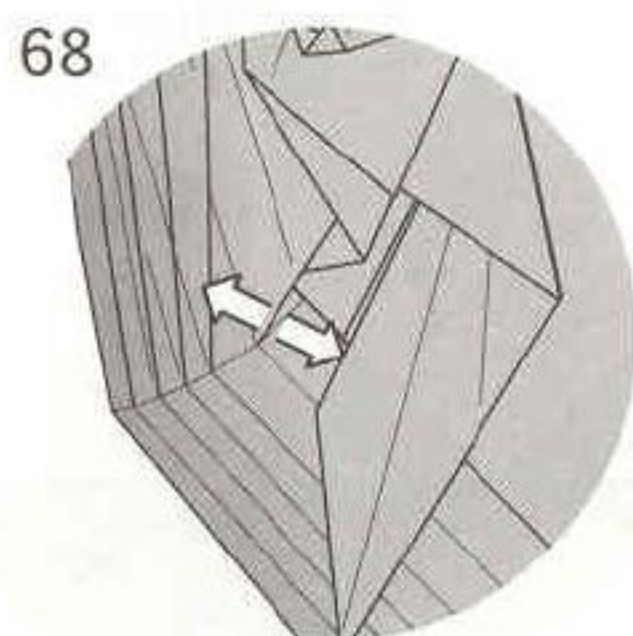
しずめ折り



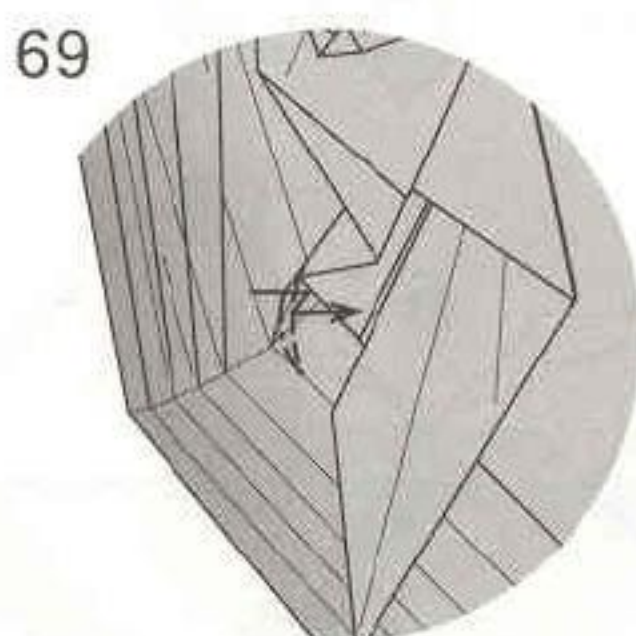
体を曲げつつ立体化する



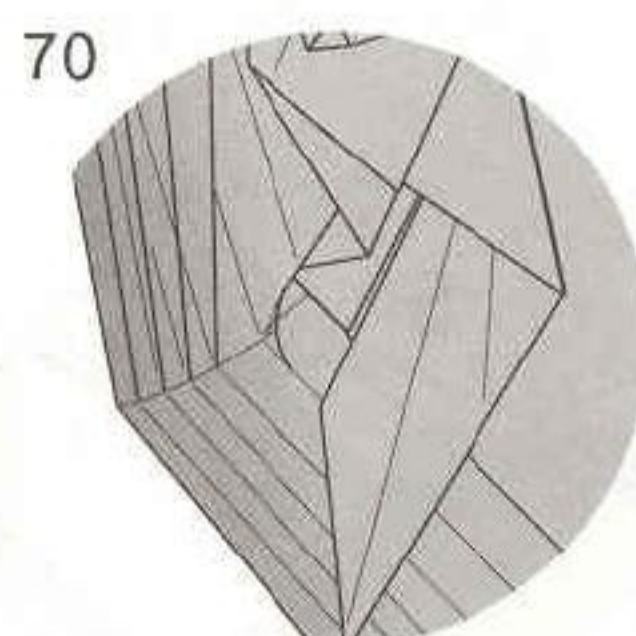
下あごのヒダを延長する
詳しくはこの先のステップで



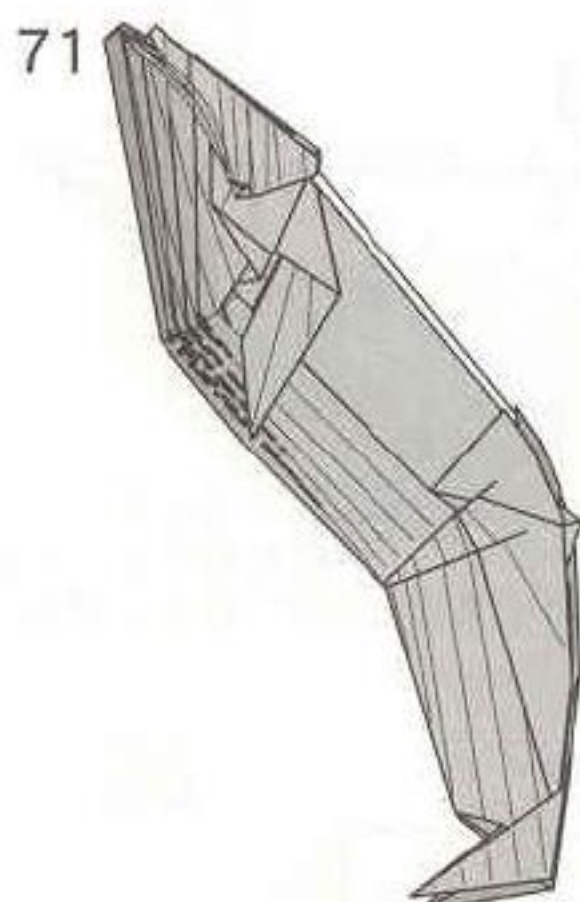
まずヒダを少し開いて……



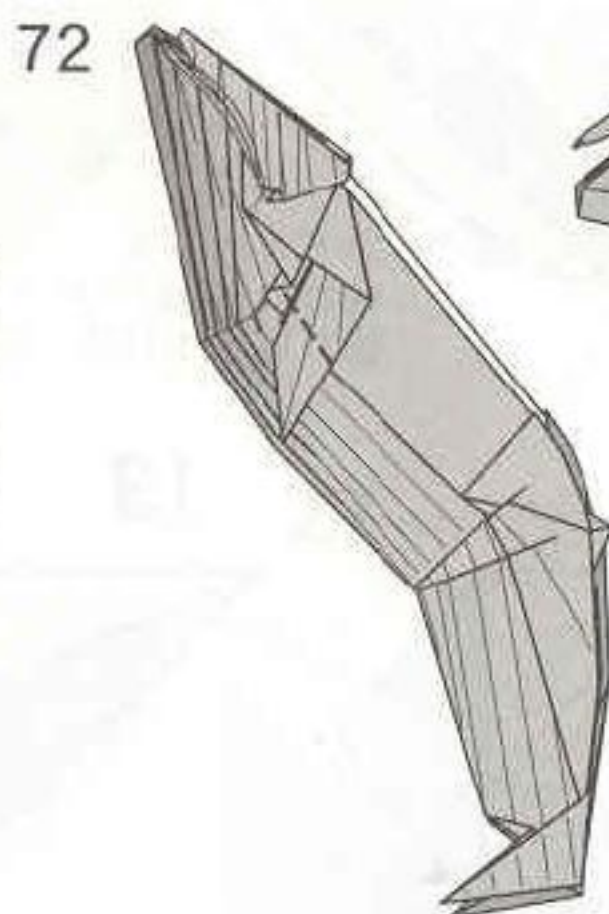
段折りの角度を変えてヒダを延長



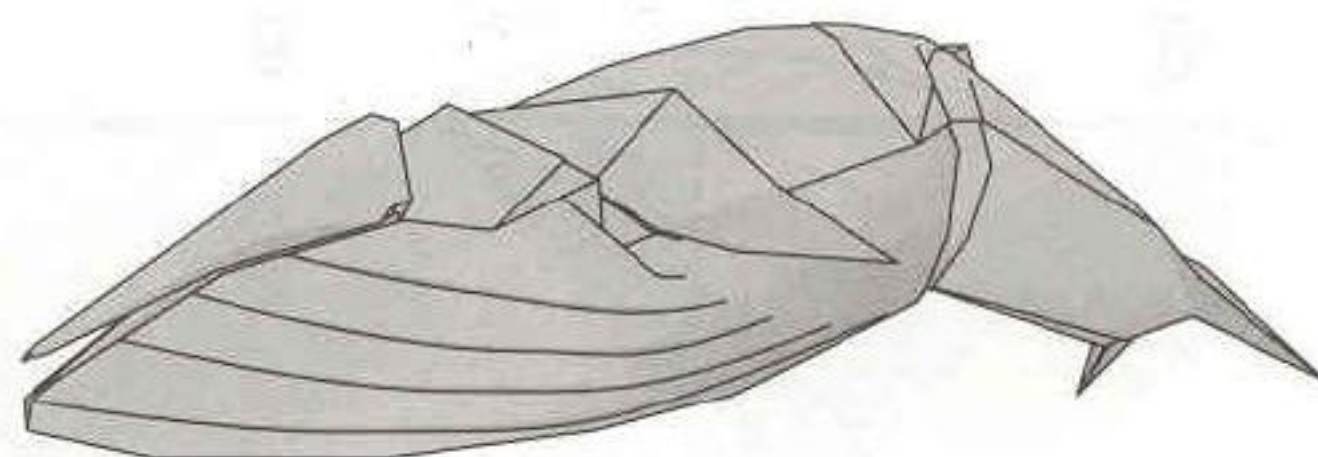
曲線を作ります



ほかの4ヶ所も同様に折る



ひれを開き
全体の形を整える



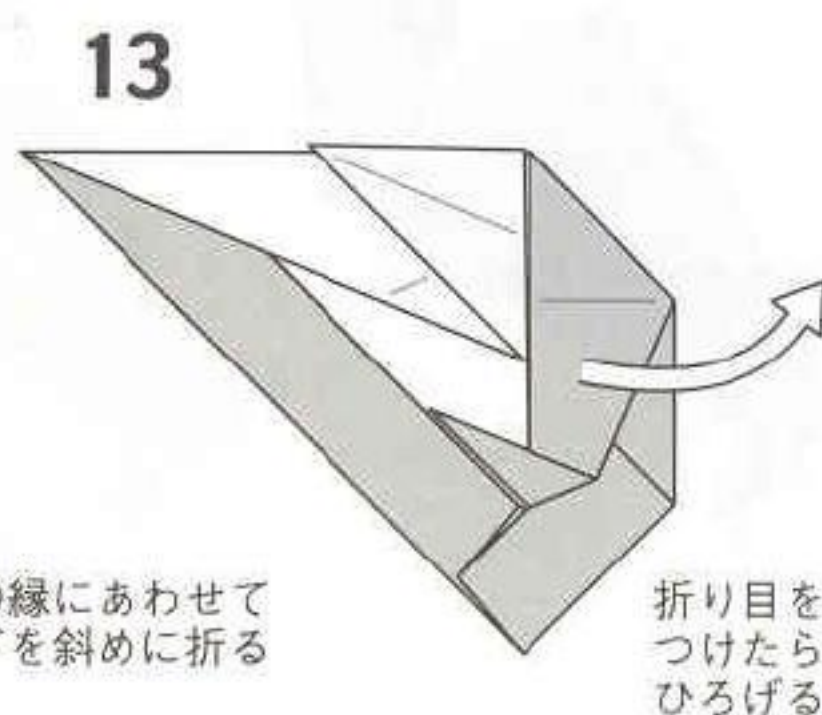
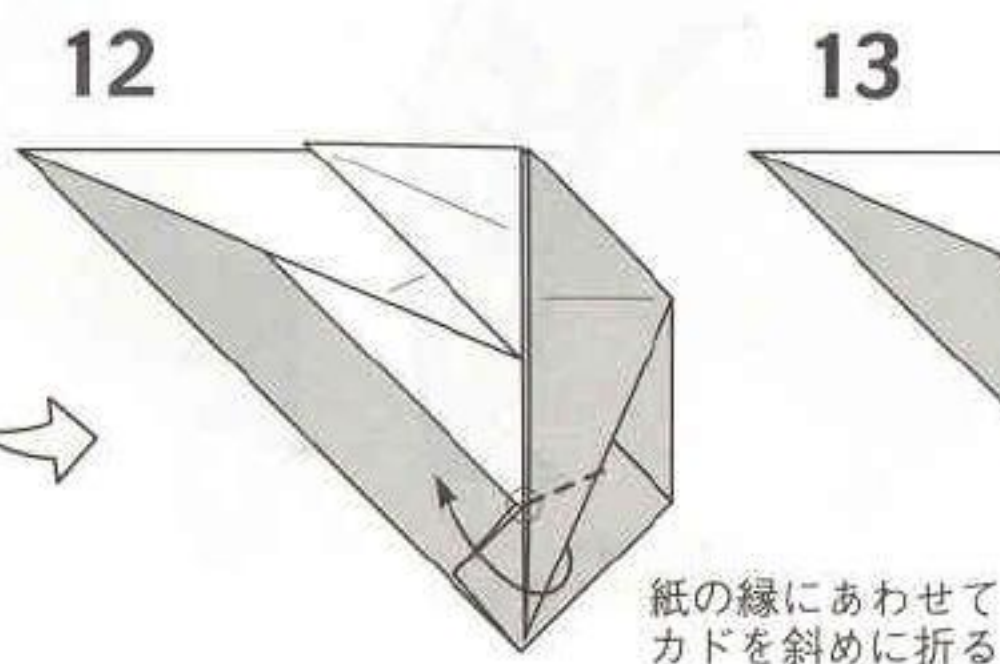
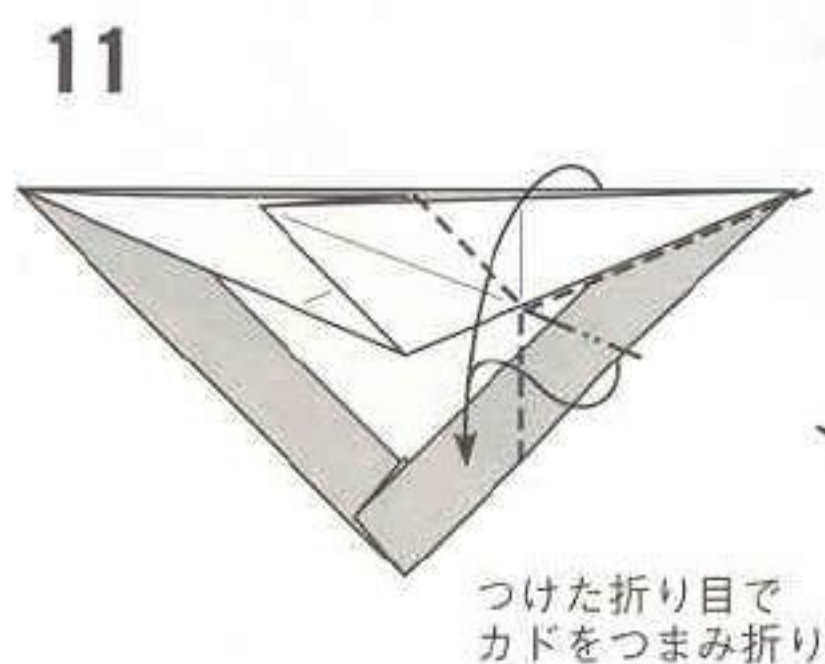
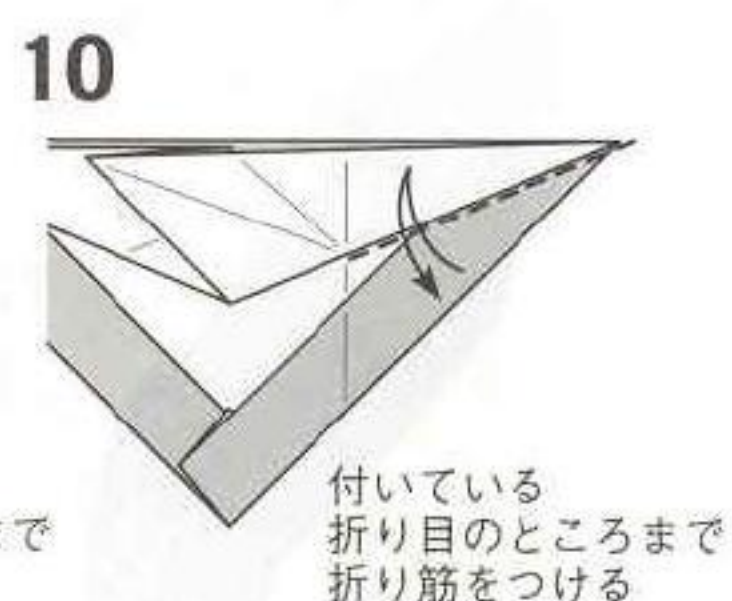
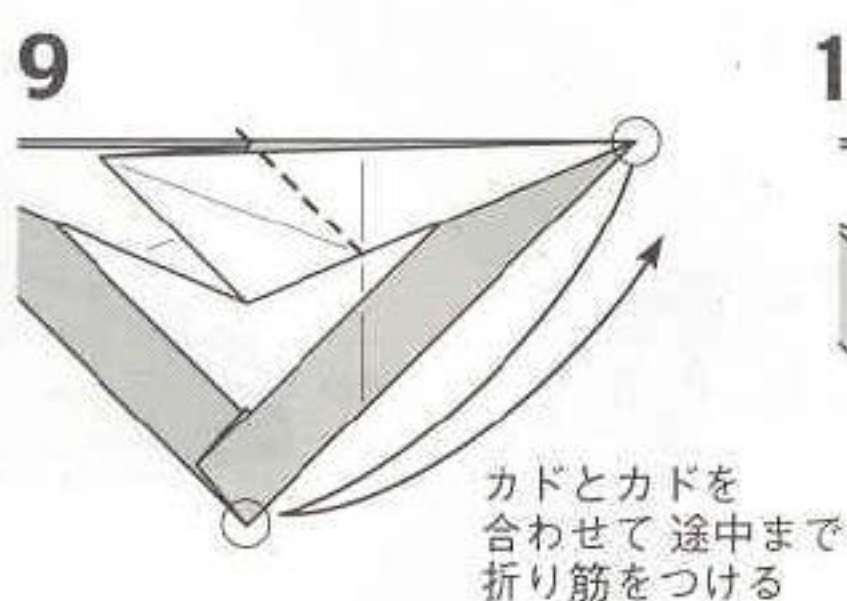
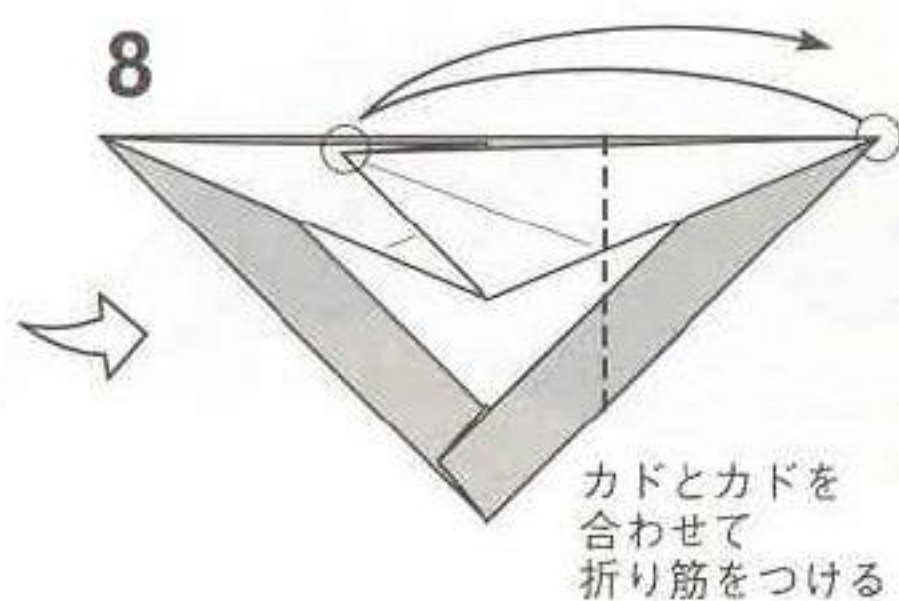
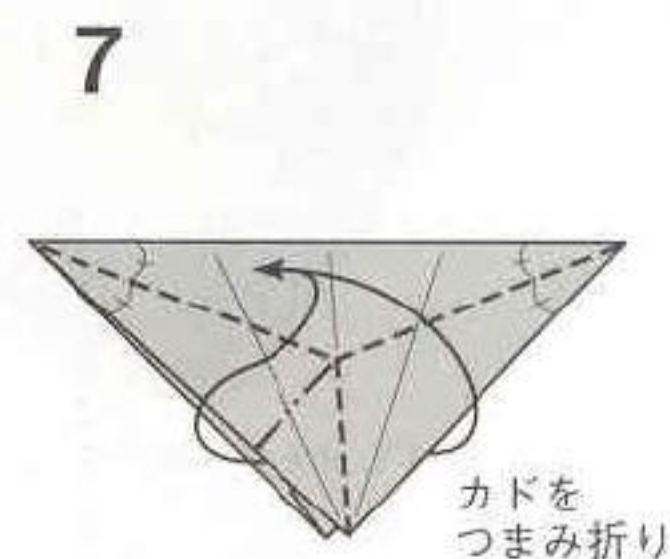
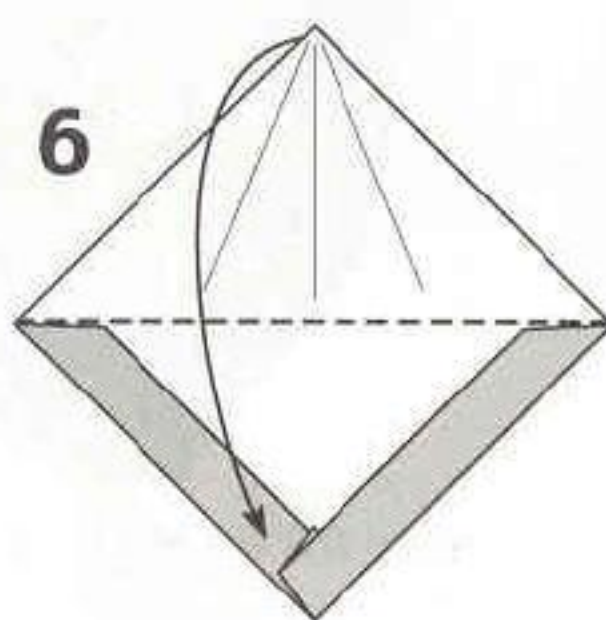
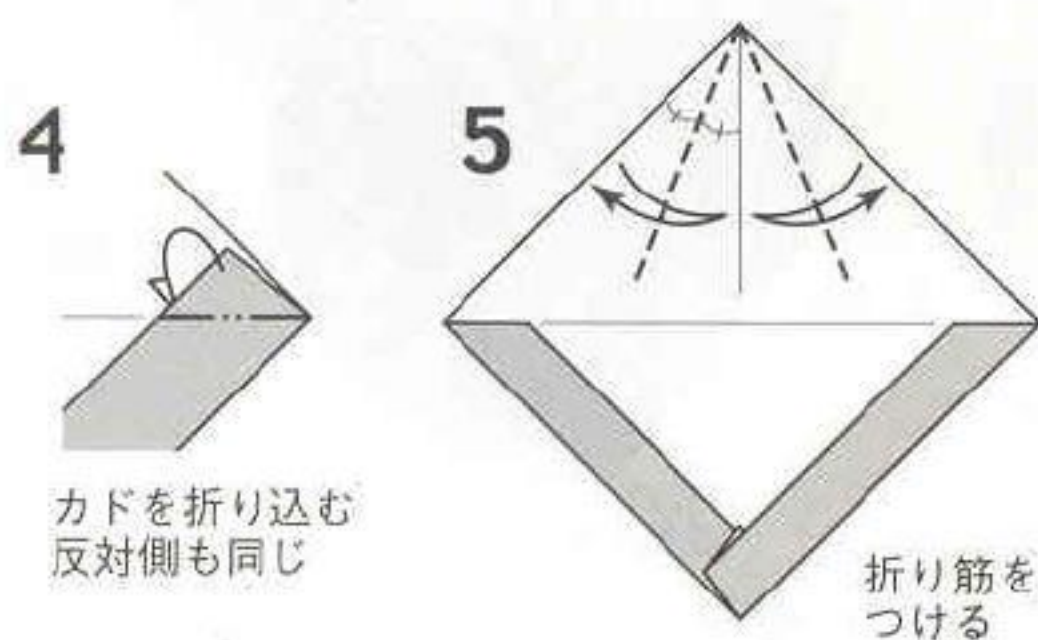
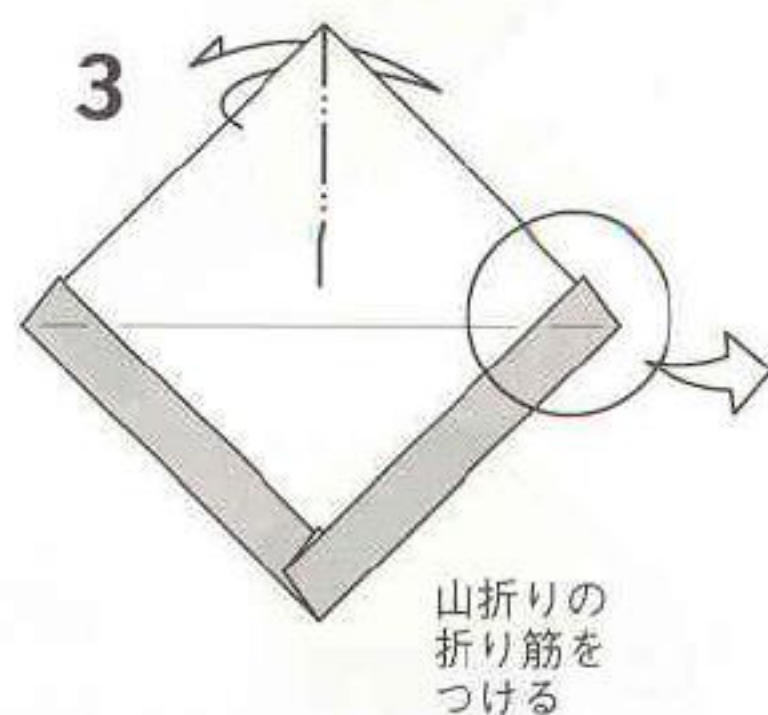
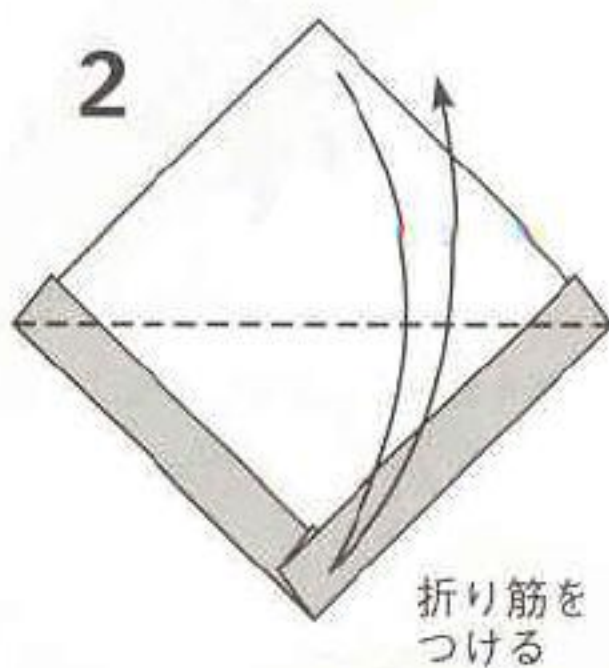
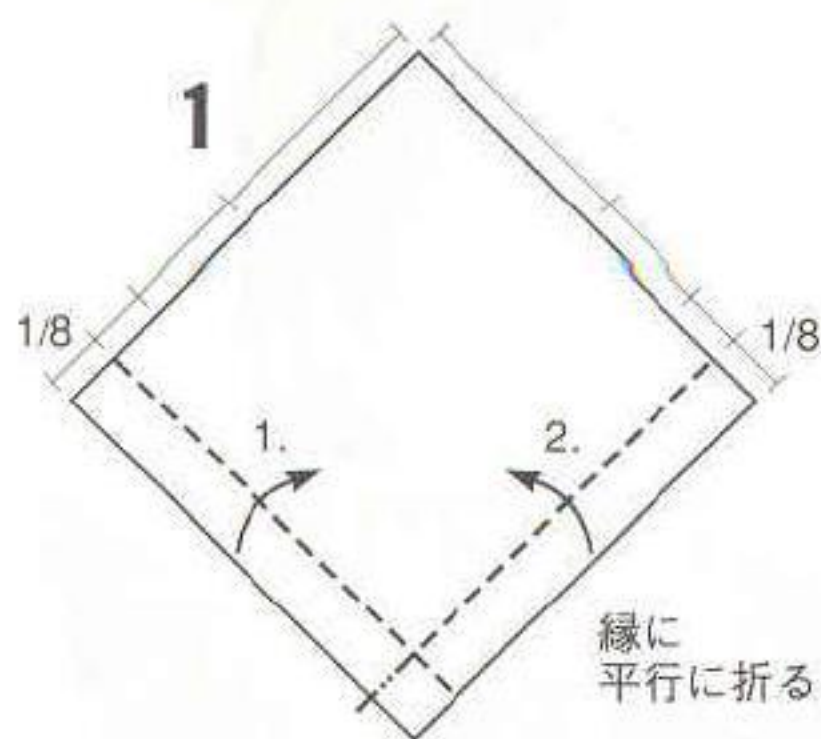
完成です
えー折り筋は……つけないように折ると
こんな感じになる、かも。

どくろ 髑髏 SKULL

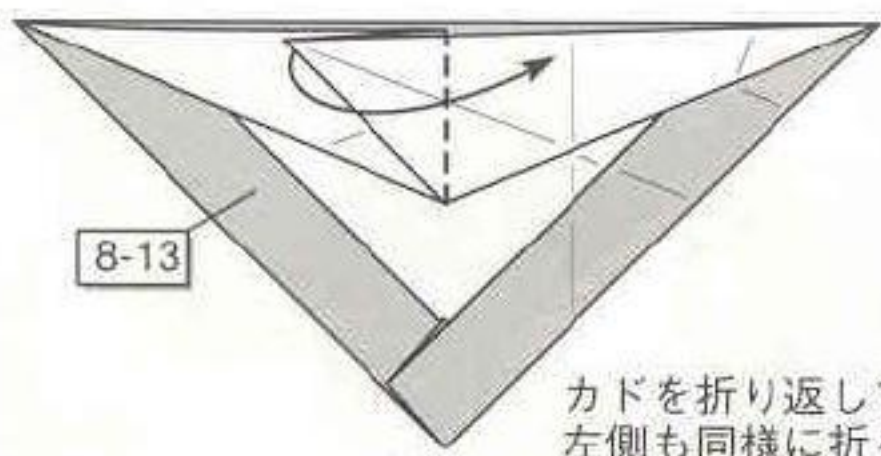
ヘルマン・ヴァン・グーベルジャン
Herman van Goubergen

用紙について：

両面同色の白またはベージュの紙で折ります（折り図では紙の表裏を区別してあります）。普通のおりがみ用紙くらいの薄さでは、完成した時に形が保てないので、少し厚めの紙を使用します。

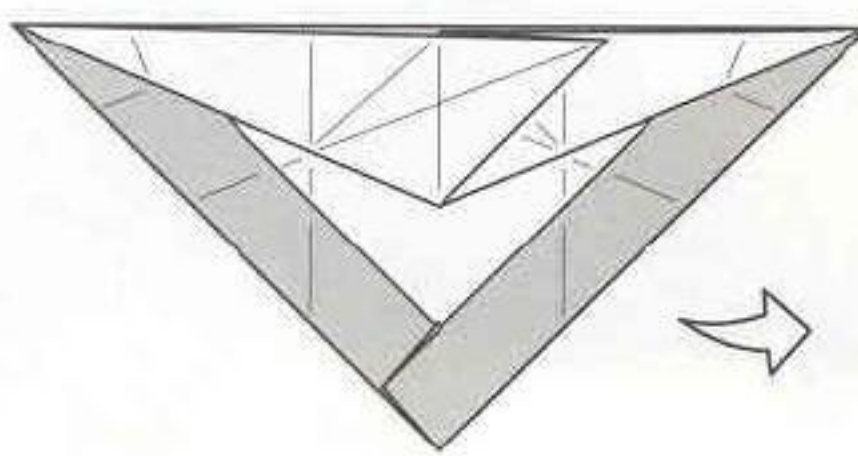


14

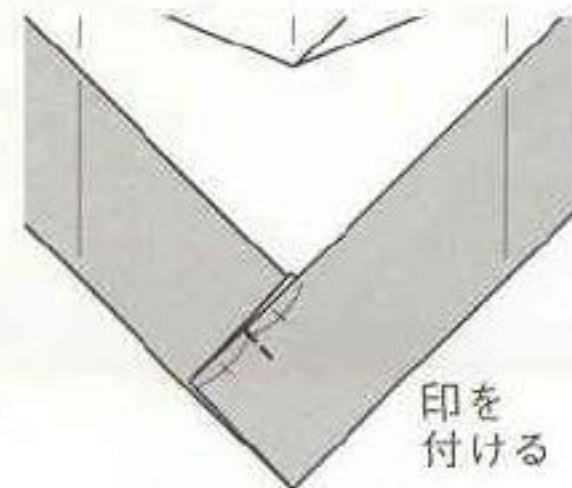


カドを折り返して
左側も同様に折る

15

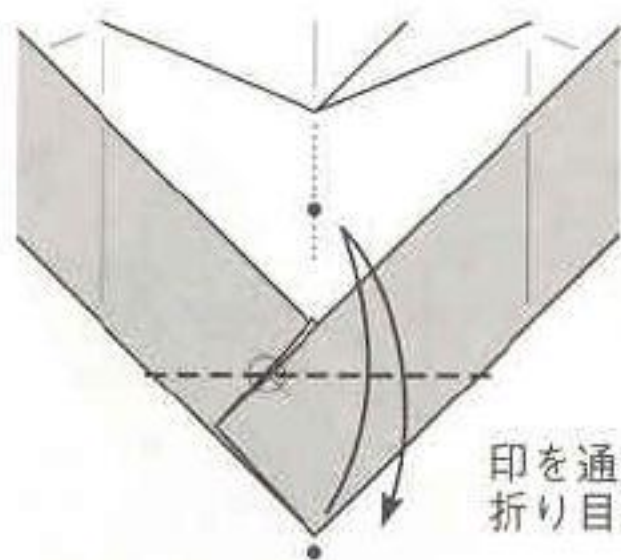


16



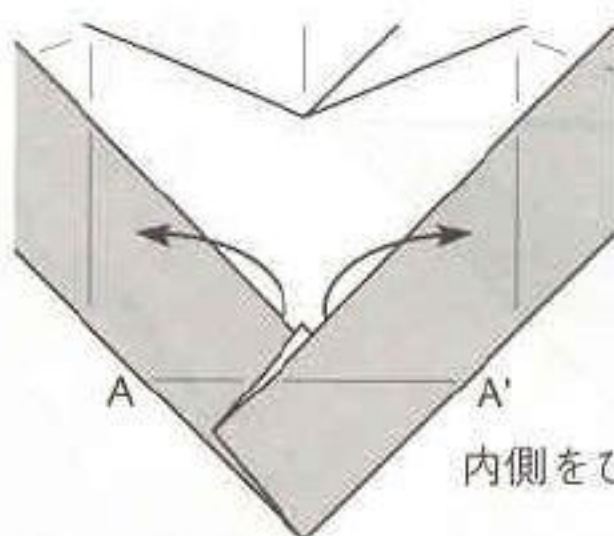
印を
付ける

17



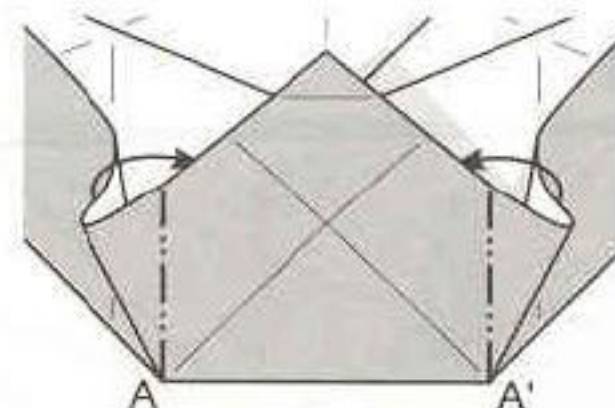
印を通る線で
折り目をつける

18



内側をひらく

19



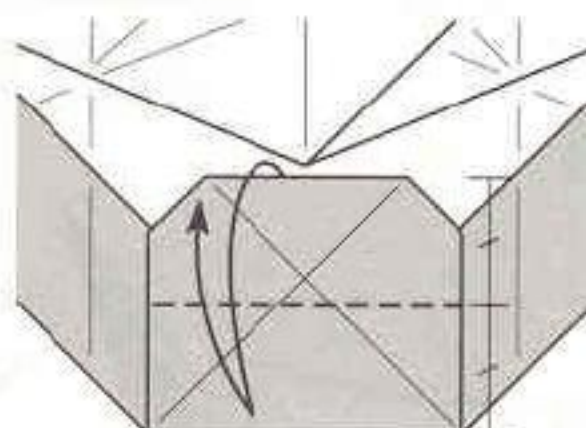
平らに折り畳む

20



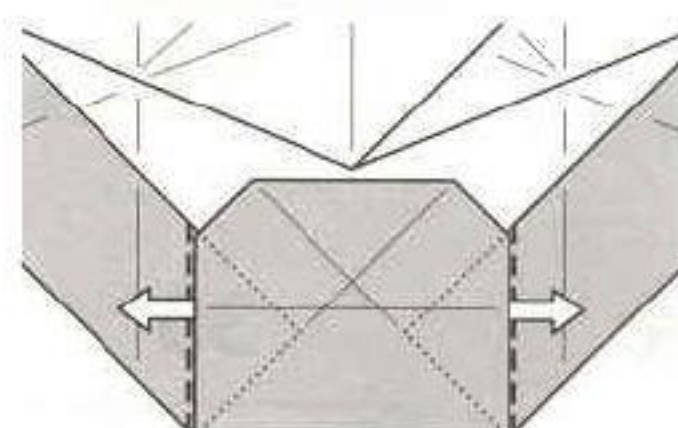
折り筋のところで
うしろに折る

21



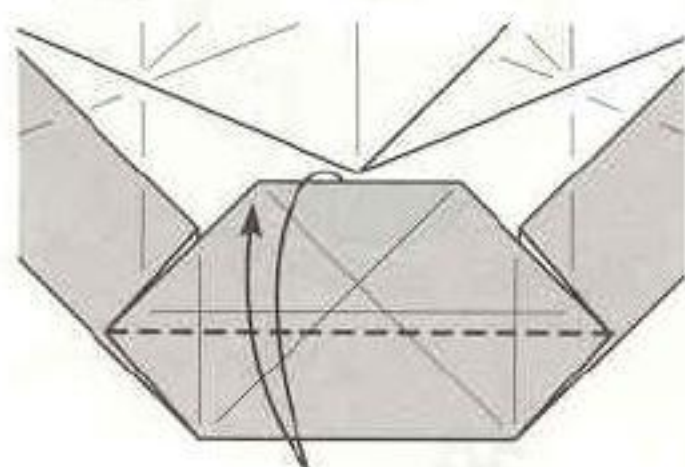
上下の縁を合わせて
折り筋をつける

22



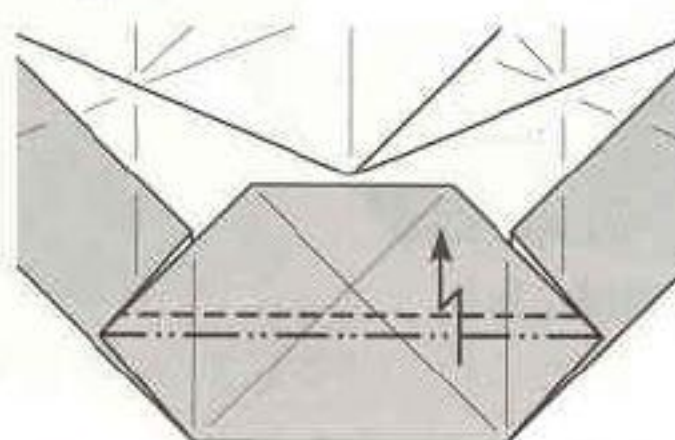
紙を引き出す

23



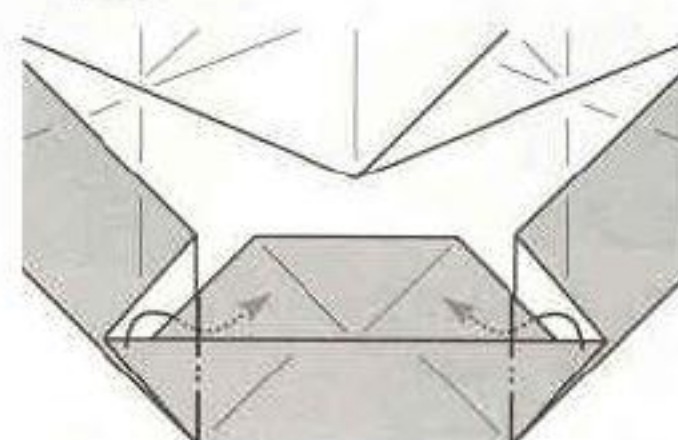
折り筋をつける

24



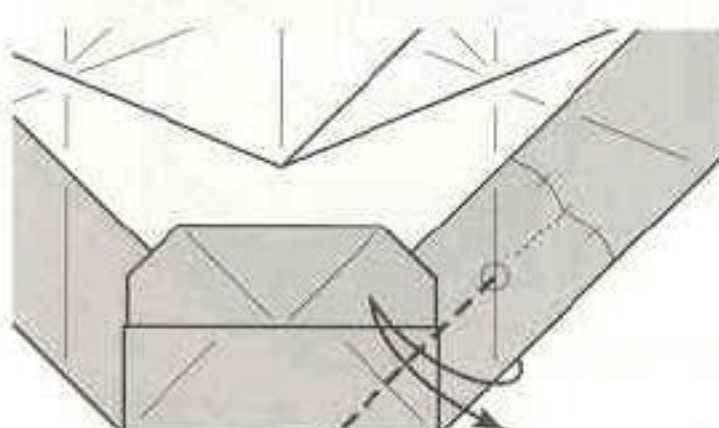
つけた折り筋を
使って段折り

25



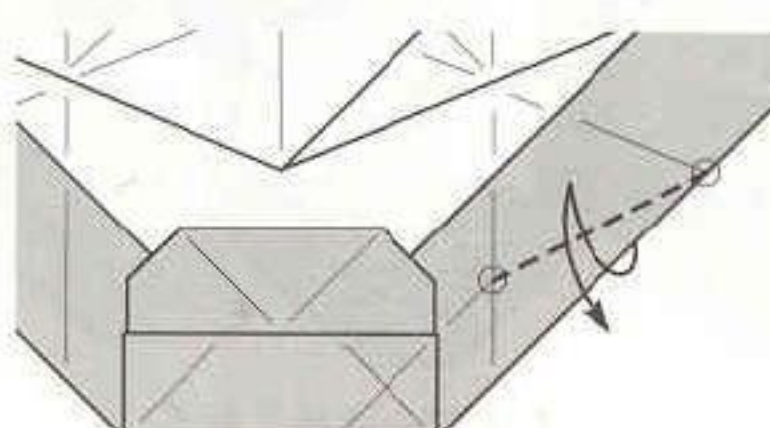
カドを折り込む

26



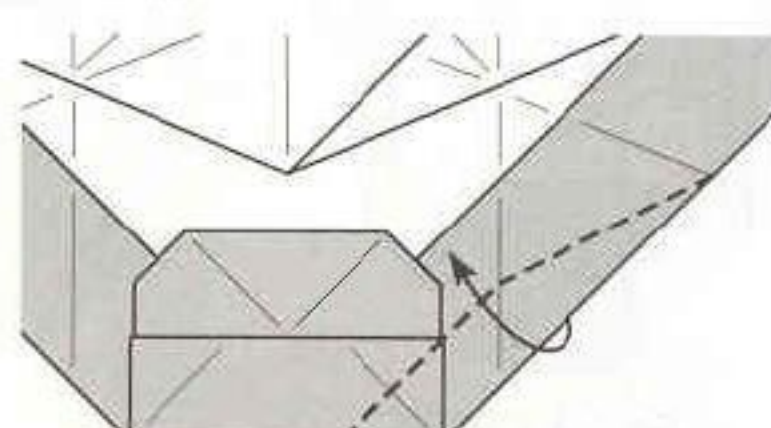
縁に平行に
折り目をつける

27



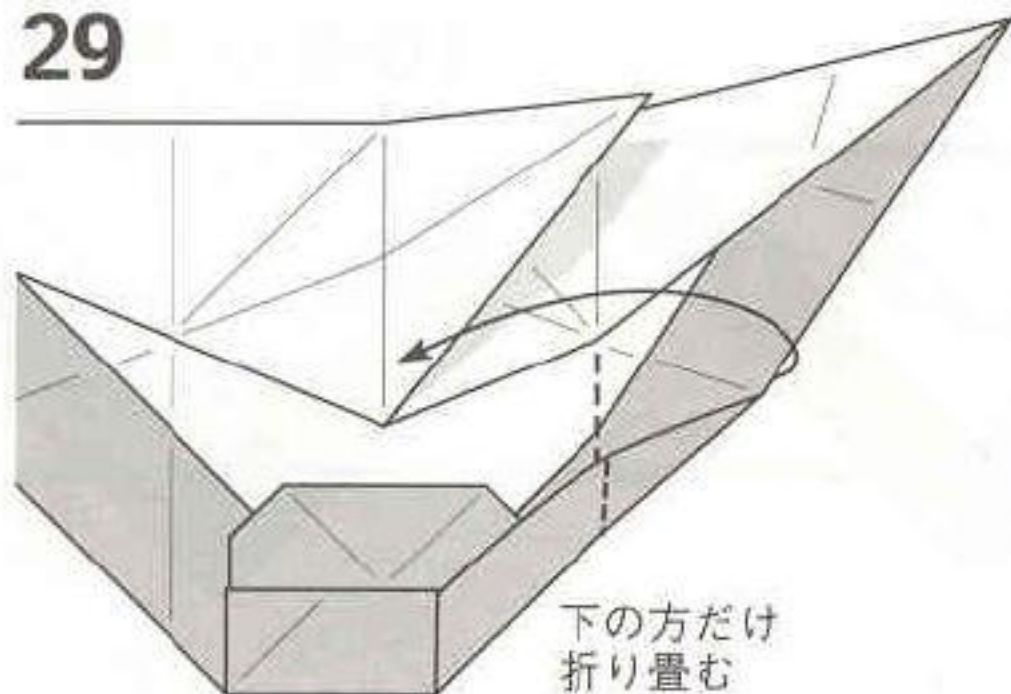
折り目の交点を結んで
折り目をつける

28

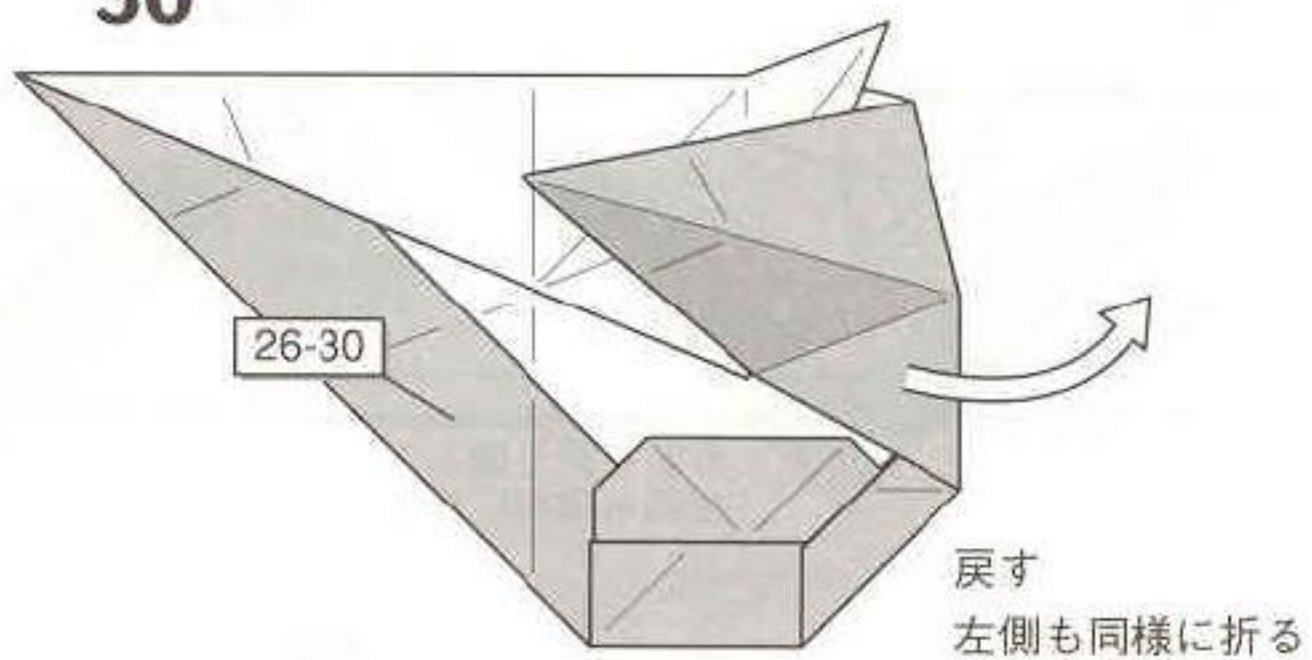


つけた折り目で折る

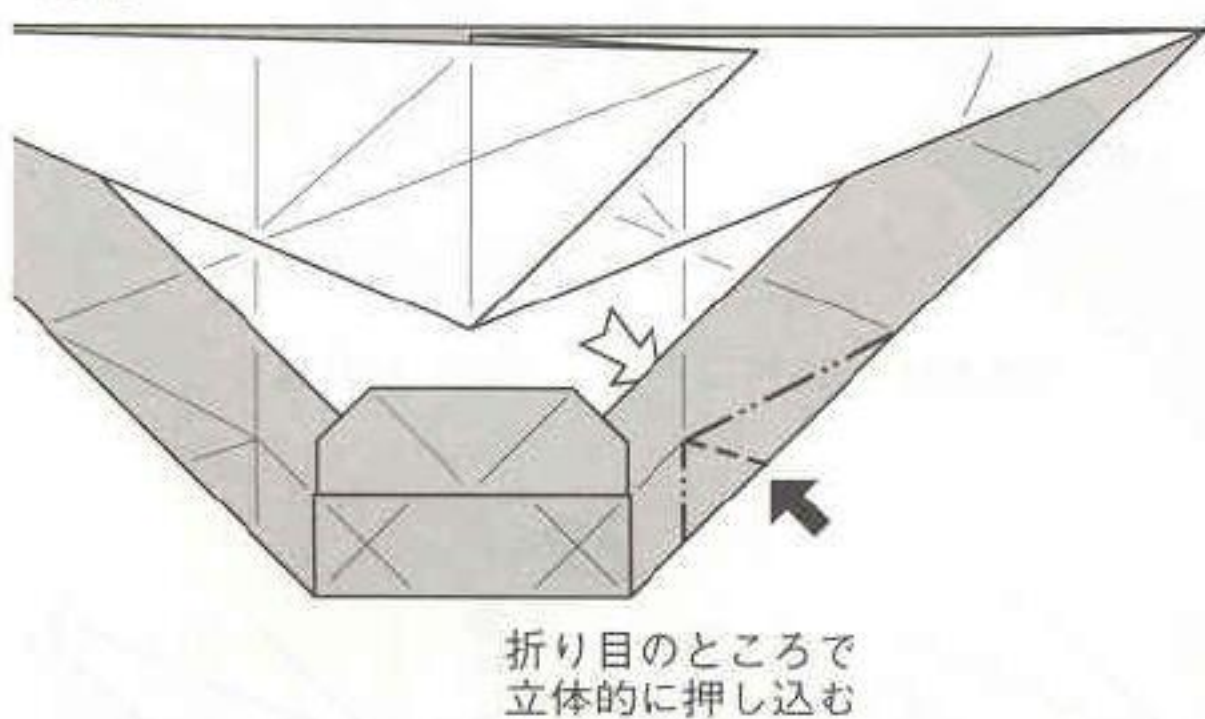
29



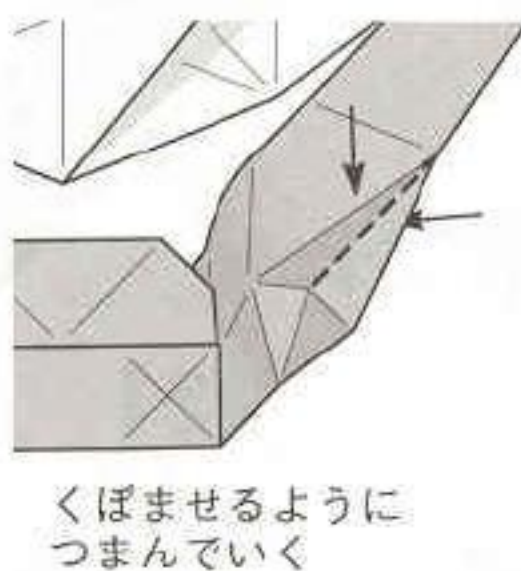
30



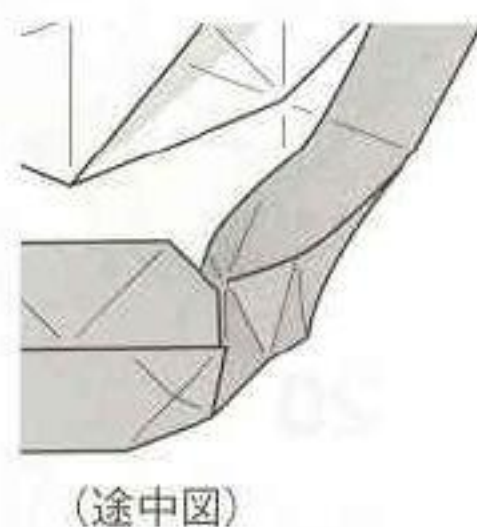
31



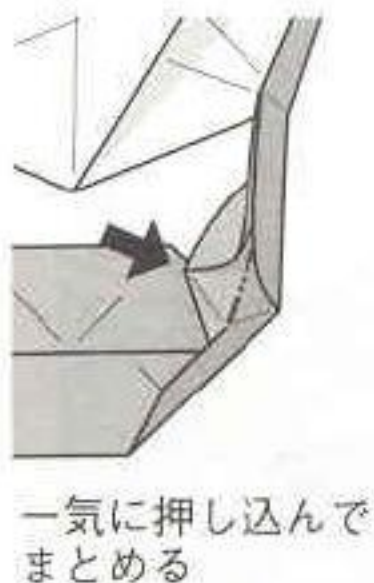
32



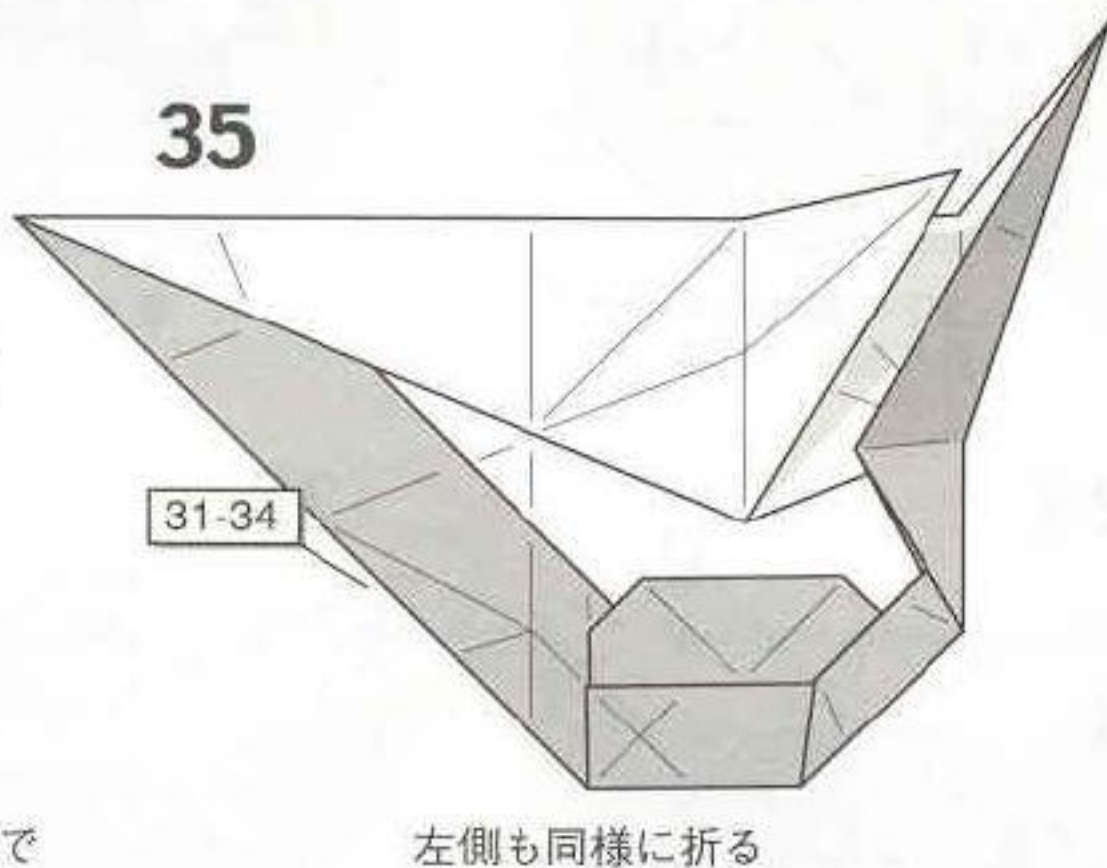
33



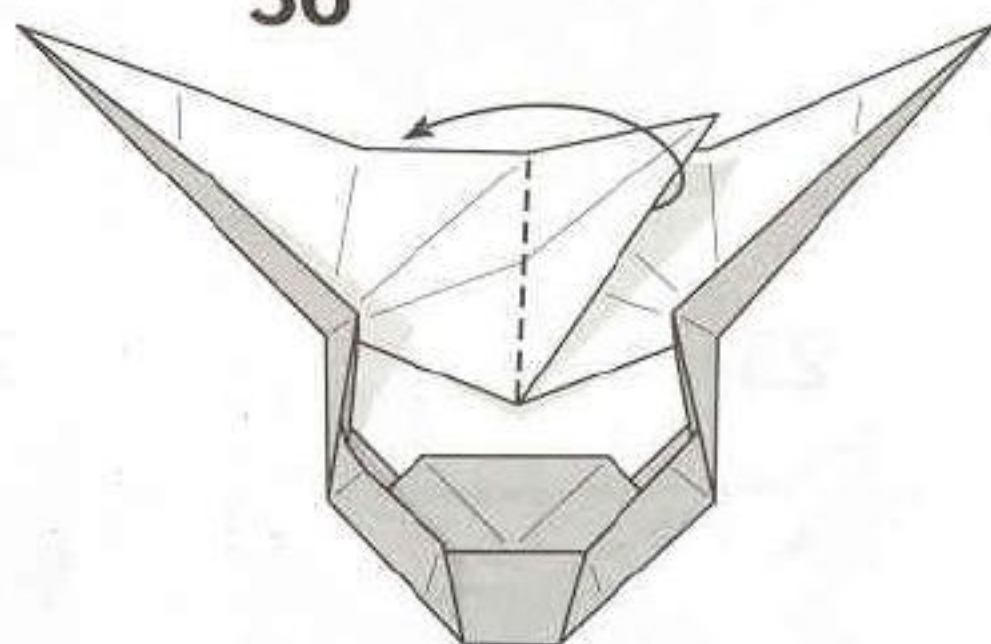
34



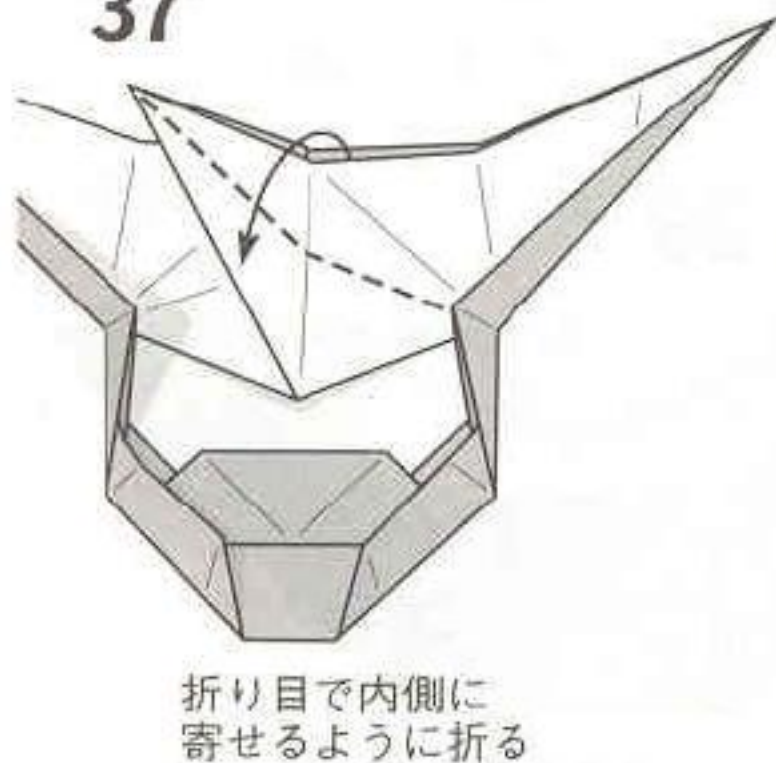
35



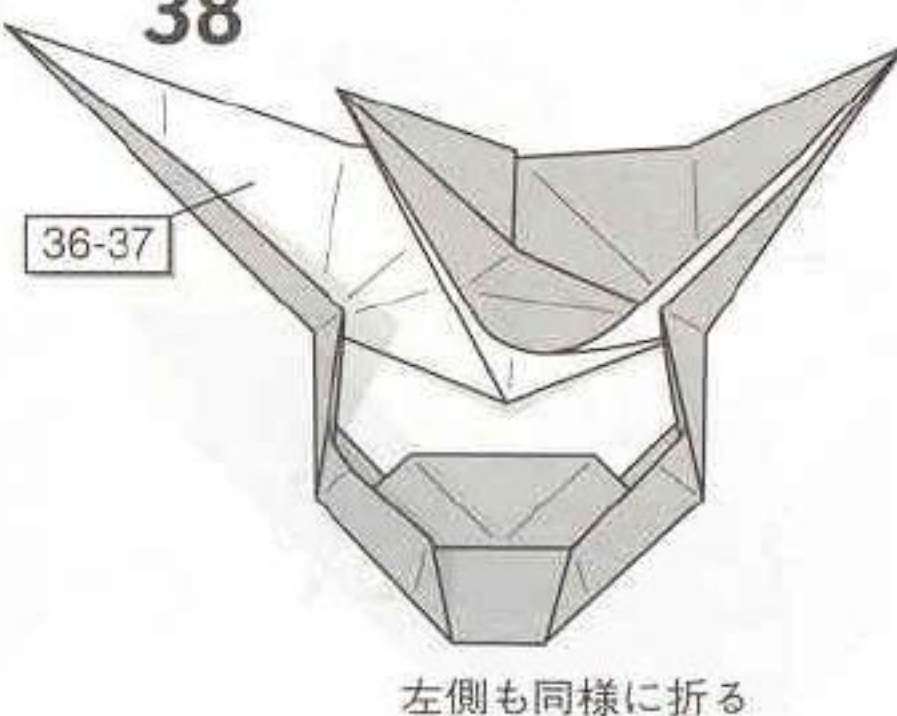
36



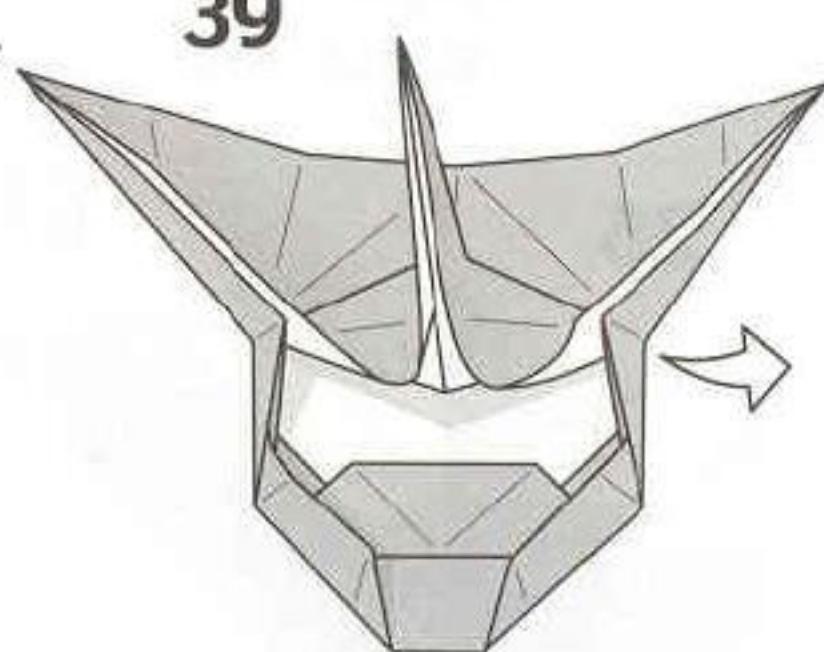
37



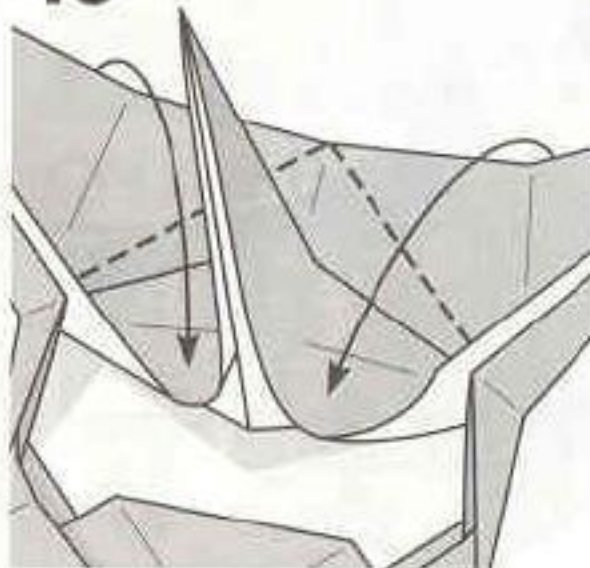
38



39

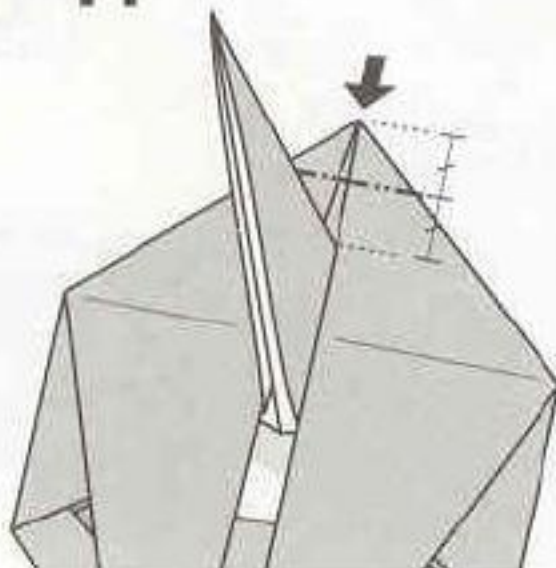


40



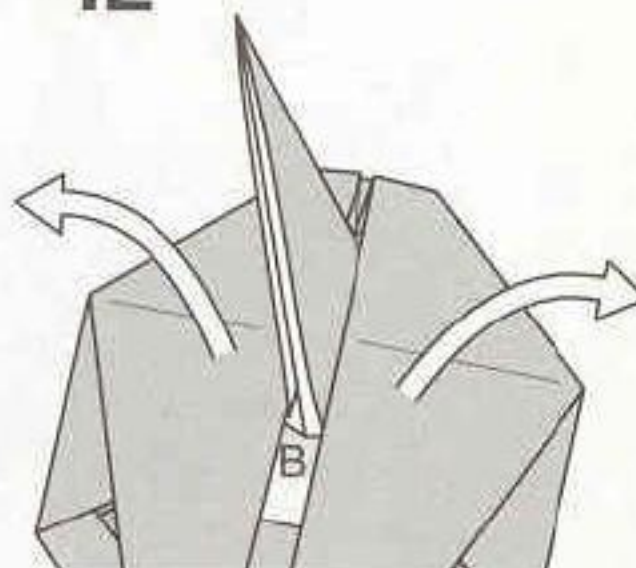
折り目で軽く
折り畳む

41



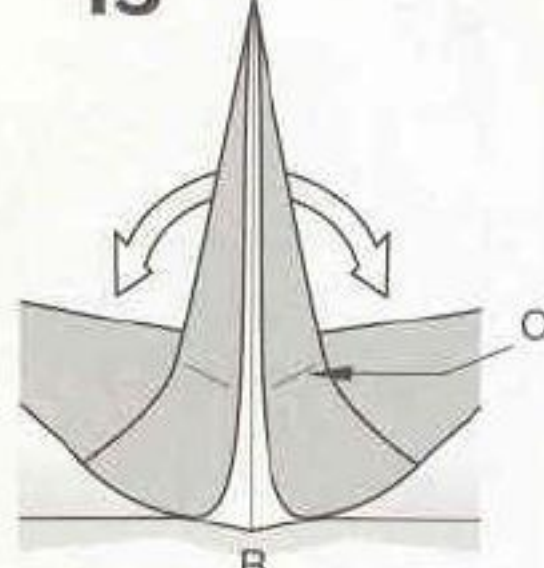
内側へ折り込む

42



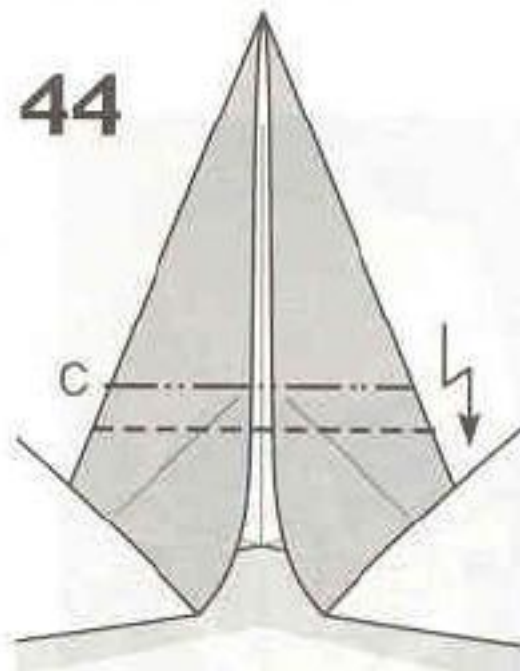
ひらいて手前から見る

43



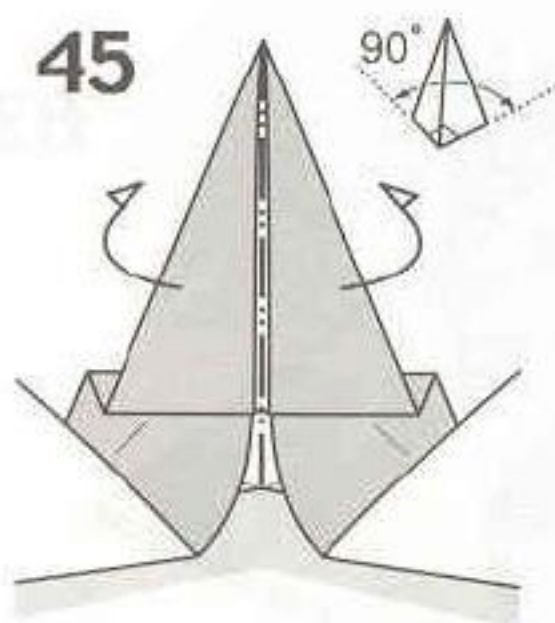
カドを平らに
ひらいて見る

44



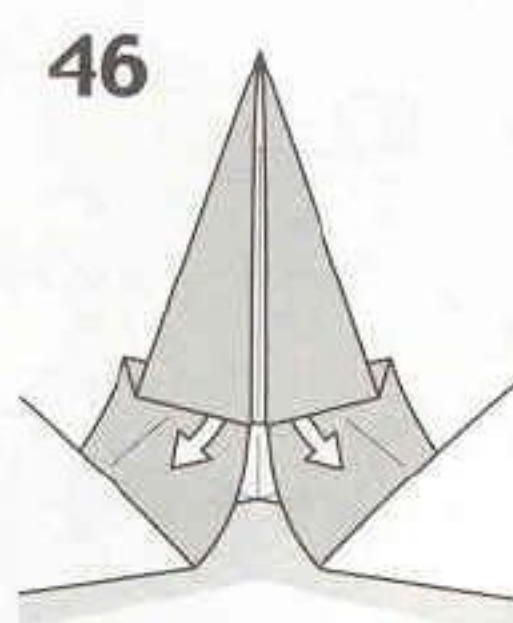
段折り
既にある折り筋の
位置で山に折る

45



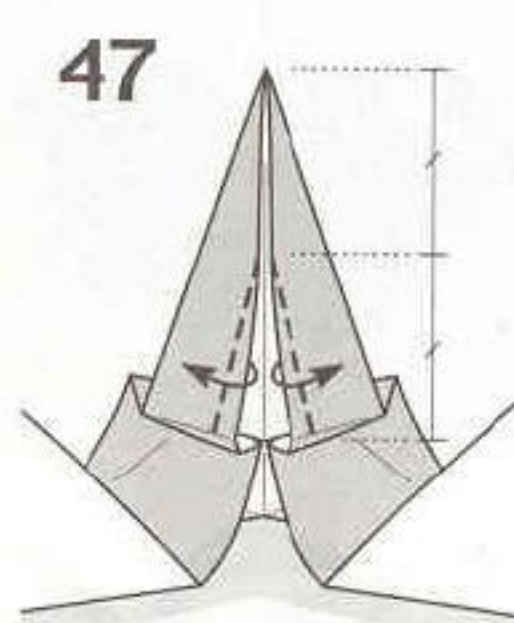
直角に折り曲げる

46



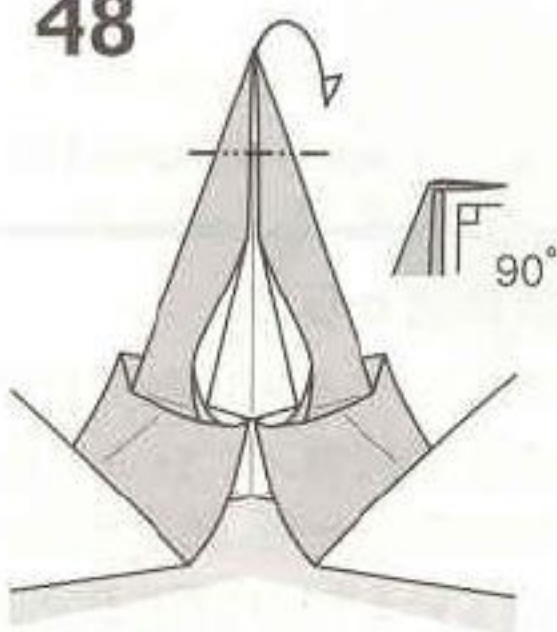
ずらすようにして
紙を引き出す

47



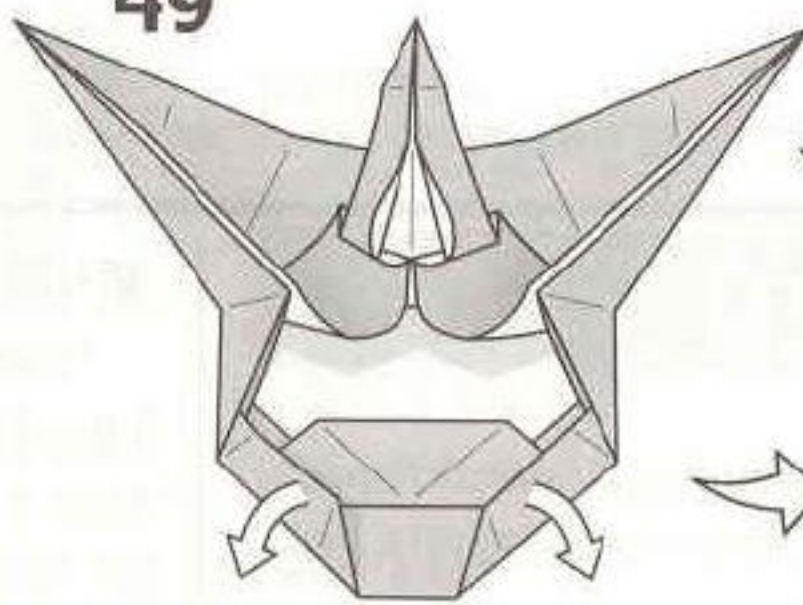
立体的に折る

48



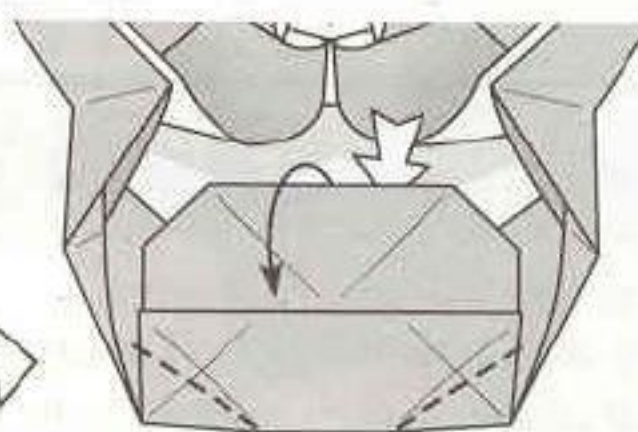
直角に折り曲げる

49



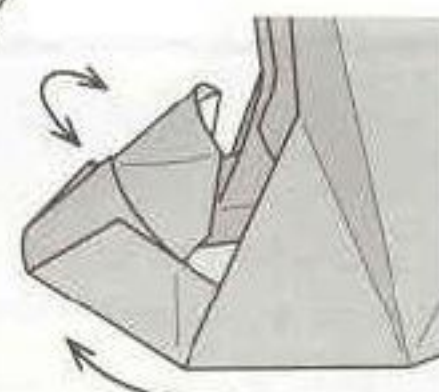
ヒダをひらいて見る

50



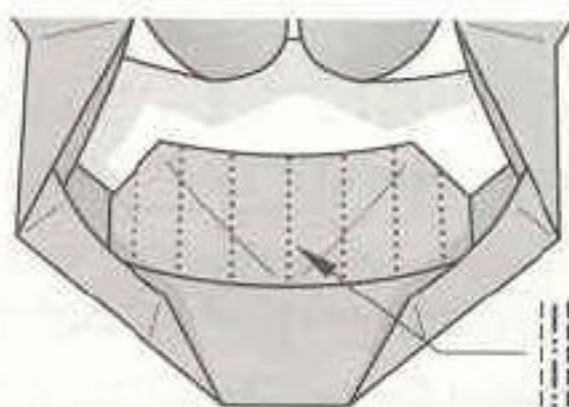
ずらすようにして
立体的に引き出す

51



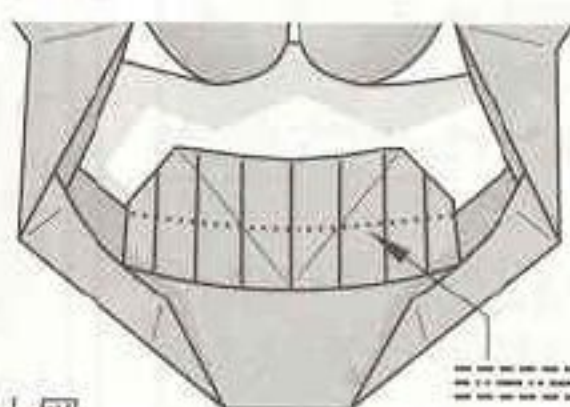
(横から見た図)
曲面状にする

52



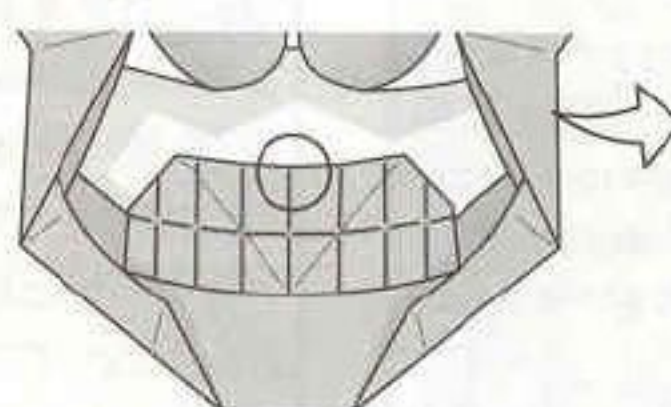
拡大図の折り目で折る
最初に山の折り目を付け
爪でつまむようにするとよい

53

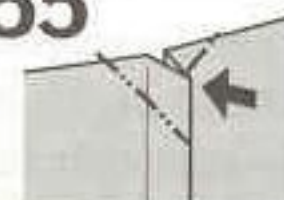


拡大図

54



55



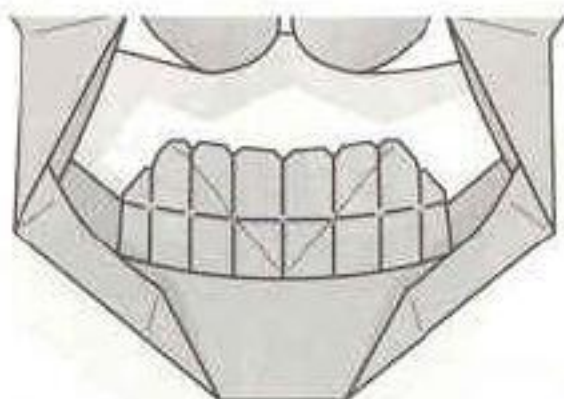
立体的に折り込む

56

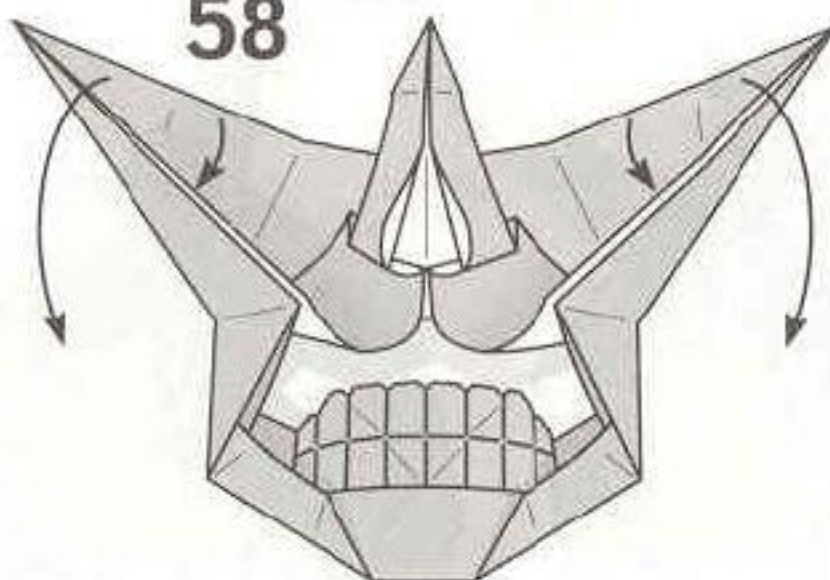


他も同じに折る
(6カ所)

57

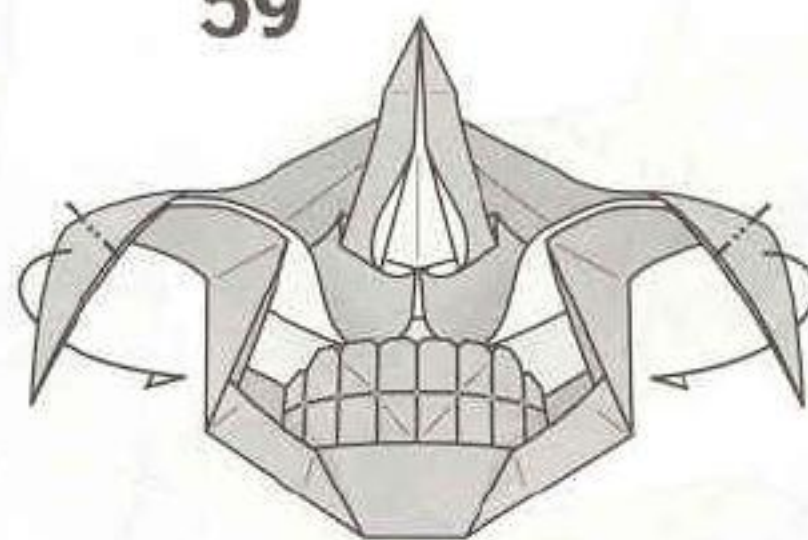


58



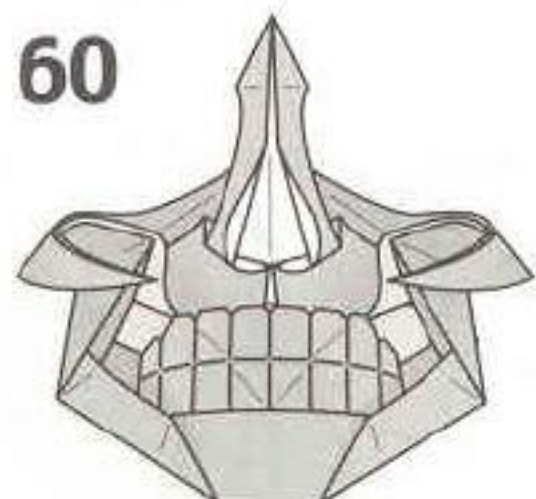
カドをつまんで
カールさせる

59



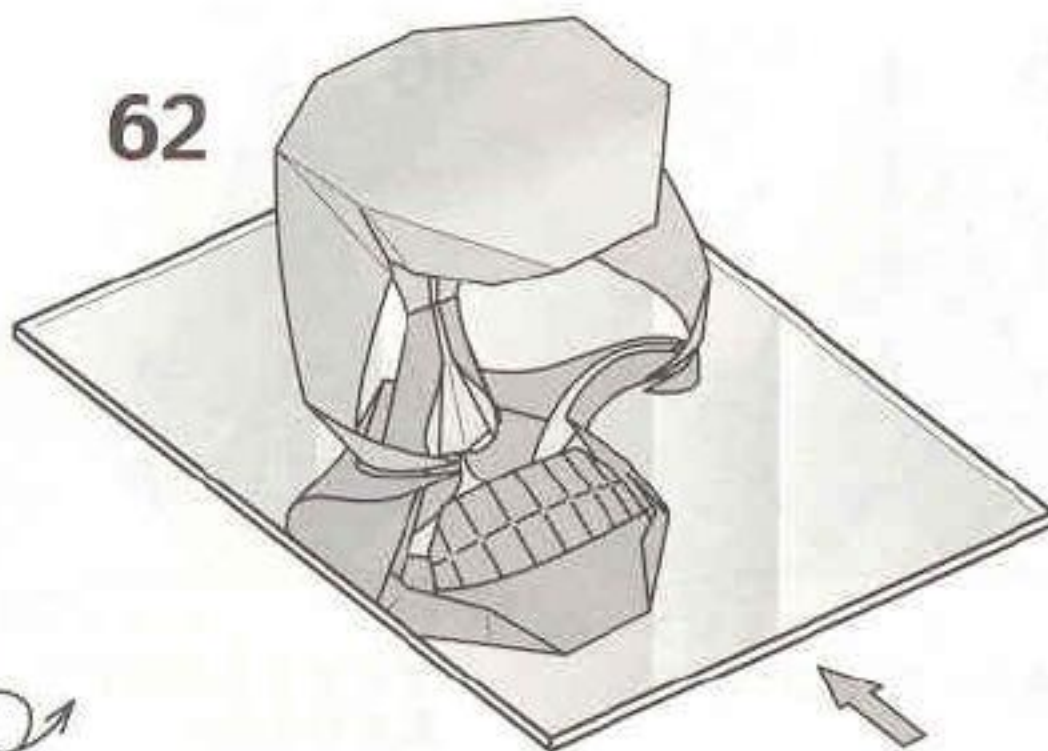
12 でつけた折り目の
山谷を逆にして
カールさせながら折る

60



完成

62



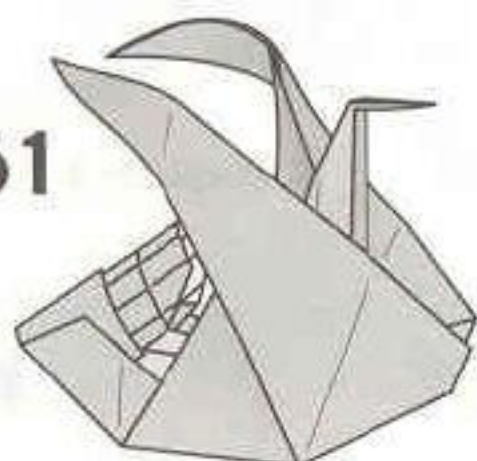
鏡の上に置いて
矢印の方向、斜め 45 度の
辺りから見る

63



- ・ こう見えるように各部を調節する
- ・ 背景を暗くする
- ・ 実像と鏡像の差が少なくなるような照明を考える

61



(横から見たところ)

Original diagrams by Herman van Goubergen / Diagrams re-drawn by Komatsu Hideo

グーベルジャン氏による作品解説

I started from the concept that, although we usually think of a mirror-image as being identical to the original image, there can be a considerable difference between the two because you look at them from different angles. So I wanted to illustrate this by making an object which, when placed upon a mirror, had a reflection very different from the original image.

A natural development of that idea was to make only half an object, (I like my designs to be economical) letting its own mirror-image complete it in a non-trivial way (i.e. not along an axis of symmetry).

Looking for a likely subject, I realised that it was possible to make some kind of face, but I wanted more: I prefer the subject matter to have a connection with the folding technique or the

concept.

So I started thinking: mirror, optical illusions, mystery, magic mirrors, black magic, skull.

So it just had to be a skull.

鏡の中の像は元の物と同じではなく、視点が違えば意外と見え方が変わります。それを表現するため、鏡に映った時全く違った見え方をする作品を作ろうと考えました。ある物を半分だけ作り(その方が楽でしょ?)、鏡に映った像と合わせて完全な物に化けるというアイデアです。

顔を作ろうと思いましたが、それだけでは面白くないので、連想ゲームをしてみました: 鏡、騙し絵、謎、魔法の鏡、黒魔術、髑髏(!)。

髑髏を作るのは、運命だったのですね。

(訳・立石浩一)

折り図制作者から:

この折り図は、グーベルジャン氏による手描き折り図をコンピュータで描き写したものです(一部、記号表記などを変更しています)。作者の折り図はOrigamiUSAのコンベンション折り図集『Annual Collection '99』に収録されています。

仕上げに全てがかかっているという感じで、作例制作は正直荷が重かったです。実際、表紙写真では鼻の辺りの形が崩れてしまっていますね。ウェットフォールディングで折るべきだったかも。

ちなみに、グーベルジャン氏の作品はOrigami Deutschlandのウェブサイト(<http://www.papierfalten.de/>)に数作品の折り図があるので、訪れてみてはいかがでしょうか。(小松英夫)

展開図折りに挑戦!

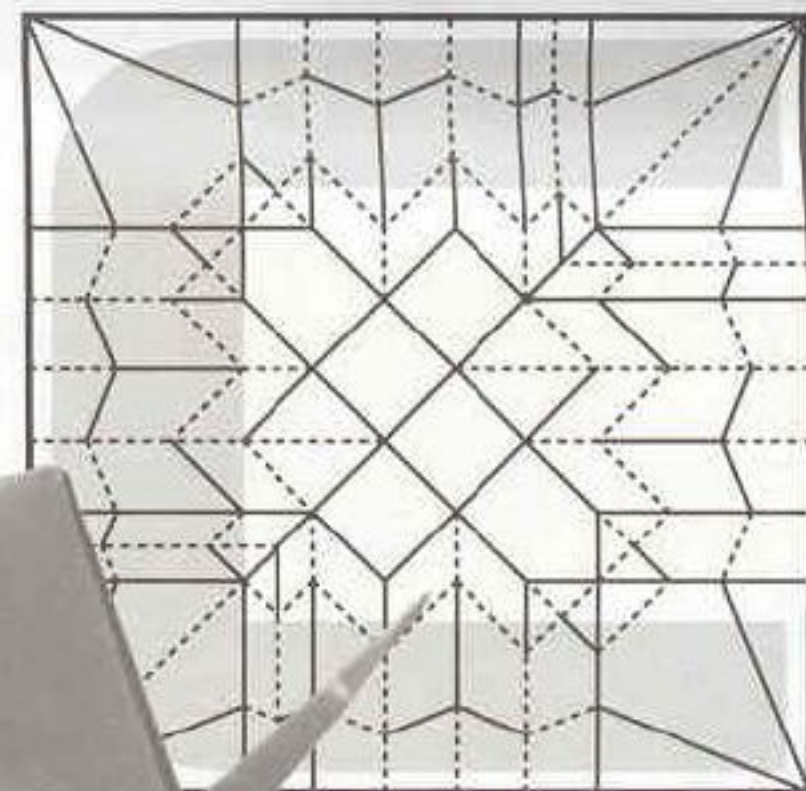
Crease Pattern Challenge

第18回 My Observations of Orizuru

オリヅル日記

Tanaka Masashi

田中将司



【某月 α 日】

庭先に一羽の小さな鶴が弱り切って倒れていた。介抱すれば恩返ししてくれるかもしれない。そっと両手で包み持ち上げた。鶴の体はほんの少しだけ温かった。

図鑑で調べたところ、この鶴は「オリヅル」という種類らしい。ただ、背中が図鑑の写真と違って四角かった。

エサの折り紙を近くのコンビニへ買いに走り、すり潰して与えてみた。食べた。この分だとすぐに元気になりそうだ。

【某月 δ 日】

食欲旺盛。やせ細っていた体がふっくらしてきた。

【某月 η 日】

朝起きると背中が伸びていた。今まで長方形だった背中が正方形になった。

「オリヅル」の事はよく知らないが、まあこういう物なのだろう。

【某月 θ 日】

尚も伸び続ける背中。今頃は縦横比2:1の長方形になっているはずだと予想。夜帰宅すると背中が膨らんで立方体になっていた。

そう来たか。

【某月 λ 日】

立方体の中から「オリヅル」が生まれた。

なるほど。

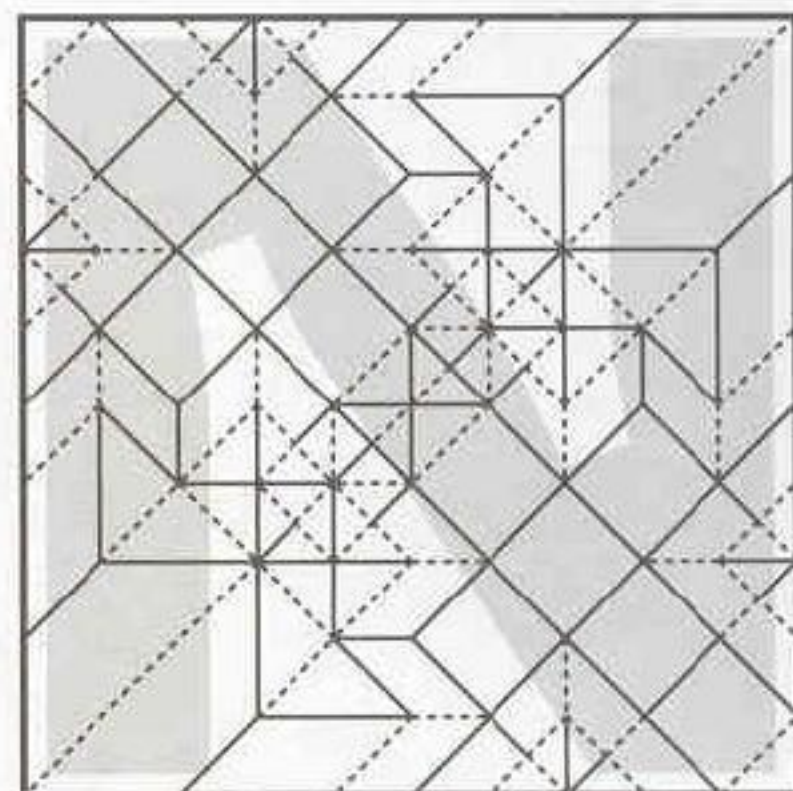
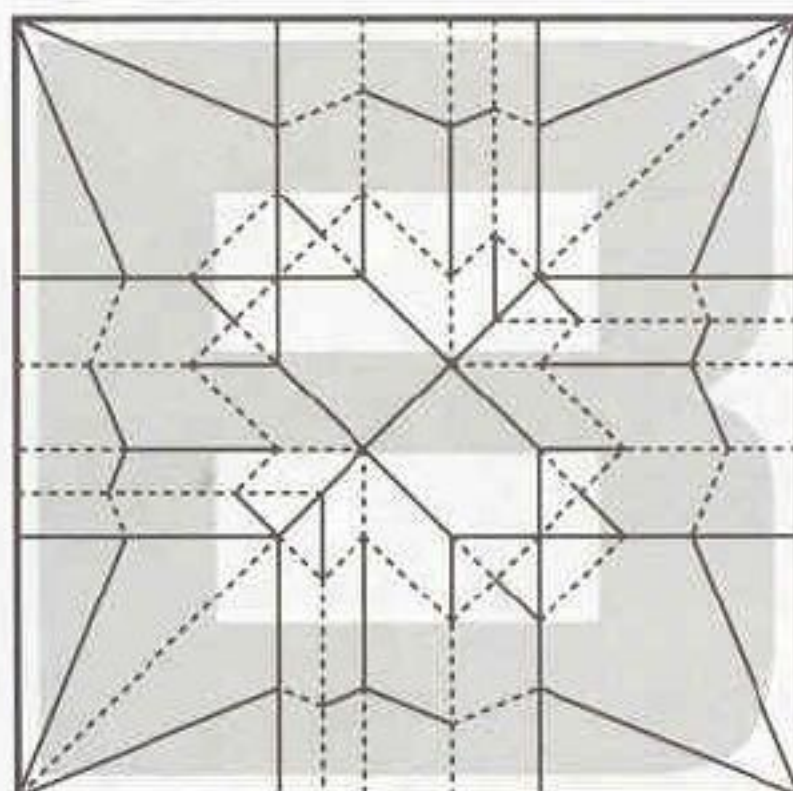
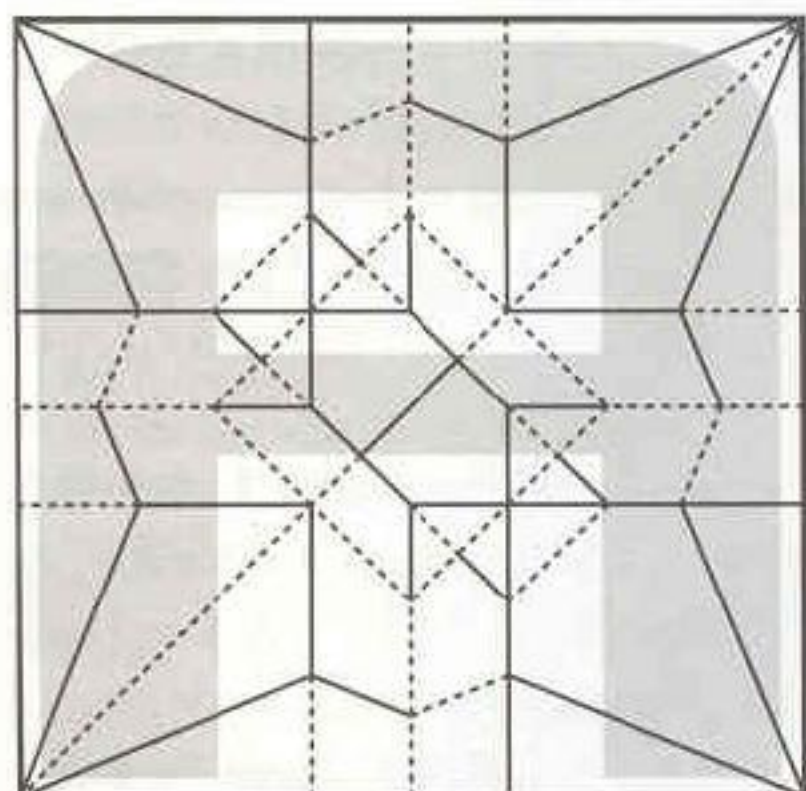
【某月 π 日】

母子鶴ともに健康。子鶴の成長めざましく、すでに見分けがつかない。

【某月 ω 日】

深夜物音で目覚めると、両翼の膨らんだ「オリヅル」が枕元に並んでいた。

今度はどんな「オリヅル」が生まれるのだろう。あれこれ想いを巡らせているうちに、私は再び眠りについた。



オランダ折紙協会 (Origami Sociëteit Nederland) は、1984年に、ベルギー・オランダ折紙協会から分かれるかたちで創立されました。ベルギー・オランダ折紙協会は、ベルギーの人たちが中心になって、その後8年ほど続いていましたが、今では、残念ながら、なくなってしまいました。

私たちの設立当初の会員数は600人ほどでしたが、年々数が増え、今年初めの時点では、およそ2400人の正会員と、およそ600人ほどのジュニア会員がいます。

正会員には、隔月刊の機関誌『オリソン』が届きます。ジュニア会員向けには、ジュニア版の機関誌『ミノリ』を発行しています。オリソンには、すべての会員に楽しんでもらえるよう、シンプルなものから複雑なものまで、さまざまな作品の折り図が掲載されています。また折り紙に関するニュースなども紹介されています。ミノリは子供向けですので、あまり複雑な作品は避けるようにしています。ミノリに載っているのは、初級・中級の作品がほとんどです。

なお、オリソン (Orison) という名前は、オランダ語で「地平線」を意味する「horizon (ホリゾン)」と「折り紙 (origami)」の「ori」を組み合わせたものです。日本語のローマ字表記と同じにするために、「z」を「s」に変えました。ミノリ (Minori) は、「小さい」という意味の「mini (ミニ)」と「ori」の組み合わせです。これは偶然なのですが、英語で「小さいほうの」という意味の「minor」という単語も含まれており、とても気に入っています。

オランダには、折り紙の本や用紙を扱っている「Ori-Expres」というお店があり



Origami Sociëteit Nederland



文・A.M. van de Beek
訳・羽鳥公士郎

ます。オランダ折紙協会の会員になると、正会員・ジュニア会員とも、このお店のカタログがもらえ、商品を会員割引価格で購入できます。

私たちの特徴的な活動は、何といても、折り紙講師の養成・認定制度です。

折り紙講師になるには、まず、すでに認定された講師から、折り紙の教え方について講習を受けなければなりません。そのために、四冊の教科書を用意しています。二冊は大人に教えるため、一冊は十代の若者に教えるため、もう一冊は小さい子供に教えるためのものです。

教科書に載っているすべての作品を教えられるようになったら、認定委員会から、折り紙の歴史・日本の伝統・紙などについての講習を受け、試験に臨みます。

▶ 例会の展示風景



試験は、筆記試験のほか、教科書に載っているすべての作品の展示、実技試験と口頭発表を含みます。実技試験では、新作の折り図と紙が一枚手渡され、初見で作品を折らなければなりません。口頭発表では、あらかじめ示されたテーマの中から一つを選んで、短い講義をしなければなりません。

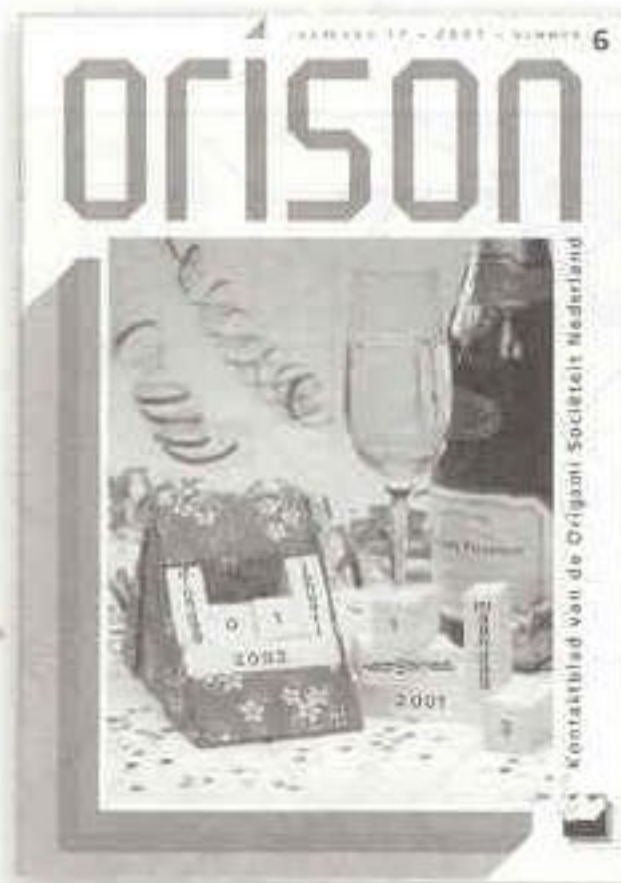
この試験に合格すると、折り紙講師として認定されます。これまで、およそ150人の人が折り紙講師の認定を受けています。もちろん、講師に認定されるのは簡単なことではなく、折り紙をはじめたばかりの人は合格しません。少なくとも中上級の作品が折れるようになっていなければなりません。これまでに認定された人を見ると、どんなに短くても三年以上の折り紙歴が必要なようです。

私たちは、年一回の一日コンベンションと、年一回の週末コンベンションを開催しています。コンベンションには、会員でない方も参加できます。また、折り紙講師の中には、地方コンベンションや折り紙教室を開いている人もいます。

オランダ折紙協会には、海外の会員も100人ほどいます。日本からの入会も歓迎いたします。ヨーロッパ以外の地域にお住まいの場合、年会費は、正会員が40ユーロ、ジュニア会員が16ユーロです。

詳しくは、私たちのウェブサイト (www.origami-osn.nl) をごらん下さい。また、電子メールやお手紙もお待ちしています。電子メールのアドレスは osnledenadm@vizzavi.nl です。お手紙の場合は、OSN Ledenadministratie, 1e Sweelinckstraat 9, 2517 GA Den Haag, The Netherlands へどうぞ。

写真提供: Paula Versnick



▲ (左から) 会長の Guda van Rijn さんと事務局長の Wilma Besamusca さん

◀ オリソン2001年第6号の表紙

日本折紙学会 (JOAS) から お知らせとお願い

第12期のご報告とともに、次期の計画概要をお知らせいたします。

1) 会員・定期購読者

第12期の購読者・会員共に前期並で推移しております。インターネットを介しての申し込みが増えているのが昨今の特徴です。次期につきましても、引き続きご購読・会員継続していただきますようお願い申し上げます。会員限定冊子第3号は、北條高史氏の「イカロス(2001年改修版)」の折図および東秀明氏の論文を予定しております。

なお、前年度の会員限定配布物のうち「龍神展開図付きカレンダー」(神谷哲史作)は、総会での承認に基づき、今後残部を希望者に頒布する予定です。詳細が決定次第、誌上にてアナウンス致しますのでもうしばらくお待ち下さい。

2) 吉野一生基金

海外折り紙愛好家との交流を促進する目的で設立された「吉野一生基金」には2001年度も多くの皆様のご寄付をいただいております。改めてお礼申し上げます。「吉野一生基金」では昨年8月、ハンガリーからペーター・ブダイ氏、アメリカからメッテ・ペデルソン氏を第7回折紙探偵団コンベンションに迎えることができました。2002年も2名の招待を予定しており公募を開始しております。また、日本人の海外渡航助成につきまして、2001年度には池上牛雄氏の渡米助成を行っております。本年も、1-2名の渡航助成を行う計画にしております。随時募集いたしておりますのでご希望の方は事務局まで応募用紙をご請求下さい。

3) 折紙探偵団コンベンション

2001年8月3-5日に第7回折紙探偵団

コンベンションを東洋大学で開催いたしました。

本大会では、300名以上のご参加をいただいております。2002年も8月2-4日に第8回折紙探偵団コンベンションを同じ東洋大学をお借りして開催することが決定いたしました。折紙探偵団地方コンベンションもますます充実してきております。世話役となつていただいております友の会の皆様にはこの場を借りて心よりお礼申し上げます。

4) その他の事業報告および計画

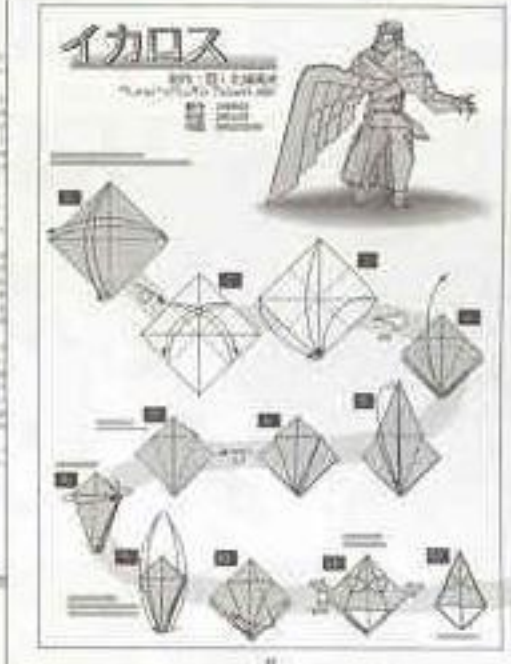
第12期は、著作権問題の研究チームを発足いたしました。現在、ガイドライン案の策定に取り組んでおります。著作権問題は、権利保護と利用の利便性、更には侵害についての対処など多方面から議論される必要があり、問題点や解決に向けたアプローチを冷静に議論する姿勢を続けることが重要と考えております。

折紙資料のライブラリー構築を目指して、折紙図書館(仮称)の設立に向けて検討を開始しておりますが、残念ながら具体的な方針を今期中に策定するには至りませんでした。引き続き検討を続けたいと思います。

5) 総会・会計報告

日本折紙学会2001年度の会計報告につきましては、第8回折紙探偵団コンベンション開催期間中に予定しております総会においてご報告いたします。2002年6月30日までに第13期会員に登録いただきました皆様には、追って総会のご案内をご送付申し上げます。なお、2002年度より会員の過半数の出席(委

▲東秀明氏の論文



▲北條高史氏の「イカロス(2001年改修版)」の折り図

任状込み)を以て、総会が成立するよう規約が改訂されております。また、第11期を初年度(第10期は日本折紙学会設立準備委員)といたしまして、第13期で現評議員の任期満了となります。来期中に評議員改選の準備をいたします。

吉野一生基金海外渡航助成要項

1. 趣旨

・折り紙の普及、研究、交流を目的として渡航を希望する者、数名に日本折紙学会が各5万円を助成するものとする。

2. 支援対象者

・日本国籍を有するものおよび日本在住の者。その他は不問。

3. 応募、選考

・応募に当たっては、個人の住所氏名を書いた封筒に返信用の切手を貼り、応募用紙を請求すること。
・応募用紙に記入の上、「日本折紙学会」に郵送のこと。
・選考は一生基金選考委員が行う。

4. 義務

・申請が承諾されたものは報告書を作成すること。報告書は雑誌『折紙探偵団』あるいはその他学会の発行する研究誌等へ掲載される。

吉野一生基金2001年収支ご報告

寄付等合計: 571,905円
助成金合計: 450,000円(海外招待2名、渡航助成1名)
基金残高: 2,406,836円

FROM the BOARD of JOAS (Summary)

- 1) We have almost the same number of members and subscribers as last year. Thank you for your continuous support. As promised, we will send our members the special edition (see the pictures above).
- 2) We have been receiving generous donations to Yoshino Issei Fund. Thank you very much. We invited Mr. Peter Budai from Hungary and Ms. Mette Pederson from U.S.A. last year. We are also going to invite two persons to the convention

this year. The details are to be announced.

- 3) We held our 7th convention with over 300 participants last August. We are going to have 8th convention from August 2nd through August 4th, 2002 at Toyo University, Tokyo.
- 4) We have established a research team on the copyright issues. They are working on settling the guideline. We have also been considering a plan to found origami library.
- 5) The term of the current members of board will expire in the next March. We will have an election in this year.

Rabbit Ear つまみおり Information



▲大使館スタッフと地元協会の方々
前列左端が田底さん、となりが野口さん(大使館員)
(編注:前列右端は川崎敏和氏、となりが淳子夫人)

サラエボ・キエフ・ウィーン ◆国際交流基金派遣レポート

昨年11月、折り紙交流のためサラエボ、キエフ、ウィーンに行ってきました。国際交流基金からの派遣で、三カ所とも大使館に世話していただきました。大使館イコール外務省と思い込んでいましたが、担当者は他の省庁からの出向や特殊採用の赴任間もない女性の方々でした。それぞれその国に対する思い入れ、日本の文化を広めたいという気持ちが強く、講習会をよりよいものにしたいと努力して下さいました。

最初に訪問したサラエボはボスニア・ヘルツェゴビナの首都ですが、戦争から10年経った今も銃弾の跡や骨組みだけになった建物が多く、復興が遅れているよう

でした。市街地には日本から援助された黄色いバスがたくさん走っていて、そのためか市民は親日的だそうです。しかし折り紙など全くなく、日本のこと、日本の文化のことを知らない人がほとんどでした。サラエボでは細井さんという、とてもチャームでかわいらしい方に世話していただきました。名前とは反対にたくましく行動力バツグンで頼りになる方でした。私たちの訪問が決まると、講習会だけではもったいないと「日本ウィーク」なるものを計画されました。折り紙だけにとどまらず、生け花や盆栽、書道など日本の文化を一堂に展示し大規模な会場を作り上げられました。展示会会場はたくさんの方で賑わい、各国大使館関係者、ボスニアの高官が多数出席されるほどの大イベントとなりました。

ウクライナ共和国の首都キエフでは、サラエボとは対照的にたくさんの折り紙愛好家に会えました。担当者田底さんが事前に広報活動をして下さった

おかげです。モスクワや近隣国からたくさんの方の折り紙愛好家が集まり、みなさんの作品と共に大きな会場で展示会を開くことも出来ました。モスクワにある国際折り紙博物館のニナさんをご存知ですか? 今回一番の収穫は彼女から話を聞いたことです。心に傷を持つ患者の治療に折り紙を取り入れ、研究されている方です。折り紙を折りながら物語を作ったり、ゲームを考え出したり折り紙を幅広く応用していらっしゃいます。子どもと折り紙をする時の参考になりました。また大使夫人のご理解の下で要人夫人方へ折り紙を紹介する機会にも恵まれました。皆さん大変興味を示してくださったので各々の国でこれから発展していくといいなと思っています。

オーストリアの首都ウィーンには折り紙経験者が多いものと思っていましたが、講習に参加された方々はほとんどが初心者でした。いろんな文化に容易に触れることが出来る大都市だけに折り紙を見たことはあっても実際に折ったことのある人は案外少ないのかもしれませんが。講習後、問い合わせがたくさんあったようです。折り紙を紹介する機会がまた持てるといいのにと思いました。

私は主人の手伝いをする程度にしか折り紙をしません。今回の旅行で折り紙に興味を持っている人たちと出会えてとてもうれしかったです。娘を出産してから外との交流が減っていたのでなおさらでした。いろんな人と交流する楽しさを再確認した旅行でした。

川崎淳子(川崎敏和夫人)



▲講習風景 アメリカ大使、ドイツ大使などVIPの夫人方

第8回 折紙探偵団 コンベンション 開催日決定

日本折紙学会(JOAS)が開催する年に一度のビッグイベント「折紙探偵団コンベンション」。多くの愛好家が集う熱い夏の日が決まった。

昨年は過去最高の300名を超す参加者と30名の海外参加者で大盛況となった。昨年同様、1日目の8月2日は日本折紙学会総会及び講演会、2日目、3日目は折り紙教室大会になる。次号73号に参加申込書を同封して、参加受付のスタートとなるが、今回は現段階での決定事項を紹介する。

回を 重ねる毎に新鮮な若手が発掘され層が厚くなっている「折紙探偵団コンベンション」。海外での評判も上々。第8回折紙探偵団コンベンションに来日の予定を合わせる問い合わせも多く、また本誌の購読者も確実に伸びをみせている。

吉野一生基金による海外作家の招待も今回で6回目となる。今年も2名の招待者を予定している。

コンベンション参加費は3日間通して5,000円(予定)。教室に必要な折り紙や記念バッジなどが含まれ、懇親会を除く全てに参加できる。

恒例の懇親会や宿泊(希望者のみ)も計画している。詳細は73号で案内の予定。年に1回、ここで会えるのを楽しみに参加する人も多い。折り紙談義の3日間を楽しく過ごしていただきたい。

8th Origami Tanteidan Convention

We Japan Origami Academic Society is going to hold The 8th Origami Tanteidan Convention on August 2-4 at Toyo University, Tokyo. More than 300 origami-lovers will enjoy many origami classes, classes in origami studies, and attractive events. In addition, you can share origami experiences with advanced designers or eager beginners.

We exempt all foreigners from the admission fee of the 8th convention. We will welcome all of you to our convention 2002. Further information will be available in the magazine and our web site.

Also you can contact us by e-mail at webman@origami.gr.jp.

Convention Book Vol.8 ● ● ● ● ●

We are accepting diagrams for Origami Tanteidan Convention Book volume 8. The selected models will be published in this book. The format of diagrams is available from our web site. They can be computer-generated or handwritten.

2002年
8月2日(金)、
3日(土)、4日(日)
会場:東洋大学
(東京・文京区)

◆講師募集中◆

今年のコンベンションで、講師をやっていただける方を広く募集しています。講師としての参加もコンベンションの楽しみ方の一つです。参加費は同様にお支払いいただく必要はありませんが、自慢の創作を披露したい方や、創作ではないけれど他の人に是非勧めたい作品があるなど、情熱があれば資格年齢等不問。

申込方法:規定の申込用紙に必要事項を記入の上、事務局へお送りください。申込用紙希望の方は事務局までご連絡を。折紙探偵団ホームページからも入手可能。

注意!他人の作品を使用される場合(アレンジ含む)は、原作者などの許可が必要です。ご自身で許可を取得の上、原作者名を明記してお申込み下さい。

◆折り図集Vol.8 原稿募集のお知らせ

「折紙探偵団コンベンション折り図集」は今年でVol.8の発行となります。今では世界の折り紙愛好家にとって貴重な資料となっています。この折り図集は、コンベンションの講師を中心に、国内外の折り紙作家、折り紙愛好家の方々から提供していただいた作品・折り図で成り立っています。

今年も充実した内容の折り図集を目指し、現在広く一般からの折り図を募集しています。掲載された方には『折紙探偵団コンベンション折り図集Vol.8』を1冊進呈します。

折り図応募要項

原稿はデジタルデータ、手書きどちらでも可。応募資格:アマ・プロ、年齢不問。本誌購読者及び日本折紙学会会員である必要なし。コンベンション参加不問。

●応募作品の条件

創作もしくはアレンジの作品で、自作の折り図に限る。(アレンジ作品の場合は、オリジナルの著作権者の了解を取った上で、名前も明記すること。)

投稿規定:「折り図投稿マニュアル」に沿って原稿を作成すること。

●マニュアルをご希望の方は事務局にお問い合わせください。折紙探偵団のホームページからもダウンロードできます。

原稿締切:2002年6月8日(土)事務局必着

お問い合わせ先

TEL&FAX:03-5684-6080(事務局)

URL: <http://www.origami.gr.jp/>

Mail: webman@origami.gr.jp

2002 OrigamiUSA コンベンション参加者募集

Origami USA(OUSA)のコンベンションが例年どおり6月に開かれる。日程は6月21日(金)~24日(月)の4日間。会場も例年どおりニューヨークのFIT(Fashion Institute Technology)となっている。ただし、昨年同様宿泊施設となっているFITの学生寮に問題があり、現在のところは細かいところまで決まっていないとのこと。それでも日本から参加してくれる方には優先的にFITの施設を利用できるようにしたいということだ。

案内書等の発送は4月になってからの予定。詳しい情報を求める場合は、

OUSAのホームページ(<http://www.origami-usa.org/>)をご覧下さい。ホームページから申込書を請求することもできる。

「折紙探偵団」の購読者で既に数名が参加を予定している。参加したくても少々不安があるという方はJOASがお手伝いするので、事務局にお問い合わせ下さい。

参考に昨年の参加費等を紹介しておくと、1日60ドル、2日で90ドル、3日間で120ドル。希望者のみ参加の日曜日のディナーが20ドル、月曜日のレセプションが34ドルとなっている。

I♥ORIGAMI おりがみはうす商品案内

※このページの商品の取扱いはいすべて おりがみはうす です。折紙探偵団の口座とは別になります。
 ※左側に掲載の書籍は、一般書店で取り扱っておりませんのでご注意ください。



第7回折紙探偵団 コンベンション 折り図集VOL.7

B5判/256ページ
 定価：2,000円(税込)
 送料：420円(梱包込)

※郵便振替の場合は、用紙の「通信欄」に「第7回折り図集」と必ずご記入下さい。

神谷哲史氏「ユニコーン」、川畑文昭氏「リュートを弾く天使」、小松英夫氏「狐」、芳賀和夫氏「くるくる回るかざぐるま」、前川淳氏「T. Rex」、宮島登氏「プロペラ機」、メッテ・ペダーソン氏「リング1」「7角形リング」、ペーター・ブダイ氏「クワガタムシ」「ケンタウロス」などなど国内・外の51作品を収録。

折り紙色紙百花 田中具子 著

女性に大人気! 色紙折り紙のバイブル
 B5判/全120ページ/カラー口絵8ページ/31作品収録
 定価：2,500円(税込)/送料：390円(梱包込)

面～The Mask～ 布施知子 著

作者がユニット折り紙に出会う前の、面ばかりを集めた作品集
 B5判/全200ページ/全27作品カラー写真紹介
 定価：3,300円(税込)/送料：460円(梱包込)

折紙図鑑「昆虫I」 川畑文昭・西川誠司 共著 山口 真 編

B5判/全200ページ/カラー口絵 4ページ/17作品収録
 定価：3,100円(税込)/送料：460円(梱包込)

一生スーパーコンプレックスおりがみ

B5判/全200ページ/カラー口絵 8ページ 吉野一生 著
 トリケラトプス全身骨格を含む14作品収録
 定価：2,900円(税込)/送料：460円(梱包込)

折るころ 岡村昌夫 指導 残部僅少!

A4判/全108ページ/フルカラー48ページ
 定価：1,400円(税込)/送料：420円(梱包込)
 折紙の貴重な歴史的資料満載の1冊

第6回折紙探偵団コンベンション

折り図集VOL.6 残部僅少!

B5判/256ページ/66作品収録
 定価：2,000円(税込)/送料：420円(梱包込)

只今制作中 一所懸命制作しています。気長に待っていて下さい。

西川誠司作品集/西川誠司 著・西川折り紙の集大成
 折紙図鑑「昆虫II」/北條高史、前川 淳、目黒俊幸共著
 折紙図鑑「犬」/佐野康博・著 犬折り紙第一人者の作品集

GALLERY ギャラリー おりがみはうす

〒113-0001 東京都文京区白山1-33-8-216
 TEL:(03) 5684-6040 FAX:(03) 5684-6080
 E-mail: origamih@remus.dti.ne.jp

たのしいおりがみドールハウス

山口 真・著 ナツメ社刊

B5判/全312ページ/カラー口絵16ページ/定価：1,260円(税込)/送料：420円(梱包込) これ1冊でおうちも家具も小物も全部作れる!一般書店でも好評発売中。
 ISBN4-8163-3082-8



たのしいおりがみドールハウス専用 おうち用クラフト用紙

張りがあるって折りやすい、正方形の筋入りクラフト紙。実用小物の制作も最適。全て単色のセットで、赤・紺・緑・茶・こげ茶の5種類を揃えました。片面にそれぞれの色が印刷されています。



おりがみはうすオリジナル商品。
 15cm×15cm/50枚入/定価：250円(税込)/送料：4～6セット=390円, 7～9セット=580円, 10～12セット=700円
 ※一度のお申し込みは4セット以上でお願いします。
 ※色とセット数をお忘れなくお書き下さい。
 パッケージは変更の可能性があります

恐竜柄おりがみ

70kgコルキーの表面に細かくした恐竜模様をこげ茶色で印刷。

35cm×35cm/10枚入/定価：1,000円(税込)/送料：1セット=200円, 2セット=270円, 3セット=390円

ドラゴンの折り図付き! 北條高史氏のドラゴンの折り図つき 1,200円
 送料は恐竜柄おりがみと同じ。



©Takashi Hojo



模様原寸

『折紙探偵団』専用ファイル

変形B5判/箔押しロゴ入/定価：750円(税込)/送料：250円(梱包込)/雑誌「折紙探偵団」1年分(6冊)収録可能

●商品の申し込み方法●

先に郵便振替か現金書留で料金(商品価格+送料)をお送り下さい。入金を確認後、商品を発送させていただきます。ご希望の商品名と連絡先の記入(郵便振替の場合は振替用紙の「通信欄」に記入)をお忘れのない様お願いします。

郵便振替番号 **00120-9-715400**

加入者名 **おりがみはうす**

※折紙探偵団の購読申込みとは別の口座です。くれぐれもご注意ください。
 ※郵便振替用紙は郵便局備え付けのものをご利用ください。
 ※現金書留の場合は左記の住所へお送りください。
 ※商品のお届けは通常、送金から約1週間～10日です。(お盆・年末年始等を除く)
 ※書籍は冊子小包で発送している為、本とそれ以外の商品(ファイル・紙)を同時にご注文の場合、基本的に送料は別々に頂いております。ご了承ください。

両面色が違う!

ソフトな折り紙だから作品が
ナチュラルに仕上がる

クレープ コレクション



※写真はイメージです。

10色

¥500

24.0×24.0cm



5色

¥200

15.0×15.0cm



10色

¥300

17.6×17.6cm



株式会社トヨー

■ 本社：〒120-0022 東京都足立区柳原1-35-4 ■
■ TEL: 03-3882-8161 FAX: 03-3882-8161 ■
■ 大阪 / 名古屋 / 札幌 / 松山 / 福岡 ■
ホームページ <http://www.kidstoyo.co.jp>